

第 40 回 河内長野市民意識調査

# ＜男女共同参画＞と ＜文化財＞について



平成 25 年度  
河内長野市

## 目 次

|                         |    |
|-------------------------|----|
| I. 調査の概要.....           | 1  |
| 1. 調査の目的.....           | 1  |
| 2. 調査の設計.....           | 1  |
| 3. 回収状況.....            | 1  |
| 4. 報告書の見方.....          | 1  |
| II. 回答者の属性.....         | 2  |
| 1. 性別（問 38） .....       | 2  |
| 2. 年齢（問 39） .....       | 2  |
| 3. 職業（問 40） .....       | 3  |
| 4. 結婚（問 41） .....       | 3  |
| 5. 家族構成（問 42） .....     | 4  |
| 6. 一番年少の子ども（問 43） ..... | 4  |
| 7. 居住年数（問 44） .....     | 5  |
| 8. 前居住地（問 45） .....     | 5  |
| 9. 居住地区（問 46） .....     | 6  |
| III. 調査結果の分析.....       | 7  |
| 1. 男女共同参画について.....      | 7  |
| 2. 文化財について.....         | 31 |
| 3. 市政全般に関連した内容について..... | 40 |
| IV. まとめ.....            | 58 |
| 1. 男女共同参画について.....      | 58 |
| 2. 文化財について.....         | 60 |
| 3. 市政全般に関連した内容について..... | 61 |
| 4. 経年比較.....            | 62 |
| V. 資料（調査票） .....        | 66 |

# I. 調査の概要

## 1. 調査の目的

＜男女共同参画＞と＜文化財＞について、それぞれに対する市民意識を把握し、今後の施策推進のための参考資料とする。

## 2. 調査の設計

### (1) 調査設計

住民基本台帳（基準日：平成 25 年 7 月 31 日）から無作為に抽出した満 20 歳以上 90 歳未満の市民 2,000 人

### (2) 調査方法

郵送による配布及び回収

### (3) 調査期間

平成 25 年 9 月 2 日から 9 月 17 日

### (4) 調査内容

- 男女共同参画について
- 文化財について
- 市政全般に関連した内容について

## 3. 回収状況

| 配布数     | 回収数   |       | 有効回収数          |                |              | 有効回収率 |
|---------|-------|-------|----------------|----------------|--------------|-------|
| 2,000 票 | 863 票 |       | 860 票          |                |              | 43.0% |
|         |       | うち無効票 | 男性             | 女性             | 不明・無回答       |       |
|         |       | 3 票   | 340 票<br>39.5% | 494 票<br>57.4% | 26 票<br>3.0% |       |

## 4. 報告書の見方

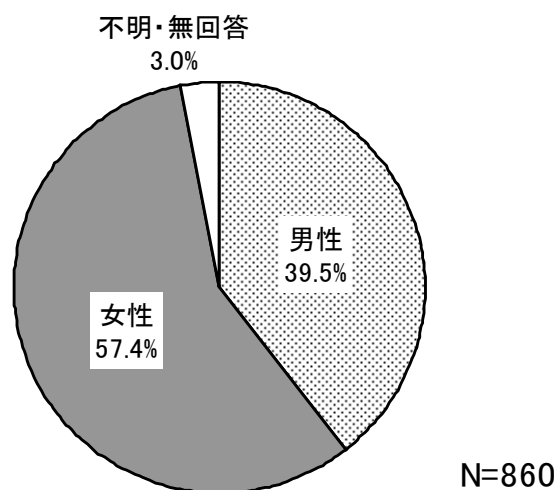
- (1) 比率は、原則として各設問の無回答を含む集計対象総数（副設問では設問該当対象数）に対する百分率（%）を表している。1 人の対象者に複数の回答を求める設問では、百分率（%）の合計は 100.0%を超える。
- (2) 百分率（%）は、小数点以下第 2 位を四捨五入し、小数点以下第 1 位までを表示した四捨五入の結果、個々の比率の合計と全体を示す数値とが一致しないことがある。
- (3) 分類別の表中の百分率（%）は、すべて各分類項目の該当対象数を 100.0%として算出した。
- (4) 図表にある「N」は、集計対象票数（あるいは、分類別の該当対象数）を示し、比率は「N」を 100.0%として表した。
- (5) クロス集計の表内の「全体」には、性別不明、年齢不明も含む。
- (6) クロス集計内の網掛けは、クロス項目（表側の項目）ごとの上位 2 項目あるいは 3 項目を示しており、数値が大きくなるに従って網掛けの色が濃くなる。
- (7) 本調査の「1. 男女共同参画について」では、以下の調査と比較を行っている。

【前回調査】平成 20 年度「男女共同参画社会に関する市民意識調査」女性 N=560 男性 N=375

【世論調査】平成 24 年度「男女共同参画社会に関する世論調査」女性 N=1,601 男性 N=1,432

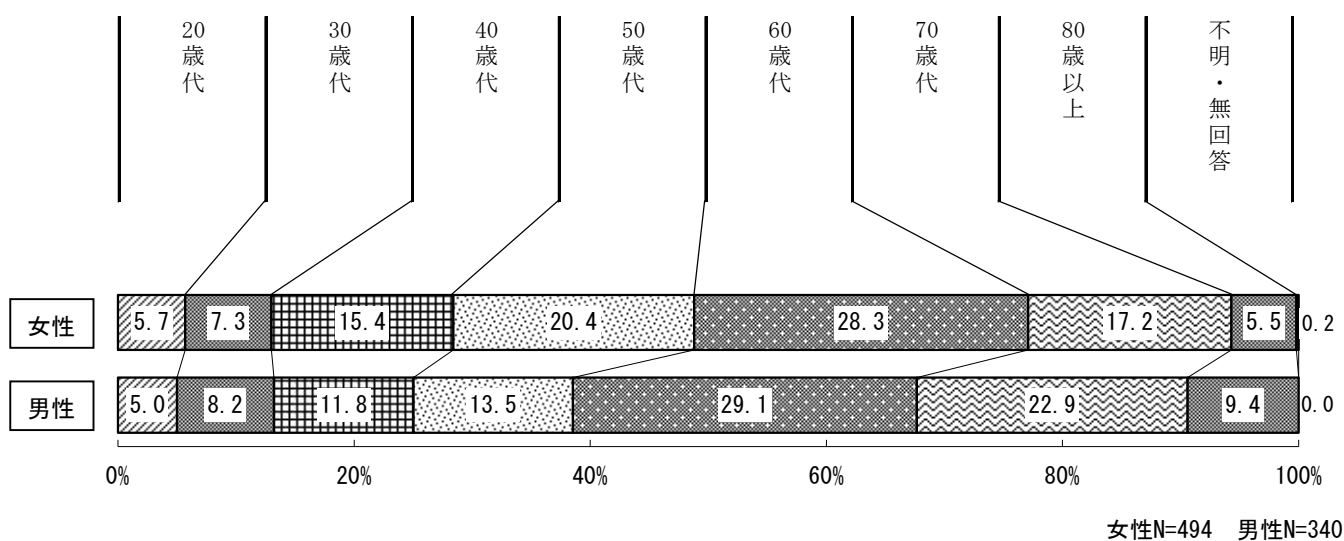
## Ⅱ．回答者の属性

### 1．性別（問 38）



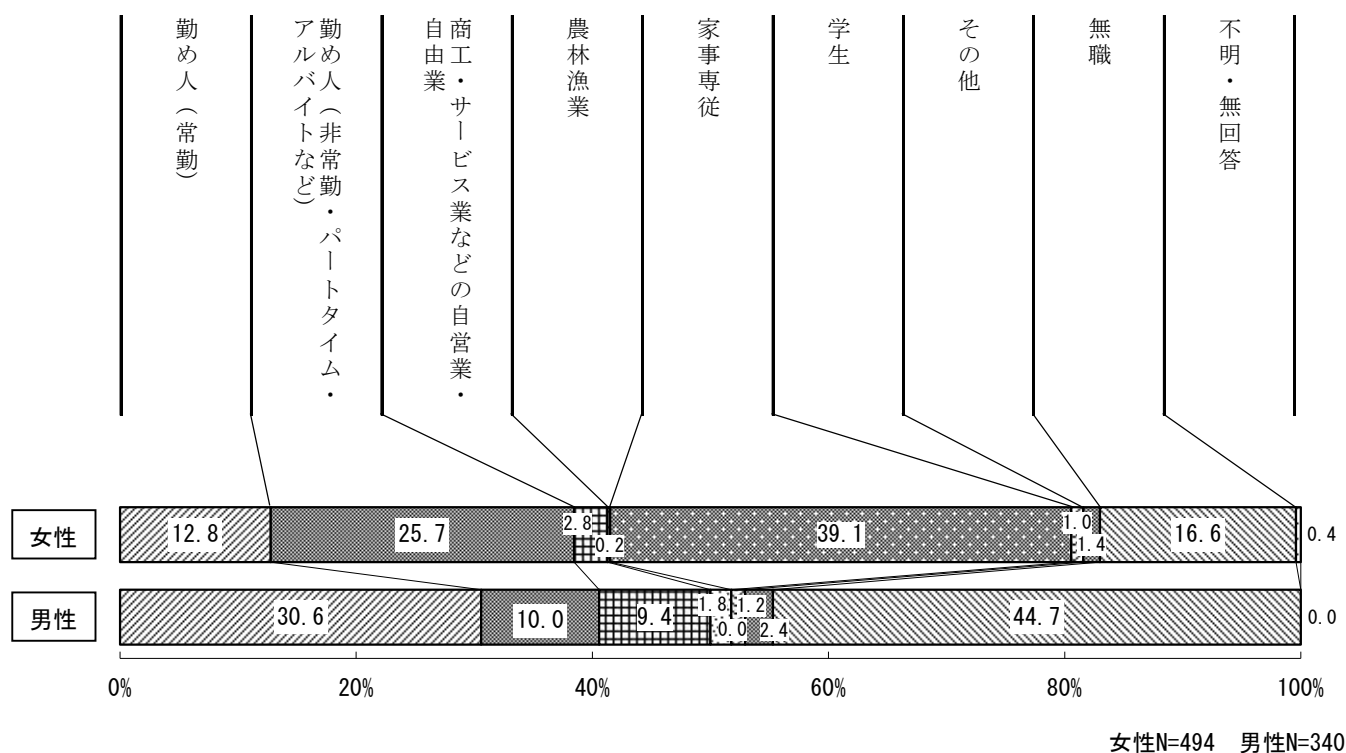
回答者の性別は、「女性」が 57.4%、「男性」が 39.5%で、女性の方が 17.9 ポイント多い。

### 2．年齢（問 39）



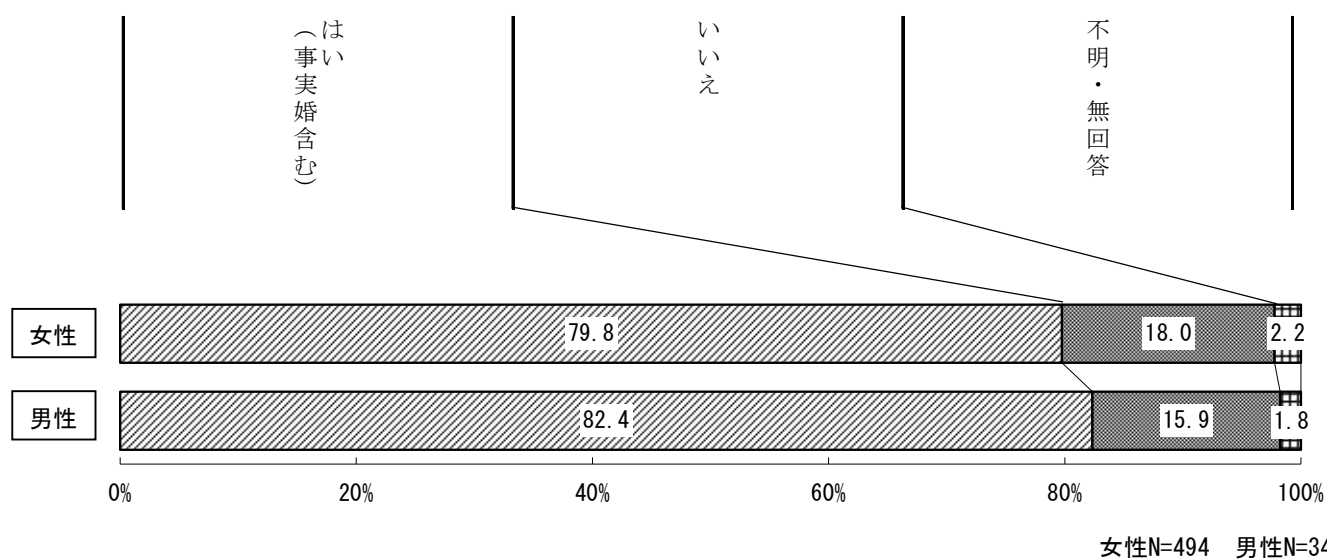
年齢は、男女ともに 60 歳以上が過半数を占めており、女性は「60 歳代」が 28.3%、「50 歳代」が 20.4%で、男性は「60 歳代」が 29.1%、「70 歳代」が 22.9%となっている。

### 3. 職業（問 40）



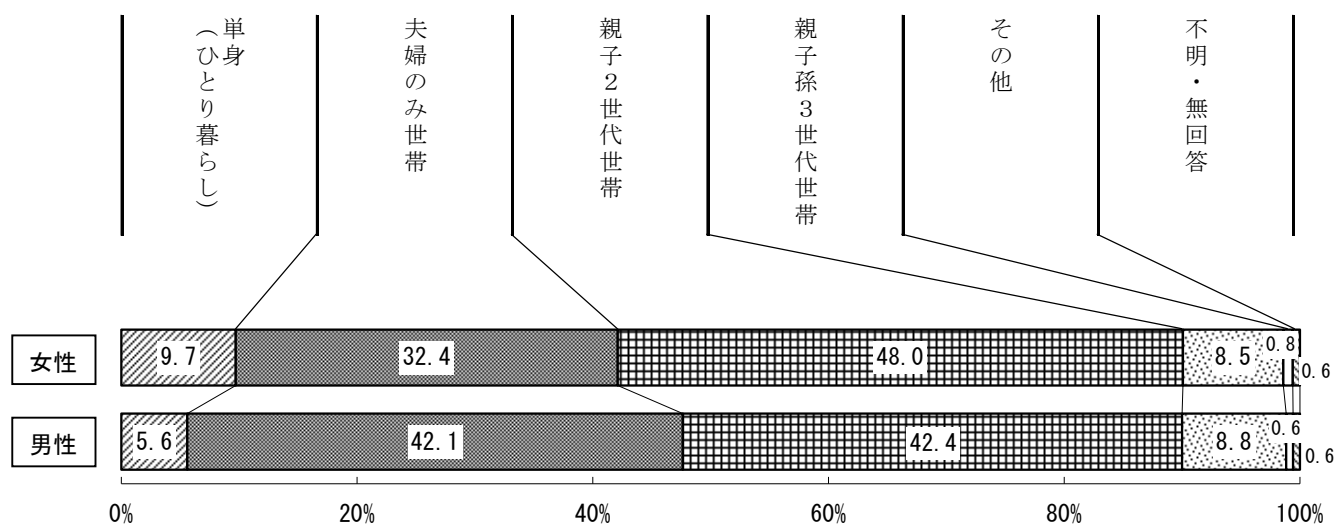
職業は、女性は「家事専従」が 39.1%、「勤め人（非常勤・パートタイム・アルバイトなど）」が 25.7% で、男性は「無職」が 44.7%、「勤め人（常勤）」が 30.6%となっている。全体のうち収入を得る仕事に就いている人は、女性で 41.5%、男性で 51.8%となっている。

### 4. 結婚（問 41）



婚姻状況については、女性は「結婚している」が 79.8%、「いいえ」が 18.0%、男性は「結婚している」が 82.4%、「いいえ」が 15.9%となっている。

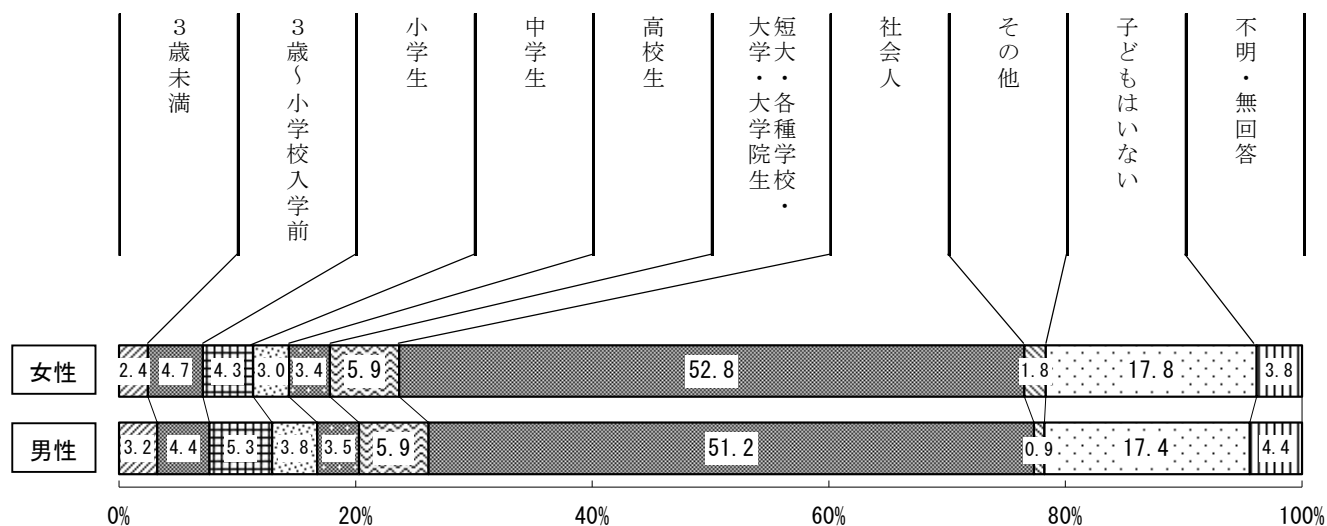
## 5. 家族構成（問 42）



女性N=494 男性N=340

家族構成については、男女ともに「親子2世代世帯」（女性 48.0%、男性 42.4%）が最も多く、「夫婦のみ世帯」（女性 32.4%、男性 42.1%）がつついている。

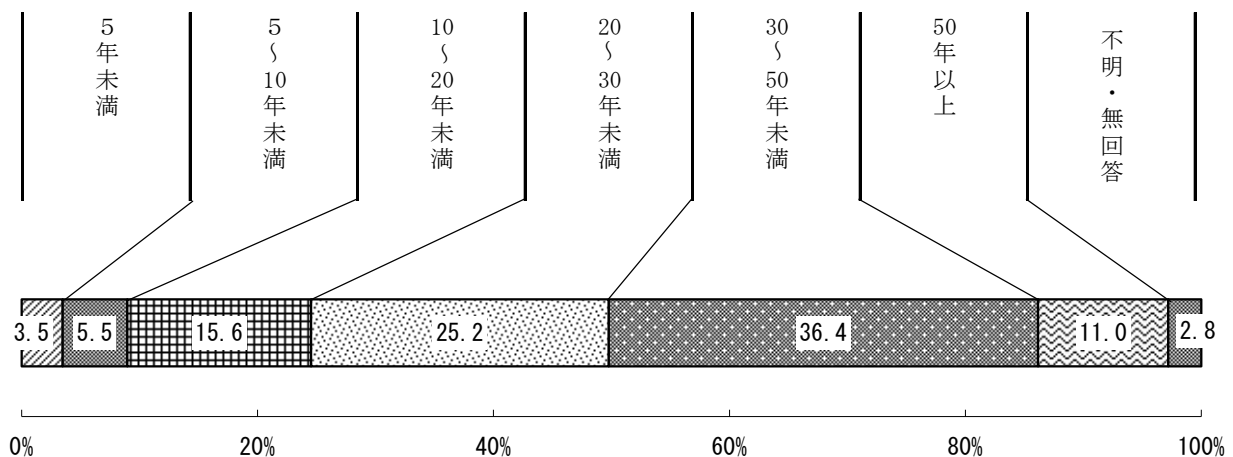
## 6. 一番年少の子ども（問 43）



女性N=494 男性N=340

一番年少の子どもについては、男女ともに「社会人」（女性 52.8%、男性 51.2%）が最も多く、「子どもはいない」（女性 17.8%、男性 17.4%）、「短大・各種学校・大学・大学院生」（女性 5.9%、男性 5.9%）がつついている。

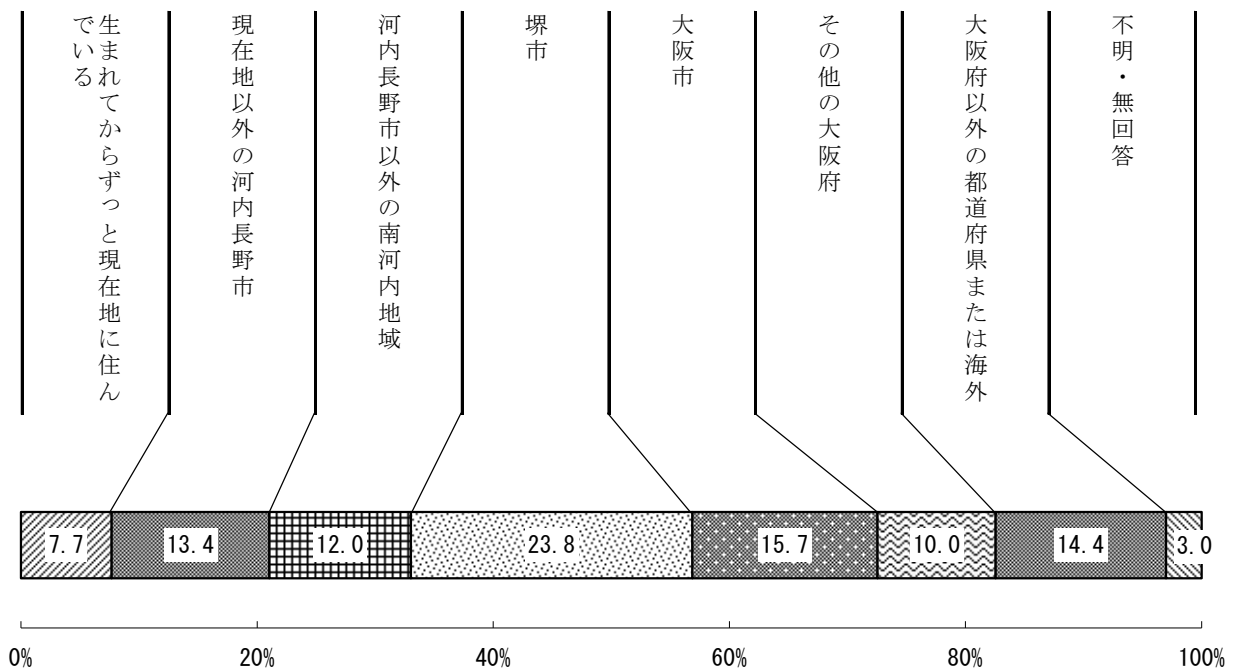
## 7. 居住年数（問 44）



N=860

河内長野市での居住年数については、「30～50 年未満」が 36.4%で最も多く、「20～30 年未満」(25.2%)、「10～20 年未満」(15.6%) がつづいている。10 年以上の長期居住者は 88.2%となっている。

## 8. 前居住地（問 45）

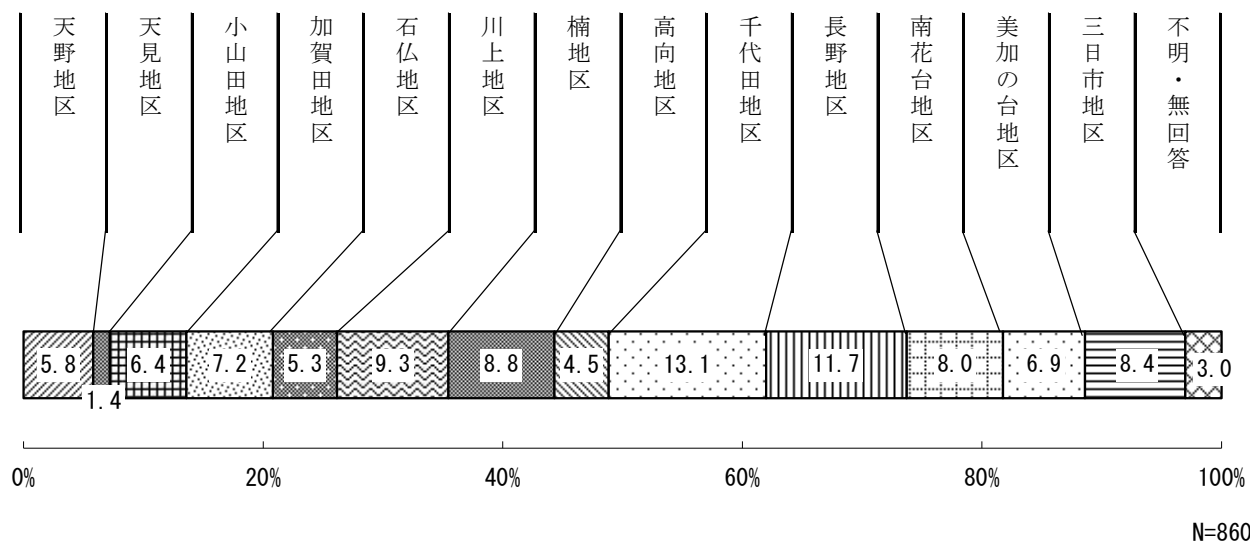


N=860

以前の居住地については、「堺市」が 23.8%で最も多く、「大阪市」(15.7%)、「大阪府以外の都道府県または海外」(14.4%) がつづいている。以前から河内長野市に居住している人は 21.1%となっている。

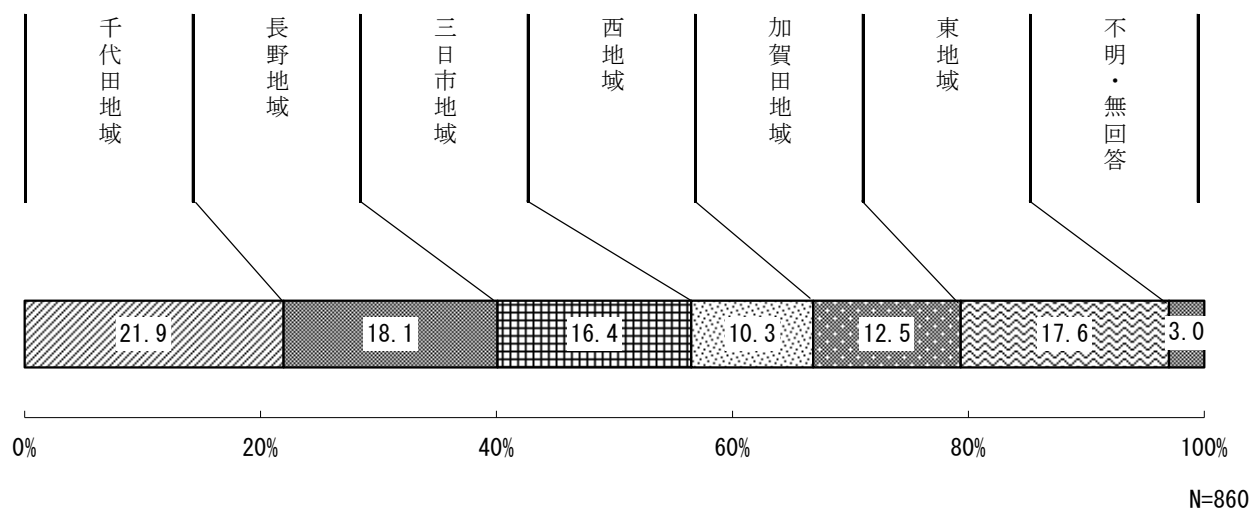
## 9. 居住地区（問 46）

### 【地区別】



居住地区については、地区別でみると「千代田地区」が13.1%で最も多く、「長野地区」（11.7%）、「川上地区」（9.3%）がつづいている。「千代田地区」と「長野地区」以外は1割未満となっている。

### 【地域別】



#### （地域の分類）

- 千代田地域 — 楠地区、千代田地区
- 長野地域 — 小山田地区、長野地区
- 三日市地域 — 南花台地区、三日市地区
- 西地域 — 天野地区、高向地区
- 加賀田地域 — 加賀田地区、石仏地区
- 東地域 — 天見地区、川上地区、美加の台地区

地域別でみると、「千代田地域」が21.9%で最も多く、「長野地域」（18.1%）と「東地域」（17.6%）がつづいている。

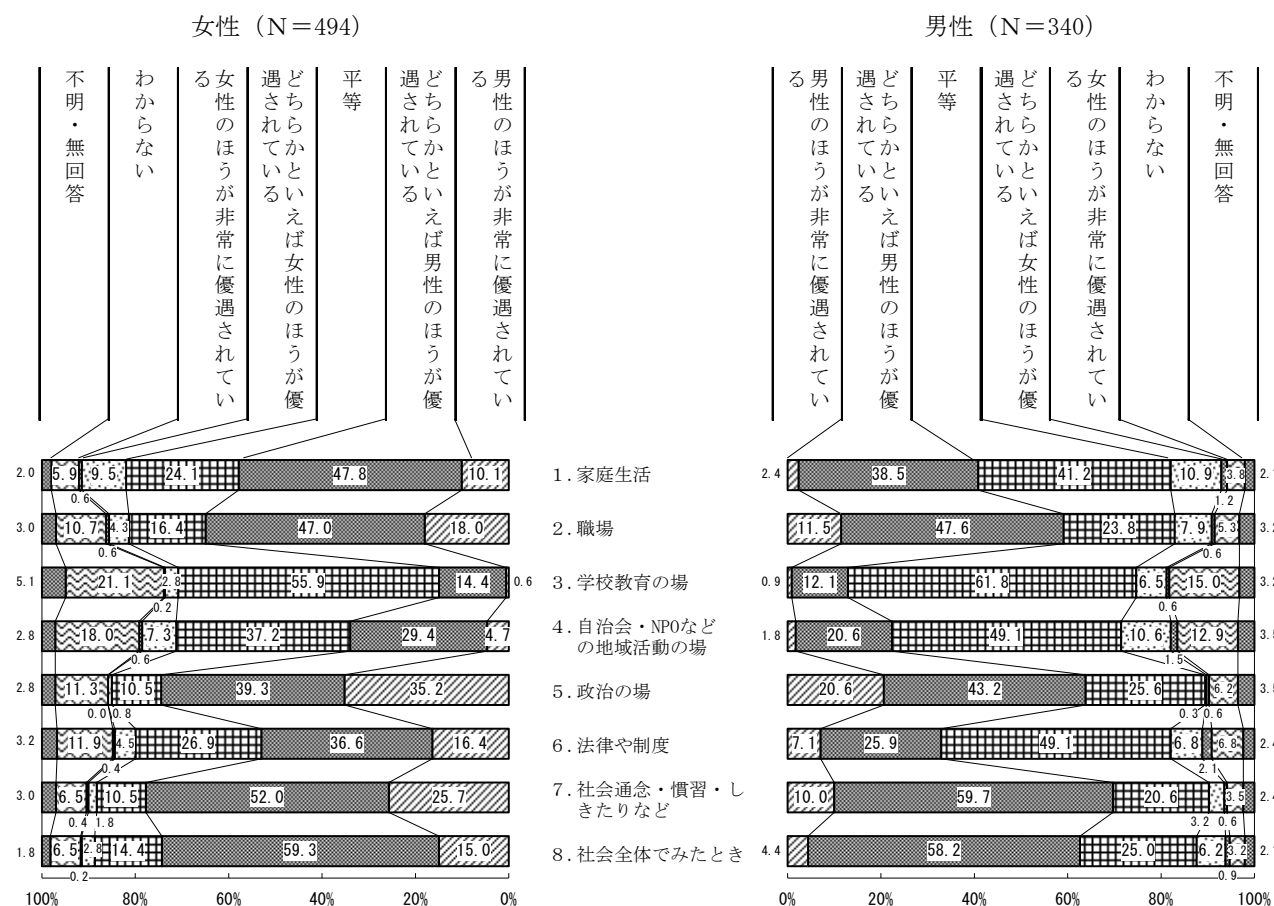


## Ⅲ. 調査結果の分析

### 1. 男女共同参画について

#### ●社会における男女の地位の平等感について

問1 あなたは、次にあげる分野において、男女の地位は平等になっていると思われますか。各項目についてあなたのお考えに近い番号に○をつけてください。(それぞれ1つずつに○)



各分野での男女の地位の平等感について、唯一「3. 学校教育の場」では男女ともに「平等」が50.0%以上となっているが、「家庭生活」「職場」「政治の場」「社会通念・慣習・しきたりなど」「社会全体でみたとき」では、男女とも“男性のほうが優遇されている”(「男性のほうが非常に優遇されている」+「どちらかといえば男性のほうが優遇されている」)が多くなっている。特に「7. 社会通念・慣習・しきたりなど」では男女ともに1番多く、女性で77.7%、男性で69.7%となっている。また、いずれの項目においても、男性よりも女性のほうが“男性のほうが優遇されている”の割合が多くなっており、「6. 法律や制度」では“男性のほうが優遇されている”が女性で53.0%、男性で33.0%となっており、20.0ポイントの差がある。

前回調査と比較すると、女性では「1. 家庭生活」以外の項目、男性では「4. 自治会・NPOなどの地域活動の場」「6. 法律や制度」以外の項目で「平等」の割合が今回調査のほうがわずかに多くなっている。

世論調査と比較すると、男性の「5. 政治の場」以外の項目は「平等」の割合が今回調査のほうが少なくなっている。

【前回調査】男女の地位の平等感

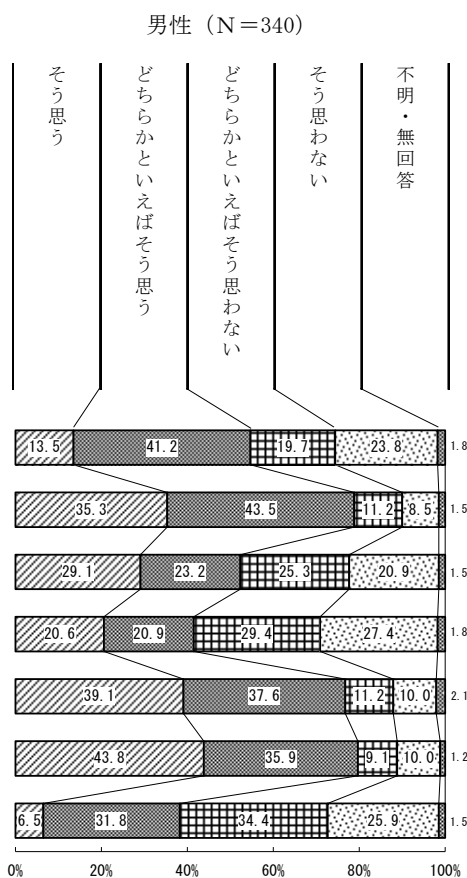
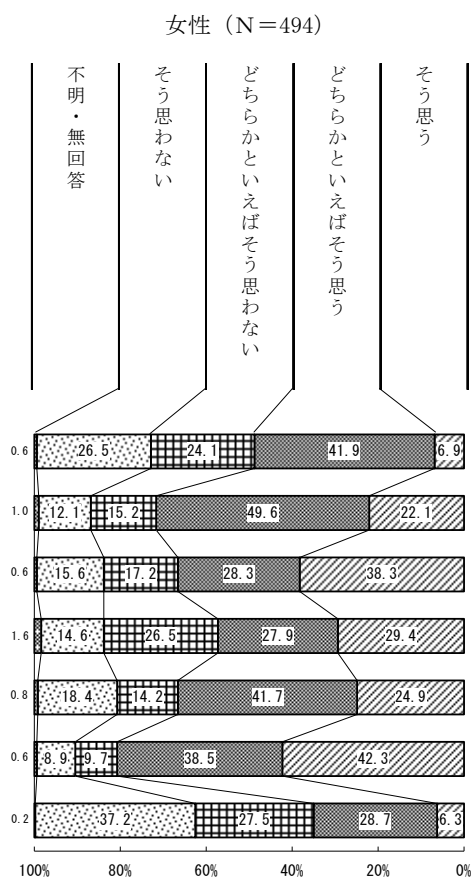
|                 |    | 男性のほう<br>が非常に<br>優遇されて<br>いる | どちらか<br>といえ<br>ば男性の<br>ほうが<br>優遇<br>されて<br>いる | 平<br>等 | ど<br>ち<br>ら<br>か<br>と<br>い<br>え<br>ば<br>女<br>性<br>の<br>ほう<br>が<br>優<br>遇<br>さ<br>れ<br>て<br>い<br>る | ど<br>ち<br>ら<br>か<br>と<br>い<br>え<br>ば<br>女<br>性<br>の<br>ほう<br>が<br>非<br>常<br>に<br>優<br>遇<br>さ<br>れ<br>て<br>い<br>る | わ<br>か<br>ら<br>な<br>い | 無<br>回<br>答 |
|-----------------|----|------------------------------|-----------------------------------------------|--------|---------------------------------------------------------------------------------------------------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-----------------------|-------------|
| 1. 家庭生活         | 女性 | 12.1                         | 48.8                                          | 24.6   | 5.7                                                                                               | 1.4                                                                                                              | 4.6                   | 2.7         |
|                 | 男性 | 2.9                          | 43.7                                          | 41.1   | 8.0                                                                                               | 1.6                                                                                                              | 1.6                   | 1.1         |
| 2. 職場           | 女性 | 16.1                         | 48.9                                          | 12.7   | 2.5                                                                                               | 0.2                                                                                                              | 14.5                  | 5.2         |
|                 | 男性 | 10.1                         | 48.5                                          | 23.5   | 8.0                                                                                               | 1.3                                                                                                              | 6.1                   | 2.4         |
| 3. 学校教育の場       | 女性 | 1.8                          | 15.9                                          | 51.3   | 3.2                                                                                               | 0.4                                                                                                              | 21.4                  | 6.1         |
|                 | 男性 | 0.5                          | 8.8                                           | 61.3   | 5.1                                                                                               | 0.8                                                                                                              | 20.5                  | 2.9         |
| 4. 地域活動の場       | 女性 | 6.3                          | 30.4                                          | 34.6   | 10.9                                                                                              | 0.4                                                                                                              | 13.2                  | 4.3         |
|                 | 男性 | 1.9                          | 24.0                                          | 52.0   | 9.6                                                                                               | 1.1                                                                                                              | 10.9                  | 0.5         |
| 5. 政治の場         | 女性 | 33.0                         | 39.6                                          | 9.3    | 0.9                                                                                               | 0.2                                                                                                              | 13.2                  | 3.8         |
|                 | 男性 | 20.3                         | 45.1                                          | 22.4   | 3.7                                                                                               | 6.7                                                                                                              | 0.5                   | 1.3         |
| 6. 法律や制度        | 女性 | 13.8                         | 39.3                                          | 24.6   | 3.6                                                                                               | 0.5                                                                                                              | 13.9                  | 4.3         |
|                 | 男性 | 4.5                          | 22.7                                          | 54.4   | 8.5                                                                                               | 2.4                                                                                                              | 5.9                   | 1.6         |
| 7. 社会通念・慣習・しきたり | 女性 | 27.3                         | 50.0                                          | 8.8    | 2.7                                                                                               | 0.7                                                                                                              | 6.6                   | 3.9         |
|                 | 男性 | 11.5                         | 64.3                                          | 16.3   | 2.9                                                                                               | 3.5                                                                                                              | 1.1                   | 0.5         |
| 8. 社会全体         | 女性 | 12.0                         | 65.0                                          | 9.6    | 2.9                                                                                               | 0.5                                                                                                              | 5.9                   | 4.1         |
|                 | 男性 | 4.3                          | 62.7                                          | 21.1   | 5.6                                                                                               | 0.8                                                                                                              | 5.1                   | 0.5         |

【世論調査】男女の地位の平等感

|                 |    | 男性のほう<br>が非常に<br>優遇されて<br>いる | どちらか<br>といえ<br>ば男性の<br>ほうが<br>優遇<br>されて<br>いる | 平<br>等 | ど<br>ち<br>ら<br>か<br>と<br>い<br>え<br>ば<br>女<br>性<br>の<br>ほう<br>が<br>優<br>遇<br>さ<br>れ<br>て<br>い<br>る | ど<br>ち<br>ら<br>か<br>と<br>い<br>え<br>ば<br>女<br>性<br>の<br>ほう<br>が<br>非<br>常<br>に<br>優<br>遇<br>さ<br>れ<br>て<br>い<br>る | わ<br>か<br>ら<br>な<br>い |
|-----------------|----|------------------------------|-----------------------------------------------|--------|---------------------------------------------------------------------------------------------------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-----------------------|
| 1. 家庭生活         | 女性 | 10.6                         | 40.0                                          | 41.0   | 5.3                                                                                               | 1.2                                                                                                              | 1.9                   |
|                 | 男性 | 6.3                          | 28.8                                          | 53.8   | 7.1                                                                                               | 1.3                                                                                                              | 2.7                   |
| 2. 職場           | 女性 | 17.2                         | 42.0                                          | 25.3   | 3.3                                                                                               | 0.3                                                                                                              | 11.9                  |
|                 | 男性 | 13.7                         | 42.2                                          | 32.0   | 5.1                                                                                               | 0.7                                                                                                              | 6.3                   |
| 3. 学校教育の場       | 女性 | 2.6                          | 13.0                                          | 65.7   | 1.9                                                                                               | 0.6                                                                                                              | 16.1                  |
|                 | 男性 | 2.2                          | 8.8                                           | 68.5   | 4.3                                                                                               | 0.8                                                                                                              | 15.4                  |
| 4. 地域活動の場       | 女性 | 7.7                          | 30.6                                          | 47.7   | 5.2                                                                                               | 0.6                                                                                                              | 8.2                   |
|                 | 男性 | 6.0                          | 21.9                                          | 57.0   | 7.1                                                                                               | 1.2                                                                                                              | 6.8                   |
| 5. 政治の場         | 女性 | 33.4                         | 44.7                                          | 13.5   | 0.6                                                                                               | 0.1                                                                                                              | 7.6                   |
|                 | 男性 | 26.1                         | 43.2                                          | 24.2   | 1.3                                                                                               | 0.4                                                                                                              | 4.8                   |
| 6. 法律や制度の上      | 女性 | 10.9                         | 34.0                                          | 37.5   | 4.8                                                                                               | 0.7                                                                                                              | 12.1                  |
|                 | 男性 | 6.3                          | 24.5                                          | 54.2   | 7.8                                                                                               | 1.6                                                                                                              | 5.6                   |
| 7. 社会通念・慣習・しきたり | 女性 | 20.5                         | 54.0                                          | 17.1   | 2.6                                                                                               | 0.4                                                                                                              | 5.4                   |
|                 | 男性 | 16.5                         | 49.2                                          | 26.3   | 3.2                                                                                               | 0.8                                                                                                              | 4.0                   |
| 8. 社会全体         | 女性 | 12.7                         | 62.1                                          | 19.8   | 2.5                                                                                               | 0.2                                                                                                              | 2.6                   |
|                 | 男性 | 8.7                          | 55.6                                          | 30.0   | 4.4                                                                                               | 0.6                                                                                                              | 0.8                   |

# ●男女平等に関する意識について

問2 あなたは、次のような考えに対してどのように思われますか。各項目についてあなたのお考えに近い番号に○をつけてください。(それぞれ1つずつに○)



「6. 子どもが3歳くらいまでは母親のもとで育てるべき」は、男女ともに“賛成”（「そう思う」＋「どちらかといえばそう思う」）の割合が最も多く、女性が80.8%、男性が79.7%となっている。

“賛成”よりも“反対”（「どちらかといえばそう思わない」＋「そう思わない」）のほうが多い項目は「7. 夫の親を妻が介護・看護するのは当然である」で、女性が64.7%、男性で60.3%が“反対”となっている。

「4. 結婚しても必ずしも子どもを持つ必要はない」は“賛成”、“反対”ともに性別で最も差があり、“賛成”の割合は女性が57.3%、男性が41.5%で、女性のほうが15.8ポイント多く、“反対”の割合は女性が41.1%、男性が56.8%で、男性のほうが15.7ポイント多くなっている。

【年代別】「4. 結婚しても必ずしも子どもをもつ必要はない」という考え方について

|    |        | 合計  | そう思う | どちらかといえば<br>そう思う | どちらかといえば<br>そう思わない | そう思わない | 不明・無回答 |
|----|--------|-----|------|------------------|--------------------|--------|--------|
| 全体 |        | 860 | 25.6 | 24.7             | 27.4               | 20.2   | 2.1    |
| 女性 | 20 歳代  | 28  | 46.4 | 35.7             | 10.7               | 7.1    | 0.0    |
|    | 30 歳代  | 36  | 30.6 | 38.9             | 25.0               | 5.6    | 0.0    |
|    | 40 歳代  | 76  | 40.8 | 39.5             | 13.2               | 3.9    | 2.6    |
|    | 50 歳代  | 101 | 43.6 | 23.8             | 22.8               | 9.9    | 0.0    |
|    | 60 歳代  | 140 | 21.4 | 25.7             | 32.1               | 17.9   | 2.9    |
|    | 70 歳代  | 85  | 11.8 | 18.8             | 42.4               | 27.1   | 0.0    |
|    | 80 歳以上 | 27  | 22.2 | 25.9             | 18.5               | 25.9   | 7.4    |
| 男性 | 20 歳代  | 17  | 47.1 | 29.4             | 17.6               | 5.9    | 0.0    |
|    | 30 歳代  | 28  | 28.6 | 32.1             | 21.4               | 17.9   | 0.0    |
|    | 40 歳代  | 40  | 27.5 | 15.0             | 40.0               | 15.0   | 2.5    |
|    | 50 歳代  | 46  | 26.1 | 26.1             | 30.4               | 17.4   | 0.0    |
|    | 60 歳代  | 99  | 16.2 | 17.2             | 31.3               | 32.3   | 3.0    |
|    | 70 歳代  | 78  | 16.7 | 19.2             | 29.5               | 34.6   | 0.0    |
|    | 80 歳以上 | 32  | 6.3  | 21.9             | 21.9               | 43.8   | 6.3    |

「4. 結婚しても必ずしも子どもをもつ必要はない」の項目を年代別にみると、男性は年代が高くなるにつれて「そう思う」が少なくなる傾向である。女性も年代が高くなるにつれて「そう思う」が少なくなる傾向ではあるが、50 歳代と 60 歳代を境に 20 ポイント以上の差が開いている。“反対”（「どちらかといえばそう思わない」＋「そう思わない」）が過半数となっている年代は、男性が 40 歳代と 60 歳以上、女性が 60 歳代と 70 歳代となっている。

【年代別】「7. 夫の親を妻が介護・看護するのは当然である」という考え方について

|    |        | 合計  | そう思う | どちらかといえば<br>そう思う | どちらかといえば<br>そう思わない | そう思わない | 不明・無回答 |
|----|--------|-----|------|------------------|--------------------|--------|--------|
| 全体 |        | 860 | 6.5  | 29.4             | 30.2               | 32.9   | 0.9    |
| 女性 | 20 歳代  | 28  | 0.0  | 32.1             | 28.6               | 39.3   | 0.0    |
|    | 30 歳代  | 36  | 5.6  | 22.2             | 30.6               | 41.7   | 0.0    |
|    | 40 歳代  | 76  | 5.3  | 26.3             | 21.1               | 46.1   | 1.3    |
|    | 50 歳代  | 101 | 4.0  | 20.8             | 24.8               | 50.5   | 0.0    |
|    | 60 歳代  | 140 | 6.4  | 27.9             | 30.0               | 35.7   | 0.0    |
|    | 70 歳代  | 85  | 9.4  | 38.8             | 29.4               | 22.4   | 0.0    |
|    | 80 歳以上 | 27  | 14.8 | 40.7             | 33.3               | 11.1   | 0.0    |
| 男性 | 20 歳代  | 17  | 0.0  | 11.8             | 29.4               | 58.8   | 0.0    |
|    | 30 歳代  | 28  | 3.6  | 21.4             | 32.1               | 42.9   | 0.0    |
|    | 40 歳代  | 40  | 0.0  | 35.0             | 32.5               | 30.0   | 2.5    |
|    | 50 歳代  | 46  | 2.2  | 23.9             | 52.2               | 21.7   | 0.0    |
|    | 60 歳代  | 99  | 6.1  | 36.4             | 35.4               | 19.2   | 3.0    |
|    | 70 歳代  | 78  | 7.7  | 33.3             | 32.1               | 26.9   | 0.0    |
|    | 80 歳以上 | 32  | 25.0 | 40.6             | 18.8               | 12.5   | 3.1    |

「7. 夫の親を妻が介護・看護するのは当然である」の項目を年代別にみると、“反対”よりも“賛成”（「そう思う」＋「どちらかといえばそう思う」）が多い年代は、男女ともに 80 歳以上のみである。

【末子の年代別】「6. 子どもが3歳くらいまでは母親の元で育てるべき」という考え方について

|    |                 | 合計  | そう思う | どちらかといえ<br>ばそう思う | どちらかといえ<br>ばそう思わない | そう思わない | 不明・無回答 |
|----|-----------------|-----|------|------------------|--------------------|--------|--------|
| 全体 |                 | 860 | 42.8 | 37.4             | 9.5                | 9.2    | 1.0    |
| 女性 | 3歳未満            | 12  | 8.3  | 58.3             | 25.0               | 0.0    | 8.3    |
|    | 3歳～小学校入学前       | 23  | 30.4 | 34.8             | 13.0               | 21.7   | 0.0    |
|    | 小学生             | 21  | 19.0 | 61.9             | 9.5                | 9.5    | 0.0    |
|    | 中学生             | 15  | 46.7 | 33.3             | 6.7                | 13.3   | 0.0    |
|    | 高校生             | 17  | 29.4 | 35.3             | 11.8               | 23.5   | 0.0    |
|    | 短大・各種学校・大学・大学院生 | 29  | 51.7 | 41.4             | 3.4                | 3.4    | 0.0    |
|    | 社会人             | 261 | 47.1 | 33.7             | 10.7               | 7.7    | 0.8    |
|    | その他             | 9   | 44.4 | 44.4             | 0.0                | 11.1   | 0.0    |
|    | 子どもはいない         | 88  | 36.4 | 46.6             | 9.1                | 8.0    | 0.0    |
| 男性 | 3歳未満            | 11  | 18.2 | 45.5             | 18.2               | 18.2   | 0.0    |
|    | 3歳～小学校入学前       | 15  | 33.3 | 40.0             | 13.3               | 6.7    | 6.7    |
|    | 小学生             | 18  | 50.0 | 33.3             | 5.6                | 11.1   | 0.0    |
|    | 中学生             | 13  | 46.2 | 23.1             | 23.1               | 7.7    | 0.0    |
|    | 高校生             | 12  | 50.0 | 41.7             | 0.0                | 8.3    | 0.0    |
|    | 短大・各種学校・大学・大学院生 | 20  | 50.0 | 40.0             | 10.0               | 0.0    | 0.0    |
|    | 社会人             | 174 | 44.3 | 39.1             | 5.7                | 9.8    | 1.1    |
|    | その他             | 3   | 33.3 | 33.3             | 33.3               | 0.0    | 0.0    |
|    | 子どもはいない         | 59  | 42.4 | 27.1             | 13.6               | 16.9   | 0.0    |

「6. 子どもが3歳くらいまでは母親の元で育てるべき」の項目を末子の年代別にみると、“反対”（「どちらかといえばそう思わない」＋「そう思わない」）が最も多いのは、男性が「3歳未満」、女性が「高校生」になっている。

【前回調査】男女平等に関する意識について

|                                  |    | そう思う | どちらかといえばそう思う | どちらかといえばそう思わない | そう思わない | 不明・無回答 |
|----------------------------------|----|------|--------------|----------------|--------|--------|
| 1. 夫は外で働き、妻は家庭を守るべきである           | 女性 | 11.1 | 38.4         | 20.2           | 28.4   | 2.0    |
|                                  | 男性 | 14.9 | 52.0         | 15.7           | 16.5   | 0.8    |
| 2. 妻子を養うのは男の責任である                | 女性 | 27.5 | 42.5         | 14.6           | 12.7   | 2.7    |
|                                  | 男性 | 40.8 | 44.8         | 6.1            | 7.2    | 1.1    |
| 3. 結婚は、個人の自由であるから、結婚しなくてもどちらでもよい | 女性 | 39.8 | 25.4         | 18.8           | 13.8   | 2.3    |
|                                  | 男性 | 32.3 | 21.9         | 23.7           | 21.3   | 0.8    |
| 4. 結婚しても必ずしも子どもをもつ必要はない          | 女性 | 30.0 | 23.2         | 23.4           | 21.3   | 2.1    |
|                                  | 男性 | 19.2 | 18.9         | 33.1           | 27.7   | 1.1    |
| 5. 男の子は男らしく、女の子は女らしく育てるほうがよい     | 女性 | 28.9 | 38.6         | 17.7           | 12.3   | 2.5    |
|                                  | 男性 | 42.4 | 41.1         | 9.9            | 5.9    | 0.8    |
| 6. 子どもが3歳くらいまでは母親の元で育てるべき        | 女性 | 55.2 | 30.4         | 6.8            | 6.1    | 1.6    |
|                                  | 男性 | 50.9 | 32.5         | 6.4            | 9.3    | 0.8    |
| 7. 夫の親を妻が介護・看護するのは当然である          | 女性 | 10.4 | 30.5         | 26.3           | 30.9   | 2.0    |
|                                  | 男性 | 7.7  | 46.1         | 23.2           | 21.9   | 1.1    |

【世論調査】男女平等に関する意識について

|                     |    | 賛成   | どちらかといえば賛成 | どちらかといえば反対 | 反対   | わからない |
|---------------------|----|------|------------|------------|------|-------|
| 夫は外で働き、妻は家庭を守るべきである | 女性 | 12.4 | 36.0       | 30.4       | 18.4 | 2.8   |
|                     | 男性 | 13.3 | 41.8       | 25.2       | 15.8 | 3.8   |

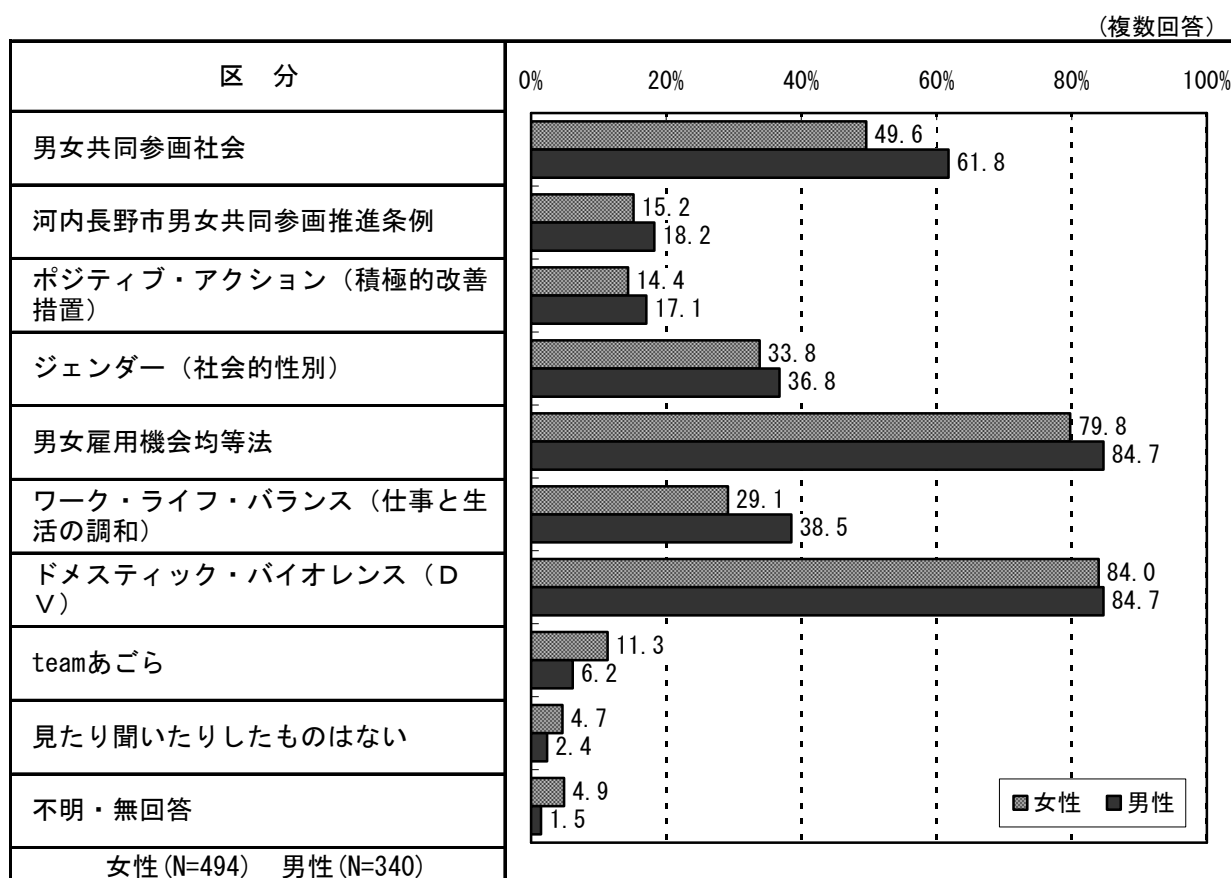
前回調査と比較すると、「7. 夫の親を妻が介護・看護するのは当然である」では、今回調査の方が女性で“賛成”が5.9ポイント減り、“反対”が7.5ポイント増えている。男性も、“賛成”が15.5ポイント減り、“反対”が15.2ポイント増えている。

世論調査と比較すると、「夫は外で働き、妻は家庭を守るべきである」では、“賛成”“反対”ともに本市今回調査と大きな差はない。

# ●男女共同参画の認知度について

問3 これらの言葉のうち、あなたが見たり聞いたりしたことがあるものを全てあげてください。

(あてはまるものすべてに○)



女性では、「ドメスティック・バイオレンス (DV)」が84.0%で最も多く、「男女雇用機会均等法」(79.8%)、「男女共同参画社会」(49.6%) がつづいている。

男性では、「男女雇用機会均等法」と「ドメスティック・バイオレンス (DV)」が84.7%で同値で最も多く、「男女共同参画社会」(61.8%) がつづいている。

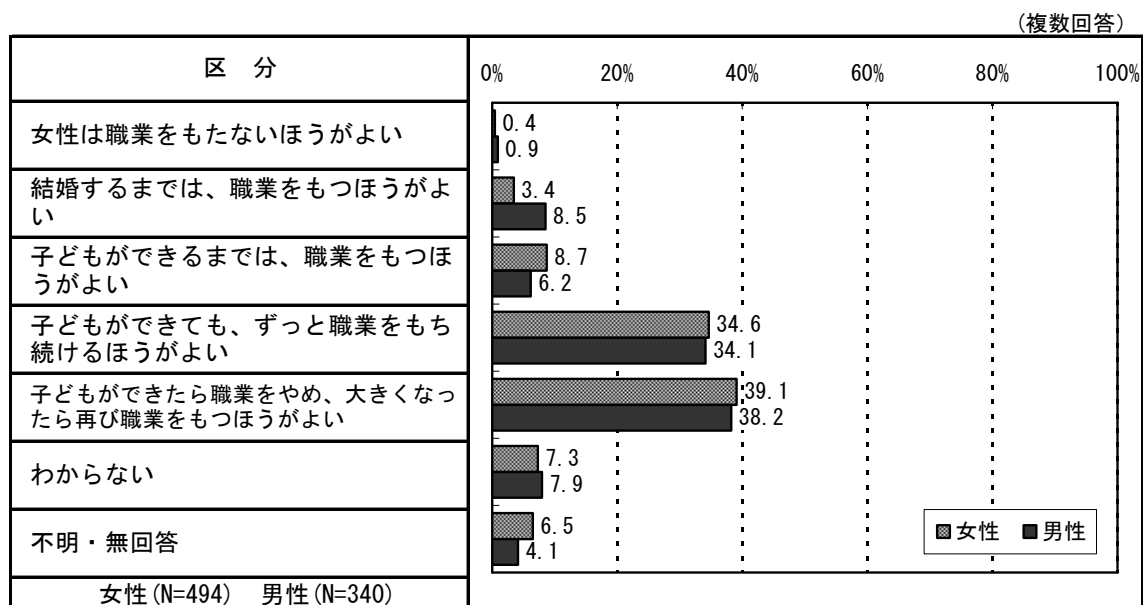
## 【世論調査】男女共同参画の認知度について

|    | 男女共同参画社会 | ポジティブ・アクション (積極的改善措置) | ジェンダー (社会的性別) | 男女雇用機会均等法 | ワーク・ライフ・バランス (仕事と生活の調和) | ドメスティック・バイオレンス (DV) |
|----|----------|-----------------------|---------------|-----------|-------------------------|---------------------|
| 女性 | 61.3     | 19.7                  | 29.9          | 76.6      | 41.3                    | 81.3                |
| 男性 | 66.3     | 20.4                  | 32.1          | 83.0      | 41.4                    | 82.1                |

世論調査と比較すると、女性では「男女共同参画社会」を知っている割合が本市のほうが11.7ポイント少ない。

●女性が職業をもつことについて

問4 一般的に、女性が職業をもつことについて、あなたのお考えに最も近いものはどれですか。  
(1つだけに○)



男女ともに「子どもができたなら職業をやめ、大きくなったら再び職業をもつほうがよい」が最も多く（女性 39.1%、男性が 38.2%）、「子どもができて、ずっと職業をもち続けるほうがよい」（女性 34.6%、男性 34.1%）がつづいている。「結婚するまでは、職業をもつほうがよい」では女性（3.4%）よりも男性（8.5%）のほうが多くなっている。



【年代別】女性が職業をもつことについて

|    |        | 合計  | 女性が職業をもたないほうがよい | 結婚するまでは、職業をもつほうがよい | よい   | 子どもができるまでは、職業をもつほうがよい | 子どもができて、ずっと職業をもち続けるほうがよい | 子どもができたなら職業をやめ、大きくなったら再び職業をもつほうがよい | わからない | 不明・無回答 |
|----|--------|-----|-----------------|--------------------|------|-----------------------|--------------------------|------------------------------------|-------|--------|
| 全体 |        | 860 | 0.7             | 5.5                | 8.0  | 34.0                  | 38.4                     | 7.9                                | 5.6   |        |
| 女性 | 20 歳代  | 28  | 0.0             | 3.6                | 7.1  | 32.1                  | 32.1                     | 21.4                               | 3.6   |        |
|    | 30 歳代  | 36  | 0.0             | 2.8                | 13.9 | 38.9                  | 33.3                     | 8.3                                | 2.8   |        |
|    | 40 歳代  | 76  | 0.0             | 1.3                | 1.3  | 39.5                  | 43.4                     | 11.8                               | 2.6   |        |
|    | 50 歳代  | 101 | 0.0             | 1.0                | 6.9  | 43.6                  | 42.6                     | 5.9                                | 0.0   |        |
|    | 60 歳代  | 140 | 0.7             | 4.3                | 7.1  | 37.9                  | 39.3                     | 5.0                                | 5.7   |        |
|    | 70 歳代  | 85  | 0.0             | 4.7                | 14.1 | 18.8                  | 42.4                     | 3.5                                | 16.5  |        |
|    | 80 歳以上 | 27  | 3.7             | 11.1               | 22.2 | 18.5                  | 14.8                     | 7.4                                | 22.2  |        |
| 男性 | 20 歳代  | 17  | 0.0             | 5.9                | 11.8 | 23.5                  | 23.5                     | 35.3                               | 0.0   |        |
|    | 30 歳代  | 28  | 0.0             | 7.1                | 3.6  | 35.7                  | 39.3                     | 14.3                               | 0.0   |        |
|    | 40 歳代  | 40  | 0.0             | 5.0                | 5.0  | 47.5                  | 27.5                     | 7.5                                | 7.5   |        |
|    | 50 歳代  | 46  | 0.0             | 6.5                | 4.3  | 41.3                  | 37.0                     | 10.9                               | 0.0   |        |
|    | 60 歳代  | 99  | 1.0             | 9.1                | 5.1  | 40.4                  | 38.4                     | 2.0                                | 4.0   |        |
|    | 70 歳代  | 78  | 2.6             | 9.0                | 5.1  | 24.4                  | 47.4                     | 6.4                                | 5.1   |        |
|    | 80 歳以上 | 32  | 0.0             | 15.6               | 15.6 | 15.6                  | 37.5                     | 6.3                                | 9.4   |        |

【前回調査】【世論調査】女性が職業をもつことについて

|      |    | 女性が職業をもたないほうがよい | 結婚するまでは、職業をもつほうがよい | よい   | 子どもができるまでは、職業をもつほうがよい | 子どもができて、ずっと職業をもち続けるほうがよい | 子どもができたなら職業をやめ、大きくなったら再び職業をもつほうがよい | わからない | 不明・無回答 |
|------|----|-----------------|--------------------|------|-----------------------|--------------------------|------------------------------------|-------|--------|
| 前回調査 | 女性 | 0.4             | 7.9                | 8.0  | 31.3                  | 45.7                     | 5.5                                | 1.3   |        |
|      | 男性 | 1.9             | 10.7               | 11.2 | 24.5                  | 46.7                     | 4.3                                | 0.8   |        |
| 世論調査 | 女性 | 2.9             | 5.0                | 8.7  | 48.3                  | 33.0                     | 1.1                                | 1.1   |        |
|      | 男性 | 4.0             | 6.3                | 11.5 | 46.6                  | 28.4                     | 1.7                                | 1.5   |        |

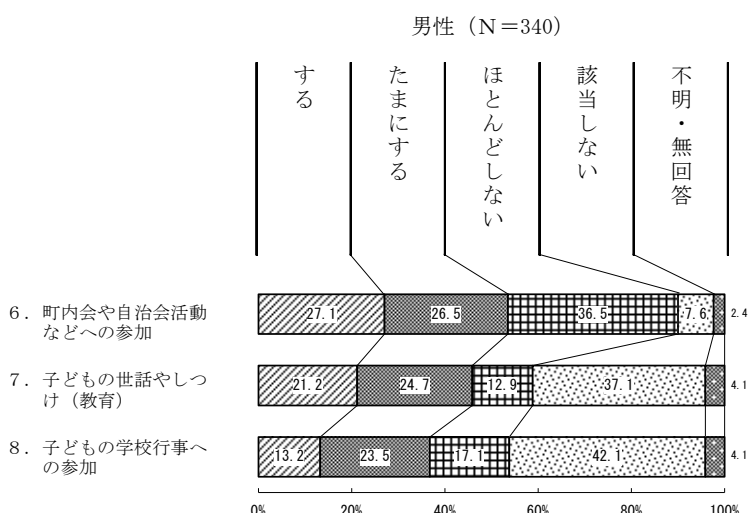
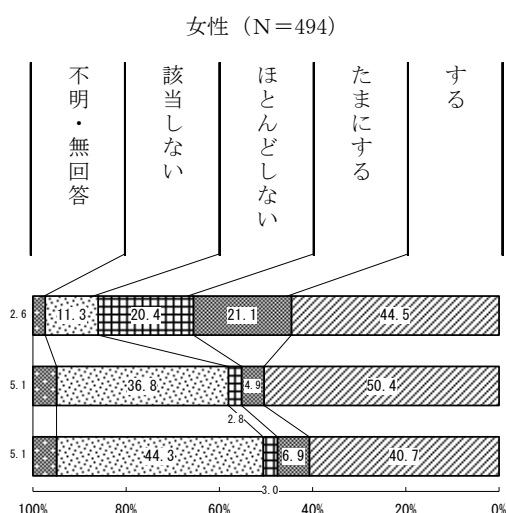
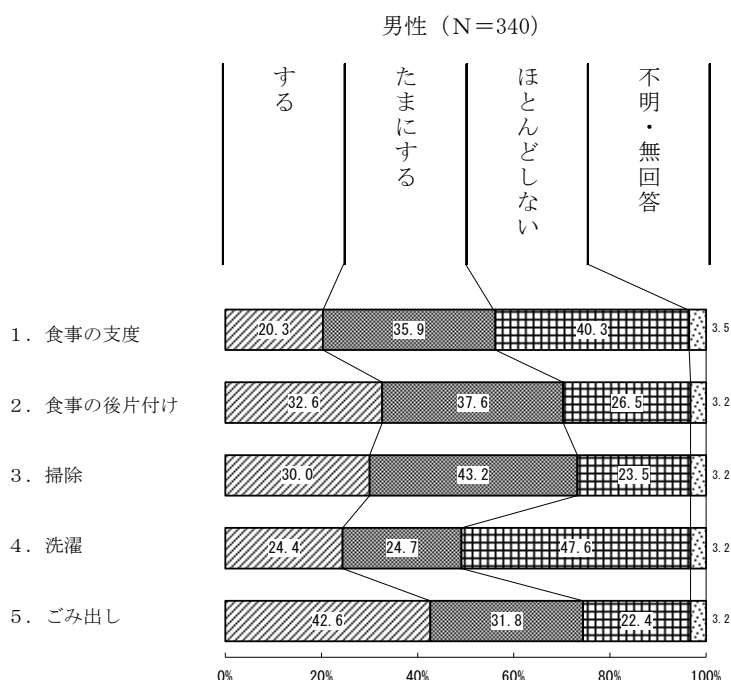
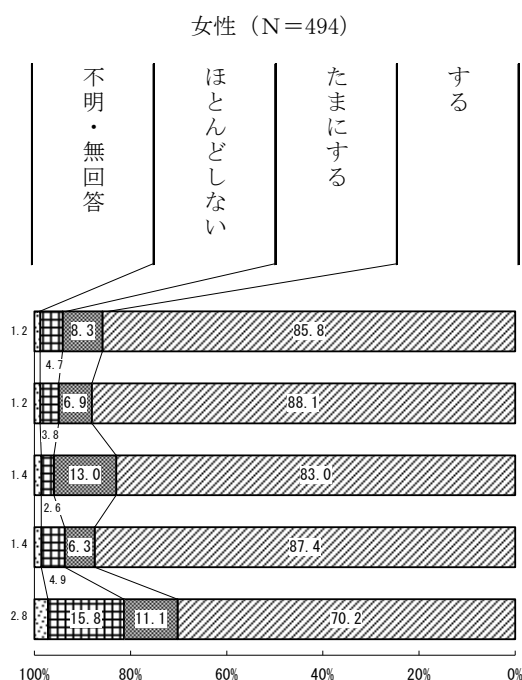
年代別にみると、男性の 40 歳代が「子どもができて、ずっと職業をもち続けるほうがよい」が 47.5%で最も多くなっている。

前回調査と比較すると、男性で今回調査のほうが前回調査よりも「子どもができて、ずっと職業をもち続けるほうがよい」の割合が 9.6 ポイント増えており、「子どもができたなら職業をやめ、大きくなったら再び職業をもつほうがよい」の割合が 8.5 ポイント減っている。女性でも「子どもができたなら職業をやめ、大きくなったら再び職業をもつほうがよい」の割合が 6.6 ポイント減っている。

世論調査と比較すると、本市今回調査のほうが「子どもができたなら職業をやめ、大きくなったら再び職業をもつほうがよい」の割合が高く、女性で 6.1 ポイント、男性で 9.8 ポイントの差となっている。また、「子どもができて、ずっと職業をもち続けるほうがよい」の割合は、本市今回調査のほうが女性は 13.7 ポイント、男性は 12.5 ポイント少ない。

# ●家庭生活の実態について

問5 あなたは、普段ご家庭で次のことをされていますか。(それぞれ1つずつに○)



「8. 子どもの学校行事への参加」を除いたすべての項目で、女性は「する」が最も多くなっており、「ほとんどしない」項目は「6. 町内会や自治会活動などへの参加」が最も多く 20.4%である。男性は「5. ごみ出し」で 42.6%、「2. 食事の後片付け」「3. 掃除」で約3割が「する」となっているが、これらの項目と「7. 子どもの世話やしつけ (教育)」以外の項目では、「する」よりも「ほとんどしない」割合のほうが多い。全ての項目において女性のほうが男性よりも「する」の割合が多く、「1. 食事の支度」「2. 食事の後片付け」「3. 掃除」「4. 洗濯」では女性は8割以上であり、男性よりも50ポイント以上多い。

【婚姻状況別】家事の状況

|                        |    |          | 合計  | する   | たまにする | ほとんどしない | 不明・無回答 |        |
|------------------------|----|----------|-----|------|-------|---------|--------|--------|
| 1. 食事の支度               | 全体 |          | 860 | 59.0 | 19.2  | 19.7    | 2.2    |        |
|                        | 女性 | ※1結婚している | 394 | 93.1 | 4.8   | 1.0     | 1.0    |        |
|                        |    | 結婚していない  | 89  | 52.8 | 24.7  | 21.3    | 1.1    |        |
|                        | 男性 | 結婚している   | 280 | 15.4 | 37.1  | 43.6    | 3.9    |        |
|                        |    | 結婚していない  | 54  | 44.4 | 29.6  | 25.9    | 0.0    |        |
| 2. 食事の後片付け             | 全体 |          | 860 | 65.2 | 19.2  | 13.5    | 2.1    |        |
|                        | 女性 | 結婚している   | 394 | 92.9 | 4.6   | 1.5     | 1.0    |        |
|                        |    | 結婚していない  | 89  | 66.3 | 16.9  | 14.6    | 2.2    |        |
|                        | 男性 | 結婚している   | 280 | 29.3 | 40.7  | 26.8    | 3.2    |        |
|                        |    | 結婚していない  | 54  | 51.9 | 20.4  | 25.9    | 1.9    |        |
| 3. 掃除                  | 全体 |          | 860 | 61.4 | 25.1  | 11.3    | 2.2    |        |
|                        | 女性 | 結婚している   | 394 | 88.8 | 8.6   | 1.3     | 1.3    |        |
|                        |    | 結婚していない  | 89  | 58.4 | 30.3  | 9.0     | 2.2    |        |
|                        | 男性 | 結婚している   | 280 | 28.6 | 44.3  | 23.9    | 3.2    |        |
|                        |    | 結婚していない  | 54  | 38.9 | 38.9  | 22.2    | 0.0    |        |
| 4. 洗濯                  | 全体 |          | 860 | 61.3 | 13.7  | 22.7    | 2.3    |        |
|                        | 女性 | 結婚している   | 394 | 93.9 | 2.8   | 2.0     | 1.3    |        |
|                        |    | 結婚していない  | 89  | 58.4 | 21.3  | 18.0    | 2.2    |        |
|                        | 男性 | 結婚している   | 280 | 20.4 | 26.8  | 49.6    | 3.2    |        |
|                        |    | 結婚していない  | 54  | 44.4 | 14.8  | 38.9    | 1.9    |        |
| 5. ごみ出し                | 全体 |          | 860 | 59.0 | 19.7  | 18.4    | 3.0    |        |
|                        | 女性 | 結婚している   | 394 | 74.6 | 10.7  | 12.4    | 2.3    |        |
|                        |    | 結婚していない  | 89  | 49.4 | 14.6  | 32.6    | 3.4    |        |
|                        | 男性 | 結婚している   | 280 | 41.1 | 33.2  | 22.5    | 3.2    |        |
|                        |    | 結婚していない  | 54  | 48.1 | 25.9  | 22.2    | 3.7    |        |
|                        |    |          | 合計  | する   | たまにする | ほとんどしない | 該当しない  | 不明・無回答 |
| 6. 町内会や自治会<br>活動などへの参加 | 全体 |          | 860 | 37.3 | 23.4  | 27.0    | 9.7    | 2.7    |
|                        | 女性 | 結婚している   | 394 | 49.5 | 23.9  | 16.0    | 8.4    | 2.3    |
|                        |    | 結婚していない  | 89  | 21.3 | 10.1  | 38.2    | 25.8   | 4.5    |
|                        | 男性 | 結婚している   | 280 | 28.6 | 27.9  | 37.1    | 3.9    | 2.5    |
|                        |    | 結婚していない  | 54  | 18.5 | 16.7  | 35.2    | 27.8   | 1.9    |
| 7. 子どもの世話やし<br>つけ(教育)  | 全体 |          | 860 | 38.7 | 12.7  | 7.1     | 36.9   | 4.7    |
|                        | 女性 | 結婚している   | 394 | 57.9 | 5.1   | 2.5     | 29.9   | 4.6    |
|                        |    | 結婚していない  | 89  | 21.3 | 3.4   | 4.5     | 65.2   | 5.6    |
|                        | 男性 | 結婚している   | 280 | 25.0 | 28.6  | 13.9    | 28.2   | 4.3    |
|                        |    | 結婚していない  | 54  | 3.7  | 5.6   | 7.4     | 81.5   | 1.9    |
| 8. 子どもの学校行<br>事への参加    | 全体 |          | 860 | 29.5 | 13.7  | 8.8     | 43.3   | 4.7    |
|                        | 女性 | 結婚している   | 394 | 46.7 | 8.1   | 2.3     | 38.6   | 4.3    |
|                        |    | 結婚していない  | 89  | 16.9 | 1.1   | 6.7     | 68.5   | 6.7    |
|                        | 男性 | 結婚している   | 280 | 16.1 | 27.1  | 18.9    | 33.9   | 3.9    |
|                        |    | 結婚していない  | 54  | 0.0  | 7.4   | 7.4     | 83.3   | 1.9    |

※1 「結婚している」は、婚姻の届出をしていないが、事実上婚姻関係にある場合も含みます。

婚姻状況別にみると、「1. 食事の支度」「2. 食事の後片付け」「3. 掃除」「4. 洗濯」では、女性で結婚している人は「する」が約9割と非常に多く、結婚していない人を30ポイント程度上回る。逆に男性は、結婚している人でこれらの項目の「する」が1～3割となっており、結婚していないの方が家事をする割合が多い。

【前回調査】家事の状況

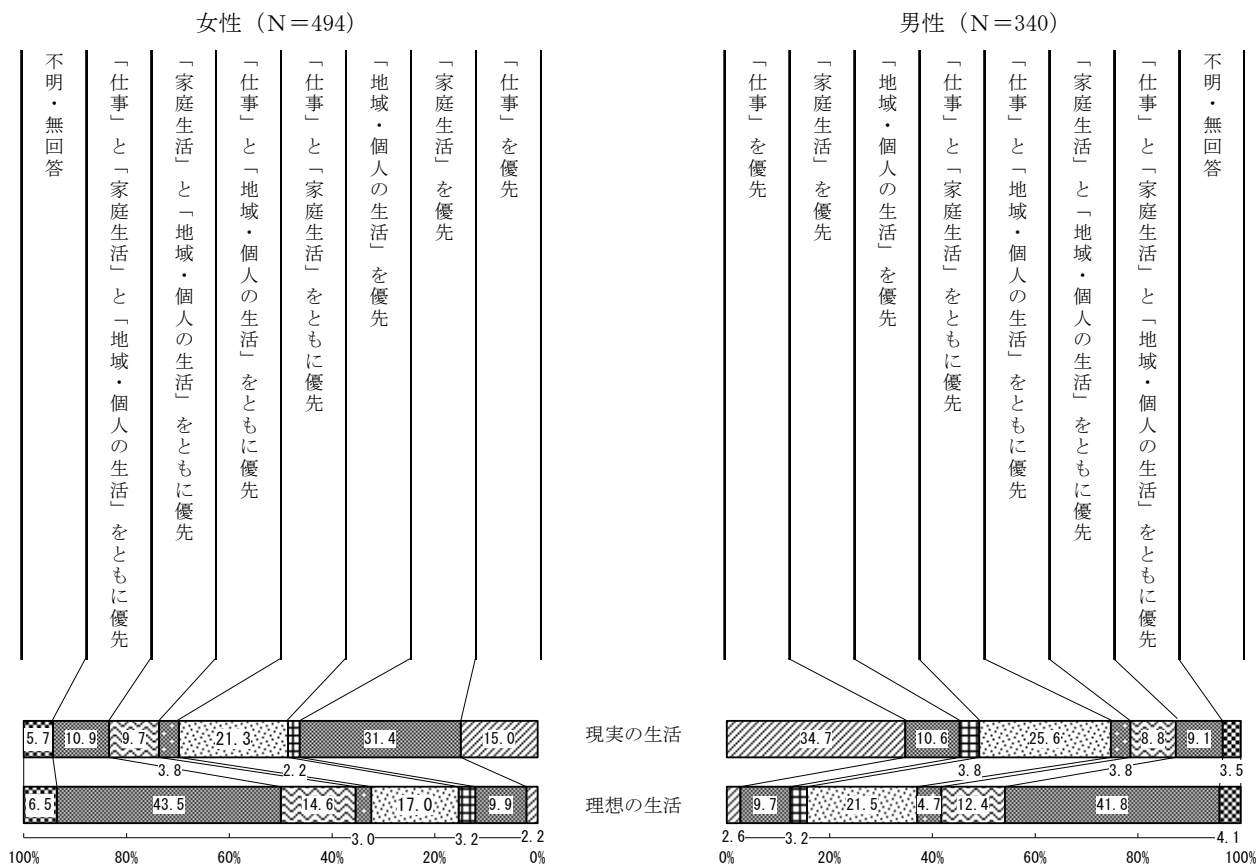
|                   |    | よくする | たまにする | ほとんどしない | 不明・無回答 |        |
|-------------------|----|------|-------|---------|--------|--------|
| 1. 食事の支度          | 女性 | 83.6 | 7.9   | 7.3     | 1.3    |        |
|                   | 男性 | 14.9 | 27.5  | 54.4    | 3.2    |        |
| 2. 食事の後片付け        | 女性 | 87.3 | 7.7   | 3.6     | 1.4    |        |
|                   | 男性 | 20.3 | 40.8  | 36.0    | 2.9    |        |
| 3. 掃除             | 女性 | 77.9 | 17.1  | 3.4     | 1.6    |        |
|                   | 男性 | 18.7 | 42.4  | 36.3    | 2.7    |        |
| 4. 洗濯             | 女性 | 85.0 | 6.8   | 6.8     | 1.4    |        |
|                   | 男性 | 13.3 | 20.3  | 62.9    | 3.5    |        |
| 5. ごみ出し           | 女性 | 65.9 | 16.1  | 15.7    | 2.3    |        |
|                   | 男性 | 35.7 | 31.2  | 31.5    | 1.6    |        |
|                   |    | よくする | たまにする | ほとんどしない | 該当しない  | 不明・無回答 |
| 6. 町内会や自治会活動への参加  | 女性 | 30.2 | 30.9  | 23.2    | 13.0   | 2.7    |
|                   | 男性 | 24.3 | 24.5  | 37.3    | 11.5   | 2.4    |
| 7. 子どもの世話やしつけ(教育) | 女性 | 95.2 | 3.2   | 0.0     | 0.8    | 0.8    |
|                   | 男性 | 24.1 | 59.3  | 13.0    | 1.9    | 1.9    |
| 8. 子どもの学校行事への参加   | 女性 | 75.8 | 15.3  | 0.0     | 8.1    | 0.8    |
|                   | 男性 | 37.0 | 31.5  | 11.1    | 20.4   | 0.0    |

前回調査と比較すると、「7. 子どもの世話やしつけ(教育)」「8. 子どもの学校行事への参加」を除くすべての項目で、男女ともに「する(よくする)」の割合は今回調査の方が高くなっている。

## ●ワーク・ライフ・バランス（仕事と生活の調和）について

問6 生活の中における「※<sup>2</sup>仕事」「※<sup>3</sup>家庭生活」「※<sup>4</sup>地域・個人の生活」の優先度について、あなたの現実の生活、理想の生活に最も近いものをお答えください。

（「現実の生活」と「理想の生活」でそれぞれ1つずつに○）



※2 「仕事」とは、自営業主、家族従業者、雇用者として、週1時間以上働いていることを言います。就業形態は問いません。

※3 「家庭生活」とは、家族と過ごすこと、家事、育児、介護・看護などを言います。

※4 「地域・個人の生活」とは、地域・社会活動（ボランティア活動、社会参加活動、交際・つき合いなど）、学習・研究（学業も含む）、趣味・娯楽、スポーツなどを言います。

現実の生活では、男性は『「仕事」を優先』が34.7%、女性は『「家庭生活」を優先』が31.4%で最も高くなっている。

理想の生活では、男女とも『「仕事」と「家庭生活」と「地域・個人の生活」をともに優先』が約4割で最も高いが、現実の実現できている女性は10.9%、男性は9.1%となっており、現実と理想に差がある。

【年代別】ワーク・ライフ・バランス（仕事と生活の調和）について（現実の生活）

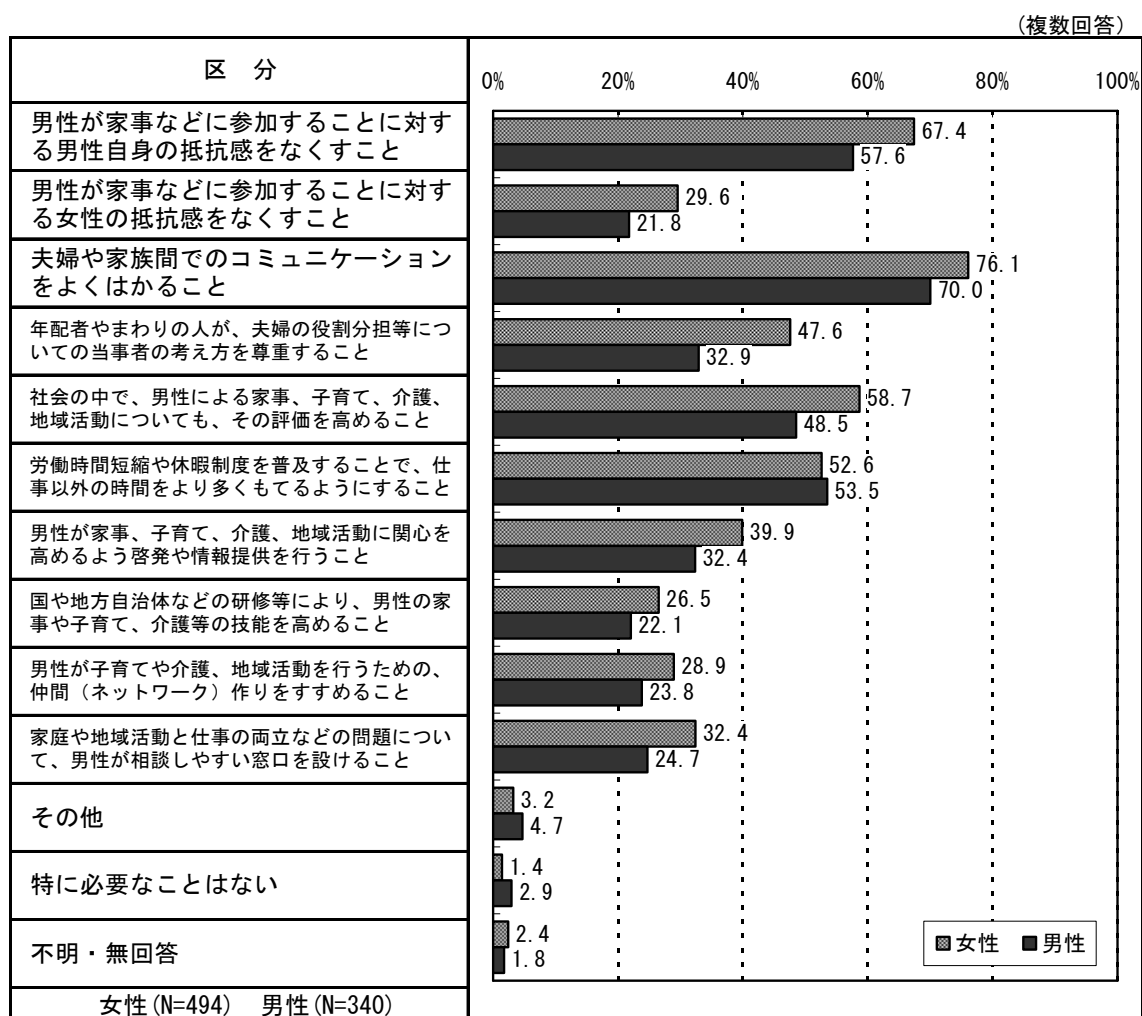
|    |        | 合計  | 「仕事」を優先 | 「家庭生活」を優先 | 「地域・個人の生活」を優先 | 「仕事」と「家庭生活」をともに優先 | 「仕事」と「地域・個人の生活」をともに優先 | 「家庭生活」と「地域・個人の生活」をともに優先 | 「仕事」と「家庭生活」と「地域・個人の生活」をともに優先 | 不明・無回答 |
|----|--------|-----|---------|-----------|---------------|-------------------|-----------------------|-------------------------|------------------------------|--------|
| 全体 |        | 860 | 23.0    | 22.7      | 2.9           | 22.9              | 3.8                   | 9.2                     | 10.3                         | 5.1    |
| 女性 | 20 歳代  | 28  | 28.6    | 21.4      | 0.0           | 14.3              | 14.3                  | 0.0                     | 14.3                         | 7.1    |
|    | 30 歳代  | 36  | 36.1    | 27.8      | 0.0           | 13.9              | 8.3                   | 2.8                     | 11.1                         | 0.0    |
|    | 40 歳代  | 76  | 26.3    | 34.2      | 0.0           | 17.1              | 7.9                   | 2.6                     | 7.9                          | 3.9    |
|    | 50 歳代  | 101 | 11.9    | 28.7      | 1.0           | 34.7              | 0.0                   | 9.9                     | 12.9                         | 1.0    |
|    | 60 歳代  | 140 | 9.3     | 36.4      | 3.6           | 22.1              | 1.4                   | 13.6                    | 10.0                         | 3.6    |
|    | 70 歳代  | 85  | 7.1     | 31.8      | 3.5           | 16.5              | 3.5                   | 12.9                    | 11.8                         | 12.9   |
|    | 80 歳以上 | 27  | 7.4     | 22.2      | 7.4           | 11.1              | 3.7                   | 14.8                    | 11.1                         | 22.2   |
| 男性 | 20 歳代  | 17  | 58.8    | 0.0       | 5.9           | 11.8              | 5.9                   | 11.8                    | 5.9                          | 0.0    |
|    | 30 歳代  | 28  | 39.3    | 14.3      | 3.6           | 28.6              | 0.0                   | 0.0                     | 10.7                         | 3.6    |
|    | 40 歳代  | 40  | 45.0    | 7.5       | 2.5           | 27.5              | 5.0                   | 5.0                     | 7.5                          | 0.0    |
|    | 50 歳代  | 46  | 47.8    | 0.0       | 4.3           | 30.4              | 2.2                   | 2.2                     | 10.9                         | 2.2    |
|    | 60 歳代  | 99  | 30.3    | 14.1      | 0.0           | 30.3              | 3.0                   | 8.1                     | 11.1                         | 3.0    |
|    | 70 歳代  | 78  | 21.8    | 12.8      | 9.0           | 25.6              | 6.4                   | 14.1                    | 5.1                          | 5.1    |
|    | 80 歳以上 | 32  | 31.3    | 15.6      | 3.1           | 6.3               | 3.1                   | 18.8                    | 12.5                         | 9.4    |

【年代別】ワーク・ライフ・バランスについて（仕事と生活の調和）（理想の生活）

|    |        | 合計  | 「仕事」を優先 | 「家庭生活」を優先 | 「地域・個人の生活」を優先 | 「仕事」と「家庭生活」をともに優先 | 「仕事」と「地域・個人の生活」をともに優先 | 「家庭生活」と「地域・個人の生活」をともに優先 | 「仕事」と「家庭生活」と「地域・個人の生活」をともに優先 | 不明・無回答 |
|----|--------|-----|---------|-----------|---------------|-------------------|-----------------------|-------------------------|------------------------------|--------|
| 全体 |        | 860 | 2.3     | 9.5       | 3.3           | 18.6              | 3.7                   | 13.5                    | 43.0                         | 6.0    |
| 女性 | 20 歳代  | 28  | 3.6     | 7.1       | 0.0           | 17.9              | 10.7                  | 10.7                    | 46.4                         | 3.6    |
|    | 30 歳代  | 36  | 0.0     | 13.9      | 2.8           | 25.0              | 2.8                   | 16.7                    | 38.9                         | 0.0    |
|    | 40 歳代  | 76  | 1.3     | 14.5      | 0.0           | 19.7              | 1.3                   | 11.8                    | 44.7                         | 6.6    |
|    | 50 歳代  | 101 | 4.0     | 3.0       | 2.0           | 14.9              | 5.9                   | 5.9                     | 63.4                         | 1.0    |
|    | 60 歳代  | 140 | 2.1     | 11.4      | 3.6           | 15.0              | 2.1                   | 18.6                    | 43.6                         | 3.6    |
|    | 70 歳代  | 85  | 1.2     | 12.9      | 5.9           | 20.0              | 1.2                   | 20.0                    | 23.5                         | 15.3   |
|    | 80 歳以上 | 27  | 3.7     | 3.7       | 11.1          | 7.4               | 0.0                   | 18.5                    | 29.6                         | 25.9   |
| 男性 | 20 歳代  | 17  | 5.9     | 0.0       | 0.0           | 17.6              | 5.9                   | 17.6                    | 52.9                         | 0.0    |
|    | 30 歳代  | 28  | 3.6     | 14.3      | 0.0           | 28.6              | 0.0                   | 3.6                     | 46.4                         | 3.6    |
|    | 40 歳代  | 40  | 2.5     | 10.0      | 5.0           | 22.5              | 0.0                   | 17.5                    | 42.5                         | 0.0    |
|    | 50 歳代  | 46  | 2.2     | 8.7       | 2.2           | 26.1              | 6.5                   | 2.2                     | 47.8                         | 4.3    |
|    | 60 歳代  | 99  | 2.0     | 13.1      | 2.0           | 18.2              | 5.1                   | 13.1                    | 40.4                         | 6.1    |
|    | 70 歳代  | 78  | 3.8     | 9.0       | 3.8           | 19.2              | 7.7                   | 15.4                    | 39.7                         | 1.3    |
|    | 80 歳以上 | 32  | 0.0     | 3.1       | 9.4           | 25.0              | 3.1                   | 15.6                    | 31.3                         | 12.5   |

年代別にみると、現実の生活では、男性の20～50歳代は「『仕事』を優先」が4割前後～5割と多く、女性の20歳代と30歳代では「『家庭生活』を優先」よりも「『仕事』を優先」の割合が多くなっている。理想の生活では、男性の20歳代～60歳代で「『仕事』と『家庭生活』と『地域・個人の生活』をともに優先」が4割以上となっている。女性の50歳代では63.4%で最も多くなっている。

問7 今後、男性が女性とともに家事、子育て、介護、地域活動に積極的に参加していくためには、どのようなことが必要だと思われますか。（あてはまるものすべてに○）

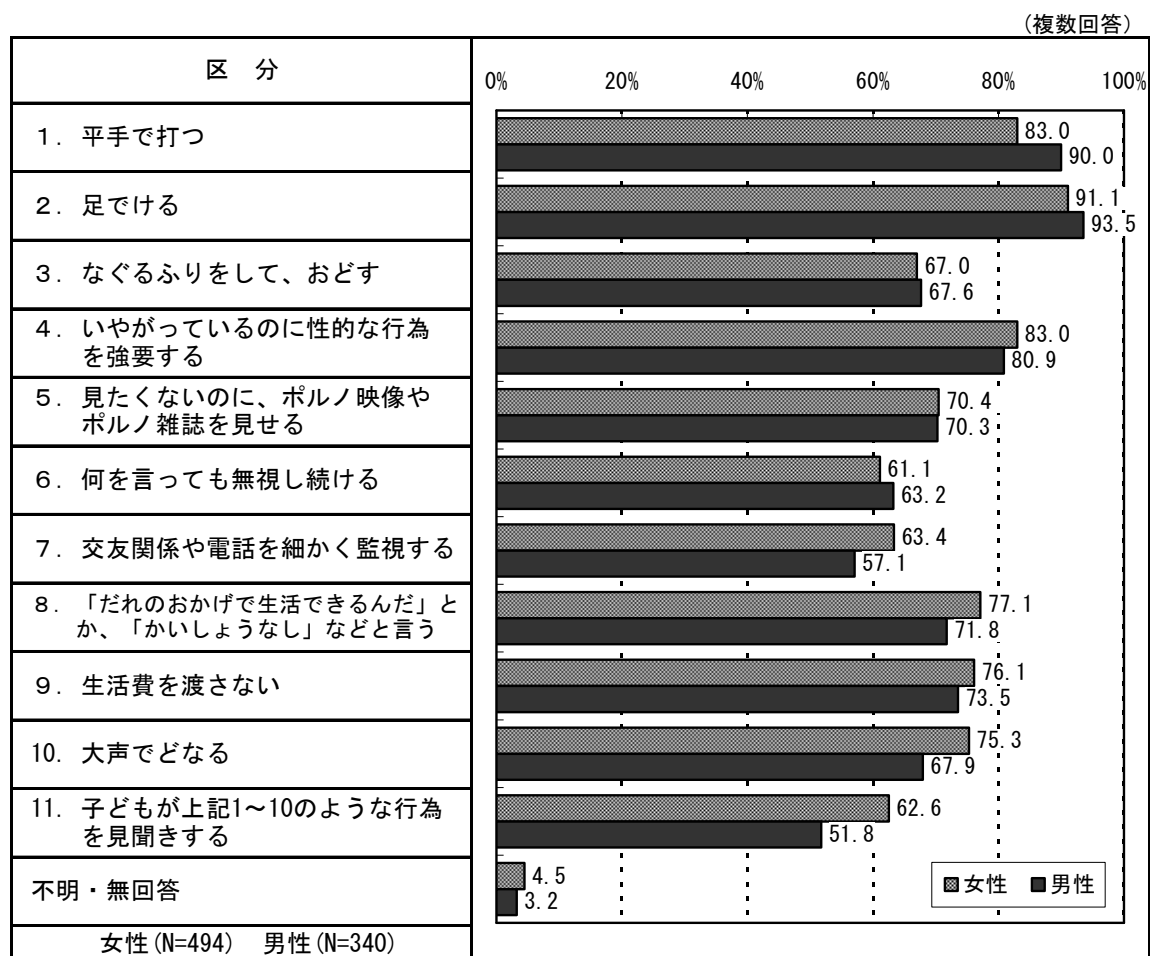


男女ともに「夫婦や家族間でのコミュニケーションをよくはかること」が最も多く（女性 76.1%、男性 70.0%）、「男性が家事などに参加することに対する男性自身の抵抗感をなくすこと」（女性 67.4%、男性 57.6%）がつづいている。「労働時間短縮や休暇制度を普及することで、仕事以外の時間をより多くもてるようにすること」では女性（52.6%）よりも男性（53.5%）のほうがわずかに多くなっている。

●恋人・配偶者に対する暴力、セクシュアル・ハラスメント等の実態について

問 8 あなたは、夫婦や恋人同士で起こる次のような行為は、「暴力」だと思いますか。

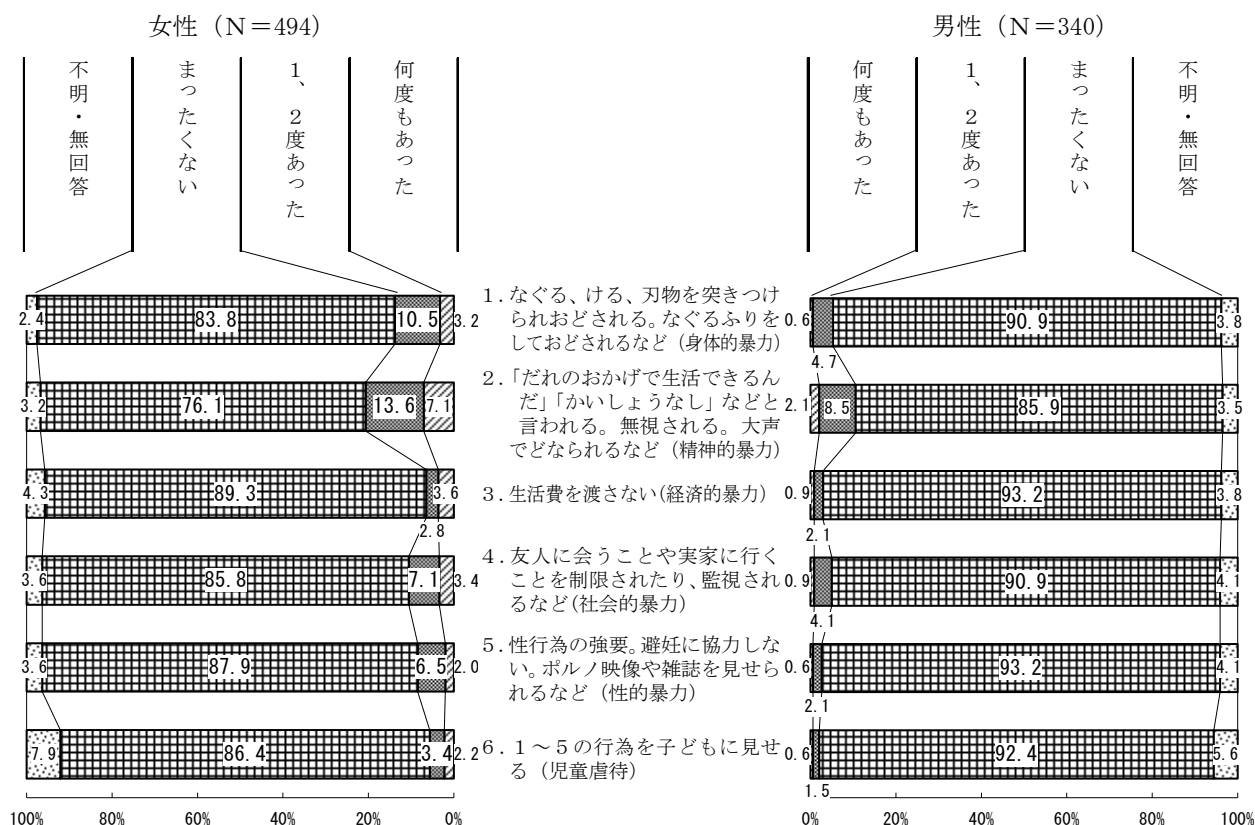
(あてはまるものすべてに○)



男女ともに「足でける」が最も多く（女性 91.1%、男性 93.5%）、「平手で打つ」（女性 83.0%、男性 90.0%）、「いやがっているのに性的な行為を強要する」（女性 83.0%、男性 80.9%）がつついている。性別で最も差が開いた項目は「子どもが上記 1～10 のような行為を見聞きする」で、男性よりも女性が 10.8 ポイント多い。



問9 あなたはこれまでに、あなたの配偶者や親しい異性（恋人等）から次のようなことをされたことがありますか。（それぞれ1つずつに○）



DVの被害経験は、男女とも「2.『だれのおかげで生活できるんだ』『かいしょうなし』などと言われる。無視される。大声でどなられるなど」が最も多く、女性は「何度もあった」が7.1%となっている。「1. なぐる、ける、刃物を突きつけられおどされる。なぐるふりをしておどされるなど」では女性13.7%、男性5.3%が経験している。

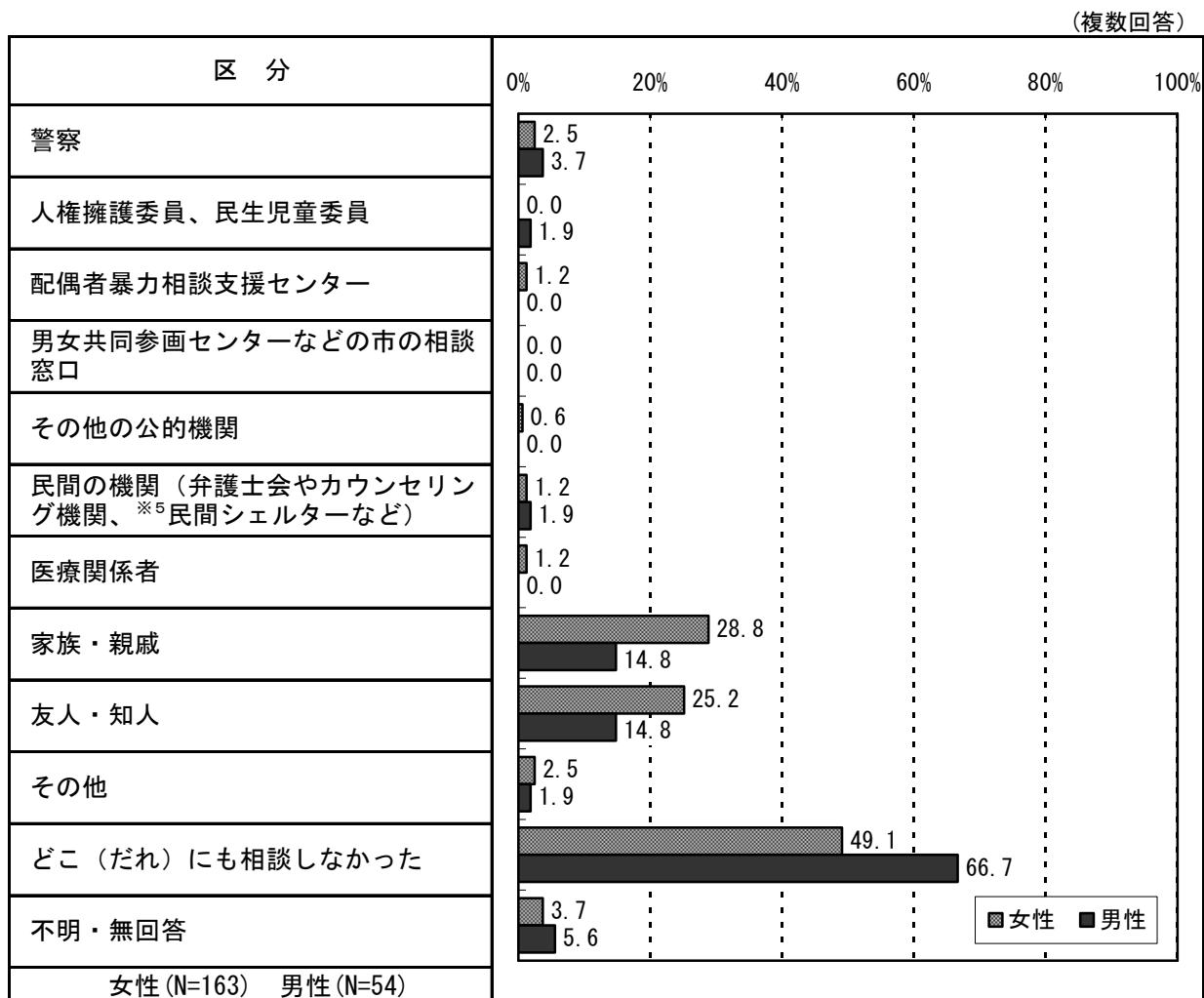
#### 【前回調査】DVの被害経験

|          |    | 何度もあった | 1、2度あった | まったくない | 無回答  |
|----------|----|--------|---------|--------|------|
| 1. 身体的暴力 | 女性 | 4.8    | 21.2    | 70.4   | 3.6  |
|          | 男性 | 0.3    | 11.4    | 83.3   | 5.0  |
| 2. 精神的暴力 | 女性 | 12.5   | 23.9    | 49.6   | 13.9 |
|          | 男性 | 5.3    | 22.7    | 60.0   | 12.0 |
| 3. 経済的暴力 | 女性 | 4.0    | 4.2     | 87.0   | 4.8  |
|          | 男性 | 0.3    | 0.6     | 94.2   | 5.0  |
| 4. 社会的暴力 | 女性 | 3.6    | 6.8     | 84.8   | 4.8  |
|          | 男性 | 1.2    | 7.3     | 87.1   | 4.4  |
| 5. 性的暴力  | 女性 | 4.4    | 9.8     | 80.6   | 5.2  |
|          | 男性 | 0.0    | 2.3     | 92.4   | 5.3  |

前回調査と比較すると、DV被害経験のある人の割合（「何度もあった」＋「1、2度あった」）は、男性は「3. 経済的暴力」「5. 性的暴力」の項目で若干増えているが、女性は「4. 社会的暴力」でほぼ同じとなっているものの、他の項目では減っている。

【問9で1～6のうち、ひとつでも「何度もあった」か「1、2度あった」と答えた方におうかがいします】

問10 あなたは、これまでに問9であげたような行為を受けたことについて、だれかに相談されましたか。(あてはまるものすべてに○)



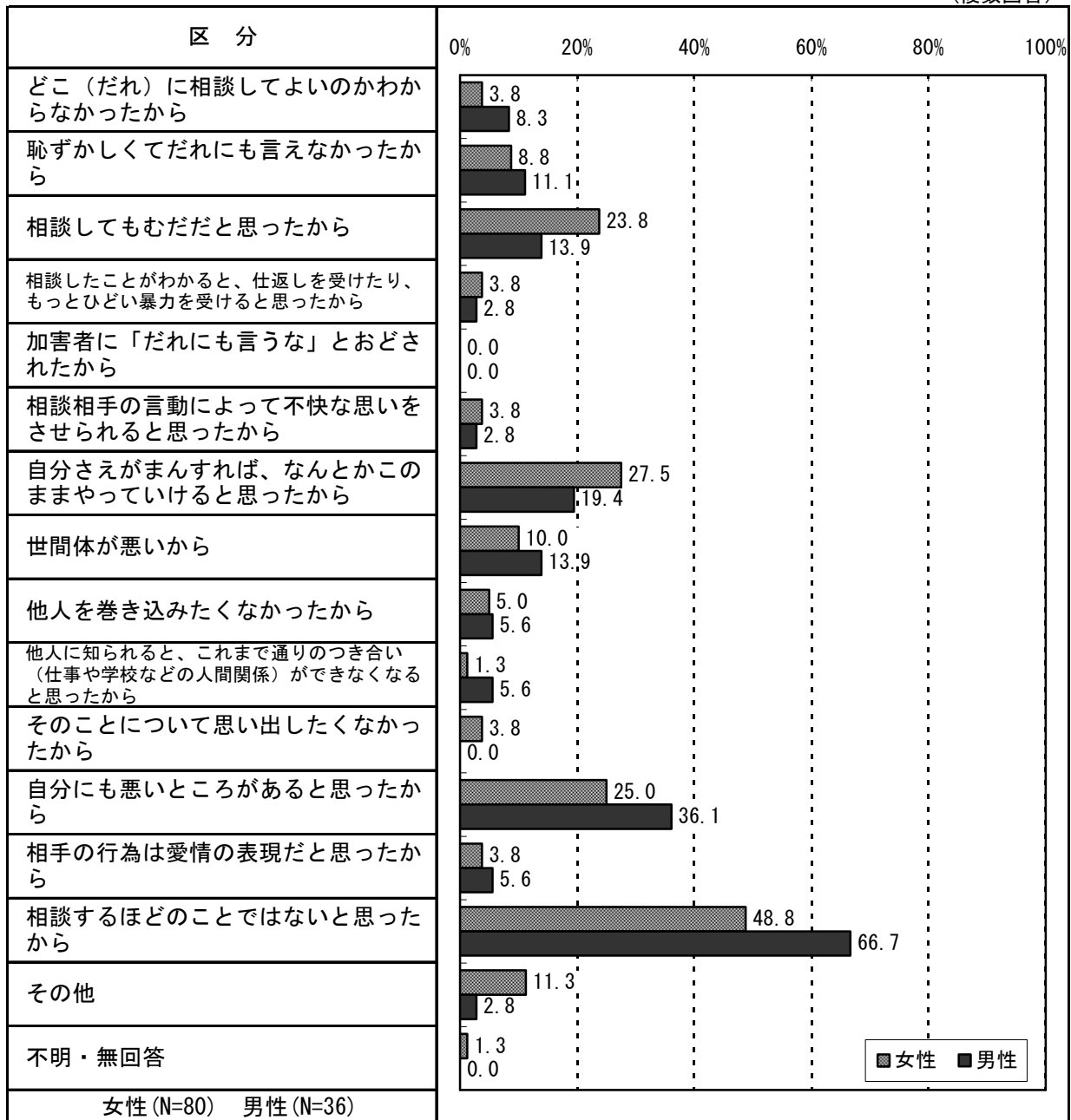
※5 「民間シェルター」とは、民間団体によって運営されていて、暴力を受けた被害者が緊急一時的に避難できる施設です。居住場所や食事等を提供し、様々な相談に応じるなど、被害者に対する援助を行っています。

DVの被害経験があったと答えた人に相談状況をたずねたところ、男女とも「どこ（だれ）にも相談しなかった」が最も高く、女性 49.1%、男性 66.7%で男性の方が相談をしない割合が多い。また、相談先としては男女とも「家族・親戚」と「友人・知人」の割合が多い。一方で、「警察」「人権擁護委員、民生児童委員」「配偶者暴力相談支援センター」「男女共同参画センターなどの市の相談窓口」など公的機関へ相談する割合は少なく、1割以下となっている。

【問10で「どこ（だれ）にも相談しなかった」と答えた方におうかがいします】

問11 どこ（だれ）にも相談しなかったのは、なぜですか。（あてはまるものすべてに○）

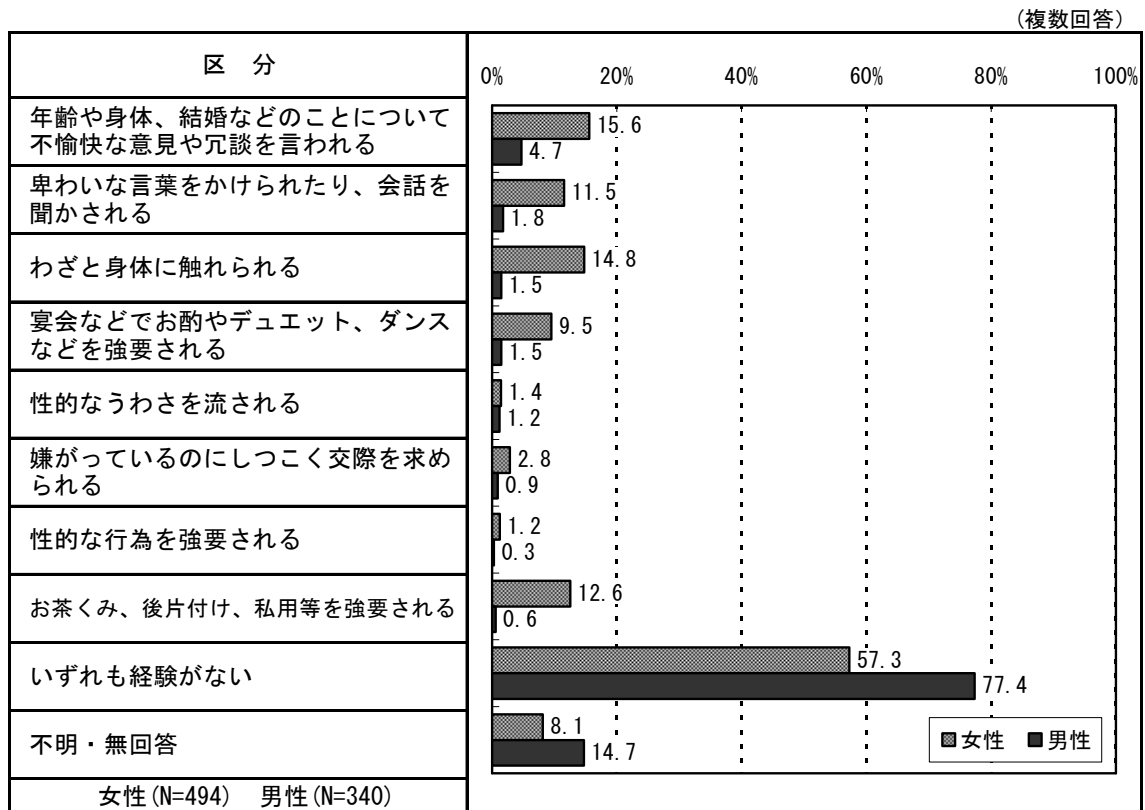
（複数回答）



相談しなかった理由をたずねたところ、男女とも「相談するほどのことではないと思ったから」が最も高く、女性48.8%、男性66.7%となっている。次いで、女性では「自分さえがまんすれば、なんとかこのままやっていけると思ったから」が27.5%、男性では「自分にも悪いところがあると思ったから」が36.1%となっている。

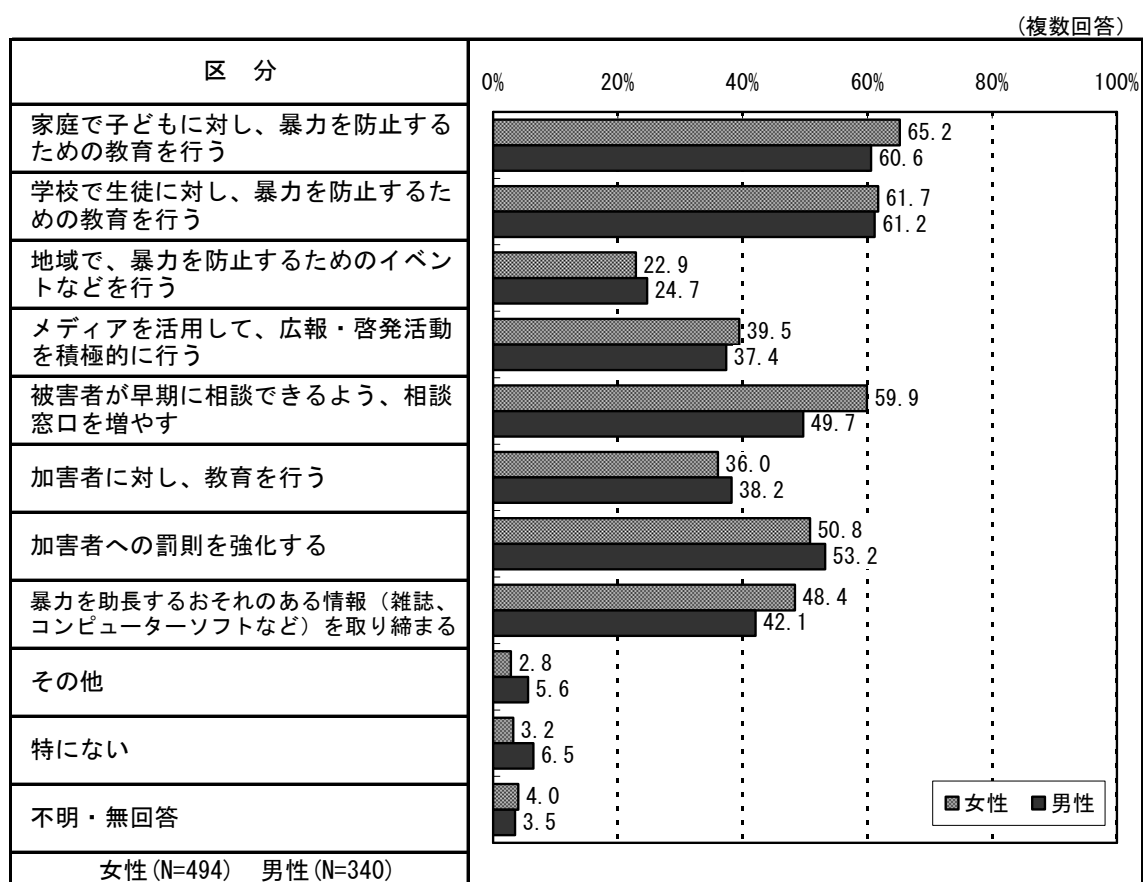
【全員の方におうかがいします】

問 12 あなたは、職場や学校、地域などにおいて次のようなセクシュアル・ハラスメントの行為をされたことがありますか。（あてはまるものすべてに○）



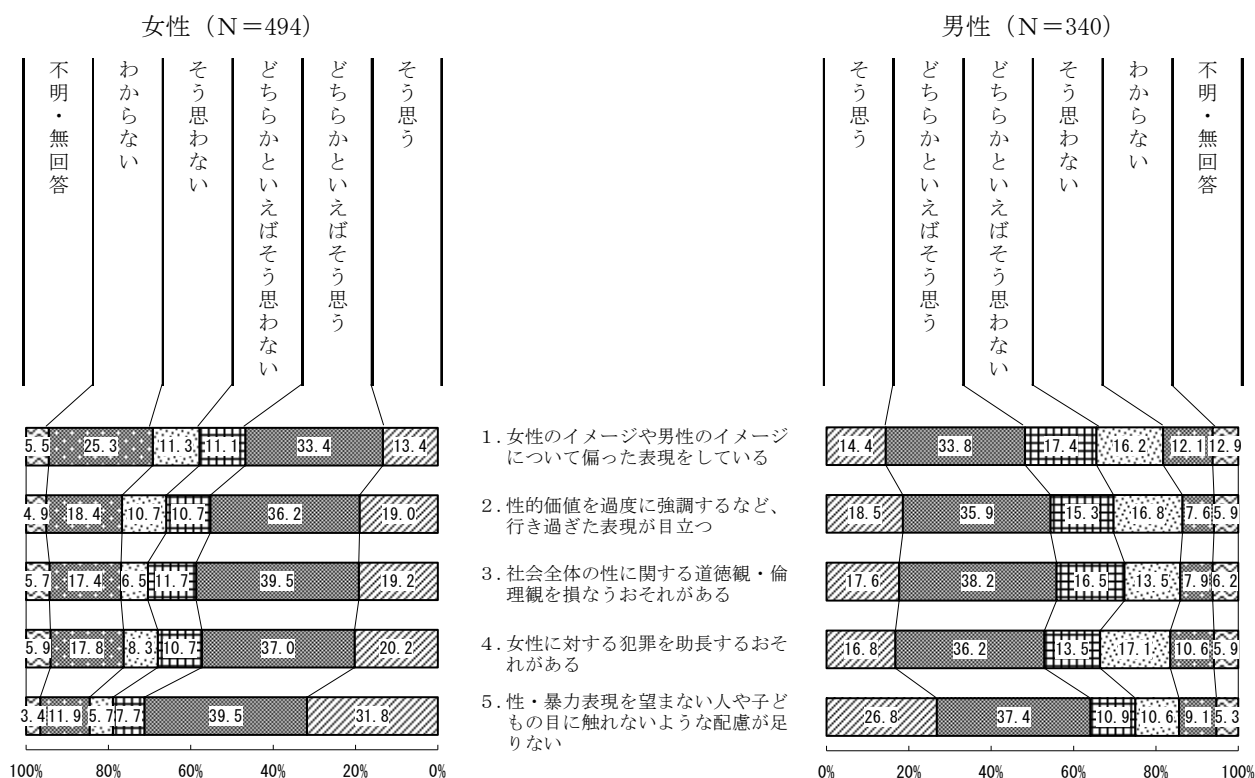
セクシュアル・ハラスメント（以下「セクハラ」という）の被害経験は、男女とも「いずれも経験がない」が最も多く、女性 57.3%、男性 77.4%となっている。セクハラ被害を受けた経験の内容をみると、女性で「年齢や身体、結婚などのことについて不愉快な意見や冗談を言われる」、「わざと身体に触れられる」、「お茶くみ、後片付け、私用等を強要される」、「卑わいな言葉をかけられたり、会話を聞かされる」、で 1 割以上となっている。

問 13 男女間における暴力を防止するためには、どのようなことが必要だと思われますか。  
(あてはまるものすべてに○)



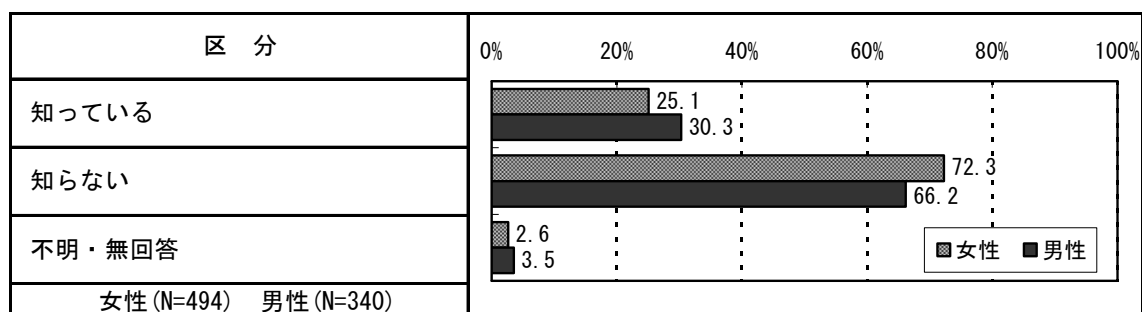
女性では「家庭で子どもに対し、暴力を防止するための教育を行う」が最も高く 65.2%、次に「学校で生徒に対し、暴力を防止するための教育を行う」「被害者が早期に相談できるよう、相談窓口を増やす」「加害者への罰則を強化する」が続いている。男性では「学校で生徒に対し、暴力を防止するための教育を行う」が最も高く 61.2%となっている。

問 14 テレビ・新聞・雑誌・インターネット・コンピュータゲームなどのメディアにおける性・暴力表現について、あなたはどのように思われますか。（それぞれ1つずつに○）



男女ともに「5. 性・暴力表現を望まない人や子どもの目に触れないような配慮が足りない」で“賛成”（「そう思う」＋「どちらかといえばそう思う」）が最も多く、女性で71.3%、男性で64.2%となっている。「1. 女性のイメージや男性のイメージについて偏った表現をしている」を除くすべての項目で、男女ともに“賛成”が50%以上となっている。

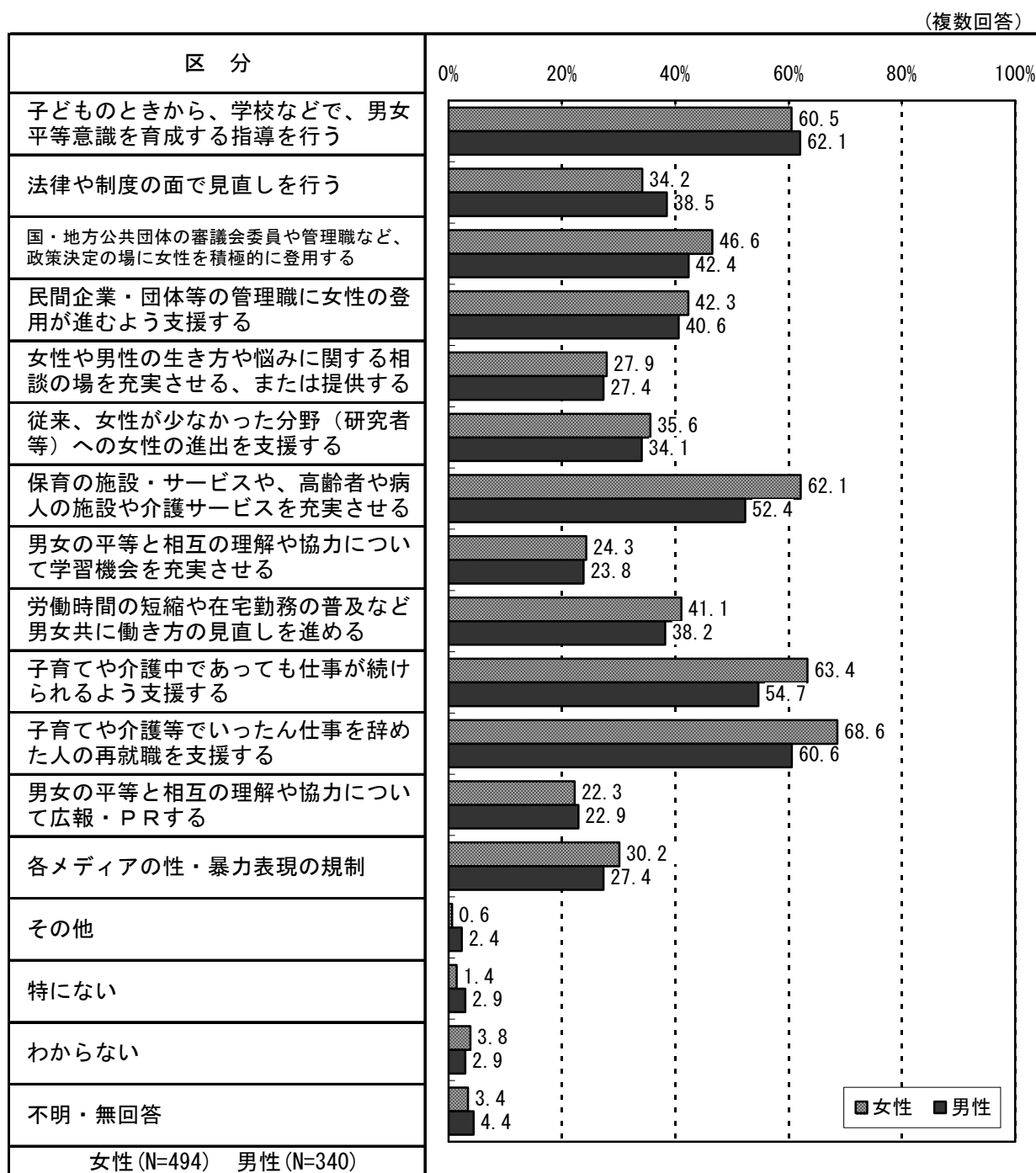
問 15 男女間における暴力の防止や男女共同参画を推進するため、河内長野市では広報・啓発活動、また、男女共同参画センター（キックス）において、様々な講座や相談対応を実施しています。あなたはこのことを知っていますか。（どちらかに○）



男女ともに「知らない」が多く、「知っている」の倍以上となっている。

●男女共同参画社会の実現に必要なことについて

問 16 「男女共同参画社会」を実現するために、今後、行政はどのようなことに力を入れていくべきだと思いますか。（あてはまるものすべてに○）



女性は「子育てや介護等でいったん仕事を辞めた人の再就職を支援する」が68.6%で最も高く、「子育てや介護中であっても仕事が続けられるよう支援する」(63.4%)、「保育の施設・サービスや、高齢者や病人の施設や介護サービスを充実させる」(62.1%)が上位3項目になっている。

男性は「子どものときから、学校などで、男女平等意識を育成する指導を行う」が62.1%で最も高く、次に「子育てや介護等でいったん仕事を辞めた人の再就職を支援する」(60.6%)、「子育てや介護中であっても仕事が続けられるよう支援する」(54.7%)と続いている。

問 17 男女共同参画社会の実現にあたってご意見・ご感想がありましたら、ご自由にお書きください。

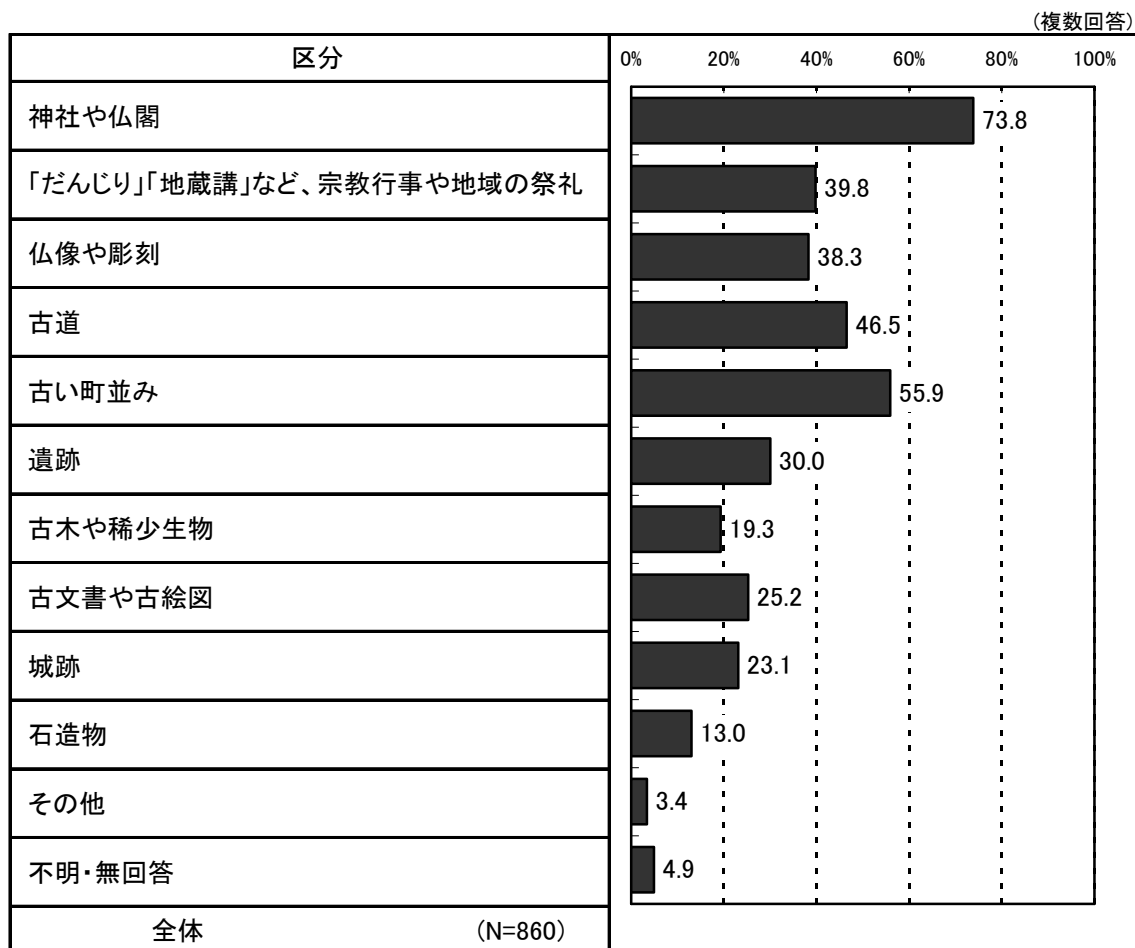
| 意見の分類                                            | 件数 |
|--------------------------------------------------|----|
| 行政に求めること                                         |    |
| 各自の意識付けのための行政からの後押しが必要                           | 2  |
| 行政の介入は不要                                         | 2  |
| 法整備等社会環境(社会基盤)の整備                                | 2  |
| 社会福祉制度の充実                                        | 1  |
| 男女共同参画社会のモデル都市となってほしい                            | 1  |
| 結婚と子育てが進む社会づくりを                                  | 1  |
| 男性側の参画するための法律整備を                                 | 1  |
| 地域活動や国際的な活動を協力して体験できるように                         | 1  |
| 子育てや介護に対する支援だけでなく、生活が出来る安定した収入の確保                | 1  |
| 情報提供                                             | 1  |
| 管理職、審議会などに女性を登用                                  | 1  |
| 法的制度の早期実現                                        | 1  |
| 規制よりも規制緩和を                                       | 1  |
| 教育・意識について                                        |    |
| 幼い時からの教育が重要                                      | 7  |
| 各自の自覚                                            | 3  |
| 世代間交流で世代間の意識の差を解消                                | 2  |
| 国主導で指導すべき                                        | 1  |
| 男女それぞれお互いを理解し合う姿勢が大切                             | 1  |
| 「男女平等、男女共同参画」に対する考え                              |    |
| 男女平等はいいが、性差を忘れてはいけない                             | 6  |
| 女性優先ではなく、個人の能力の評価が必要                             | 4  |
| 男女共同参画社会は悪くないが、逆差別が助長されないか心配                     | 4  |
| 女性だけでなく、男性への配慮も忘れないでほしい                          | 2  |
| 女性の自立も必要                                         | 2  |
| 女性が社会に進出すると、それをひがんで暴力的になる男性が増えないか心配              | 1  |
| 平等より「らしさ」の教育を                                    | 1  |
| 男性用の相談窓口も必要                                      | 1  |
| 男女平等意識の考え方のみなおしが必要                               | 1  |
| 就業、ワーク・ライフ・バランスについて                              |    |
| 再就職と子育て支援の充実                                     | 3  |
| 優秀な女性をどんどん採用すべき                                  | 2  |
| 採用する側の意識改革が必要                                    | 1  |
| 「男性が仕事をし、女性が家事をする」考えを改めるべき                       | 1  |
| 零細企業の労働者や母子家庭では「男女共同参画社会」の実現は難しい                 | 1  |
| 家庭内ではまだ主婦の負担は大きい                                 | 1  |
| 家庭での男性の意識改革                                      | 1  |
| 子育て世代の就労環境の充実                                    | 1  |
| 就職するにあたり、会社の育休や短時間勤務などの制度が浸透しているか不安              | 1  |
| 女性は育児や介護で働くことをあきらめざるを得ないケースがあるので、社会福祉制度を充実させてほしい | 1  |
| 仕事と家庭の両立が出来るようになればよい                             | 1  |
| アンケートについて                                        |    |
| 「男女共同参画」の意味がぼんやりとしていてよく分からない                     | 2  |
| 女性のための相談窓口がある事を知り、大変心強い                          | 1  |
| アンケート自体が、男女が平等でないことが前提で作られているように感じる              | 1  |



## 2. 文化財について

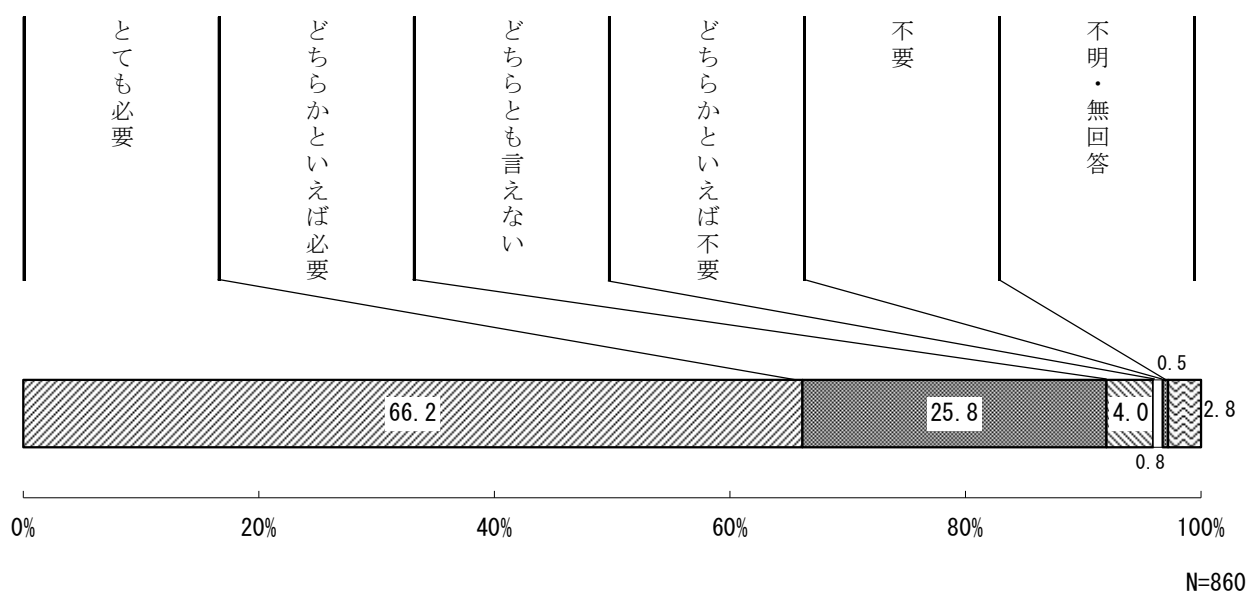
### ●市内にある文化財の保護・活用について

問 18 あなたが思う河内長野らしい文化財とは何ですか。（あてはまるものすべてに○）



「神社や仏閣」が73.8%で最も多く、「古い町並み」（55.9%）、「古道」（46.5%）など、景観を構成する文化財がつづいている。

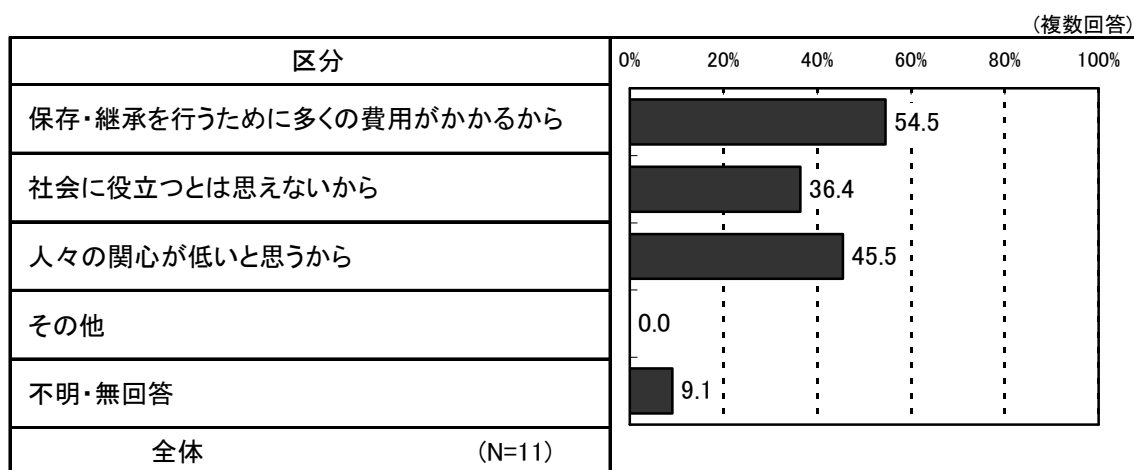
問 19 文化財を適切に保存し、次世代へ伝えることは必要だと思いますか。(1つだけに○)



「とても必要」が 66.2%で最も多く、「どちらかといえば必要」(25.8%) がつづいており、9 割以上の人が文化財の保存・継承は必要と考えている。

【問 19 で「どちらかといえば不要」「不要」と答えた方におうかがいします】

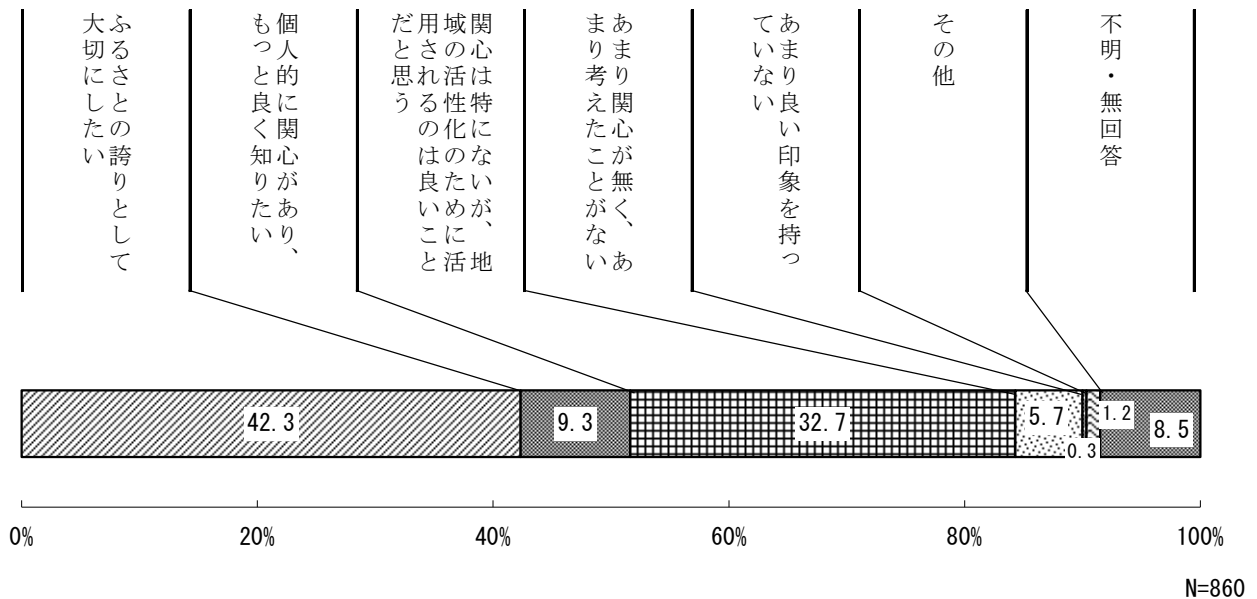
問 20 「どちらかといえば不要」あるいは「不要」と考えるのは、なぜですか。(あてはまるものすべてに○)



文化財の保存・継承を「どちらかといえば不要」あるいは「不要」と考える人に理由をたずねたところ、「保存・継承を行うために多くの費用がかかるから」(54.5%) が最も多く、「人々の関心が低いと思うから」(45.5%)、「社会に役立つとは思えないから」(36.4%) の順になっている。

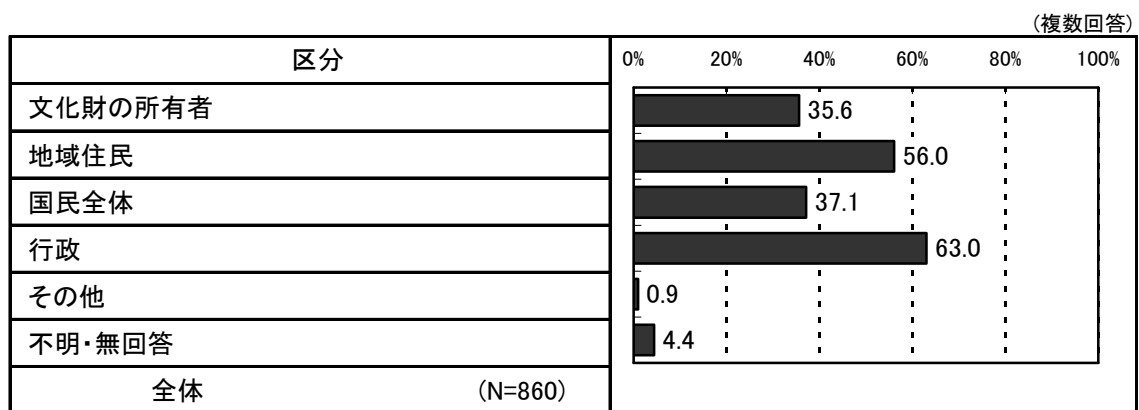
【全員の方におうかがいします】

問 21 文化財について、どのような印象を持っていますか。(1つだけに○)



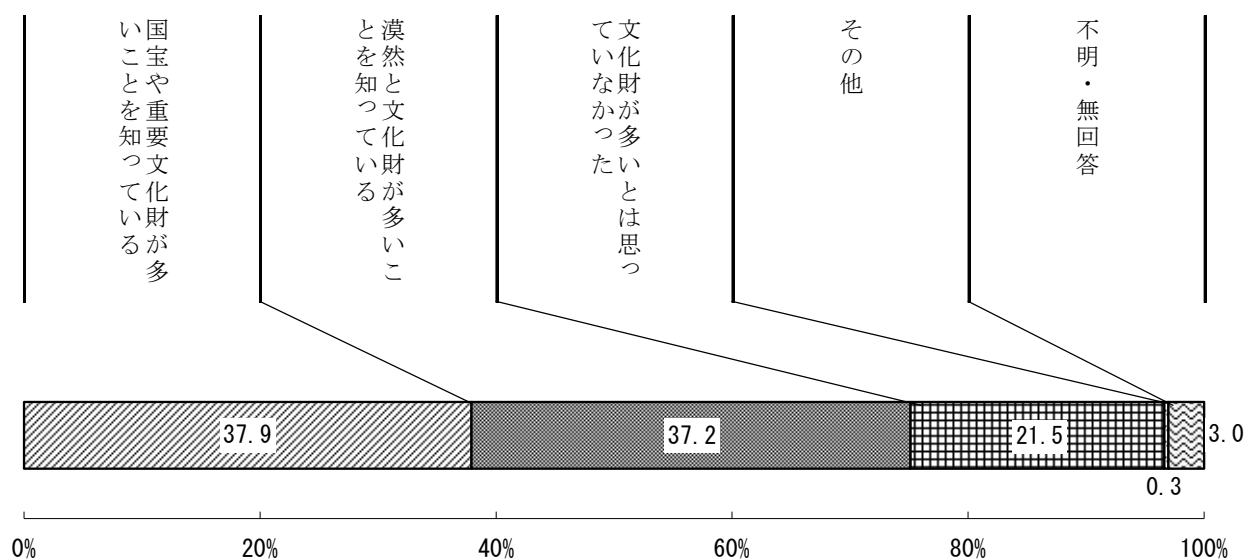
「ふるさとの誇りとして大切にしたい」が 42.3%で最も多く、「関心は特にはないが、地域の活性化のために活用されるのは良いことだと思う」(32.7%)、「個人的に関心があり、もっと良く知りたい」(9.3%) がつづき、8割以上の方が文化財に対して良い印象を持っている。

問 22 文化財を適切に保存し、次世代へ伝えるのは、主に誰だと思われますか。(あてはまるものすべてに○)



「行政」が 63.0%で最も多く、「地域住民」(56.0%)、「国民全体」(37.1%) がつづいている。

問 23 河内長野市内には※6 豊富な文化財があることを知っていますか。（1 つだけに○）



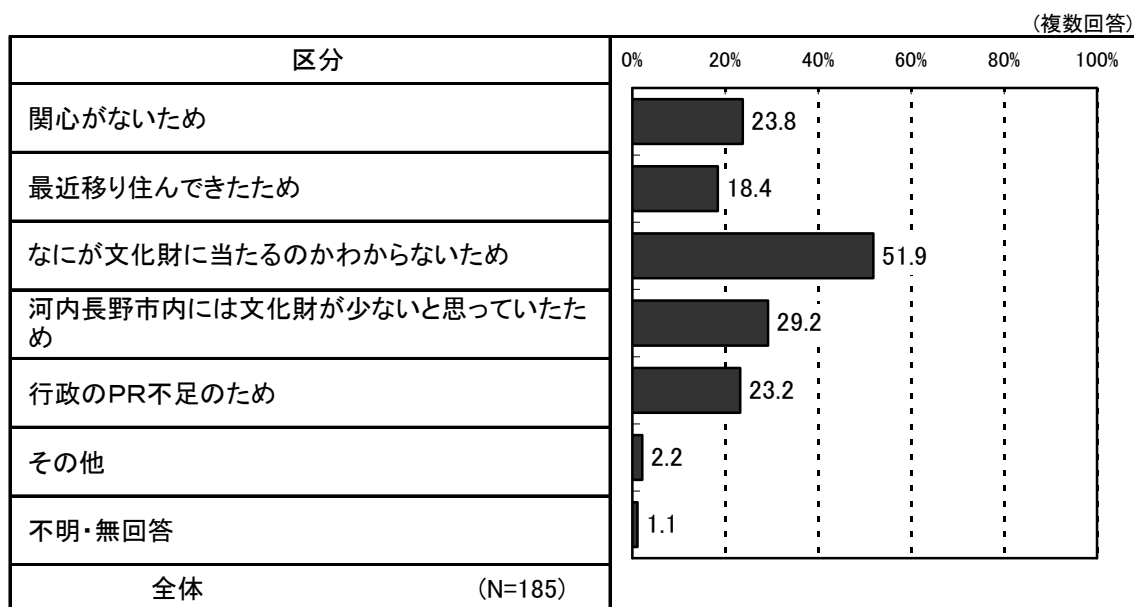
N=860

※6 市内には6件の国宝と、78件の重要文化財があります。

「国宝や重要文化財が多いことを知っている」が 37.9%で最も多く、「漠然と文化財が多いことを知っている」(37.2%) がつづく一方で、「文化財が多いとは思ってなかった」が 21.5%となっている。

【問 23 で「文化財が多いとは思ってなかった」と答えた方におうかがいします】

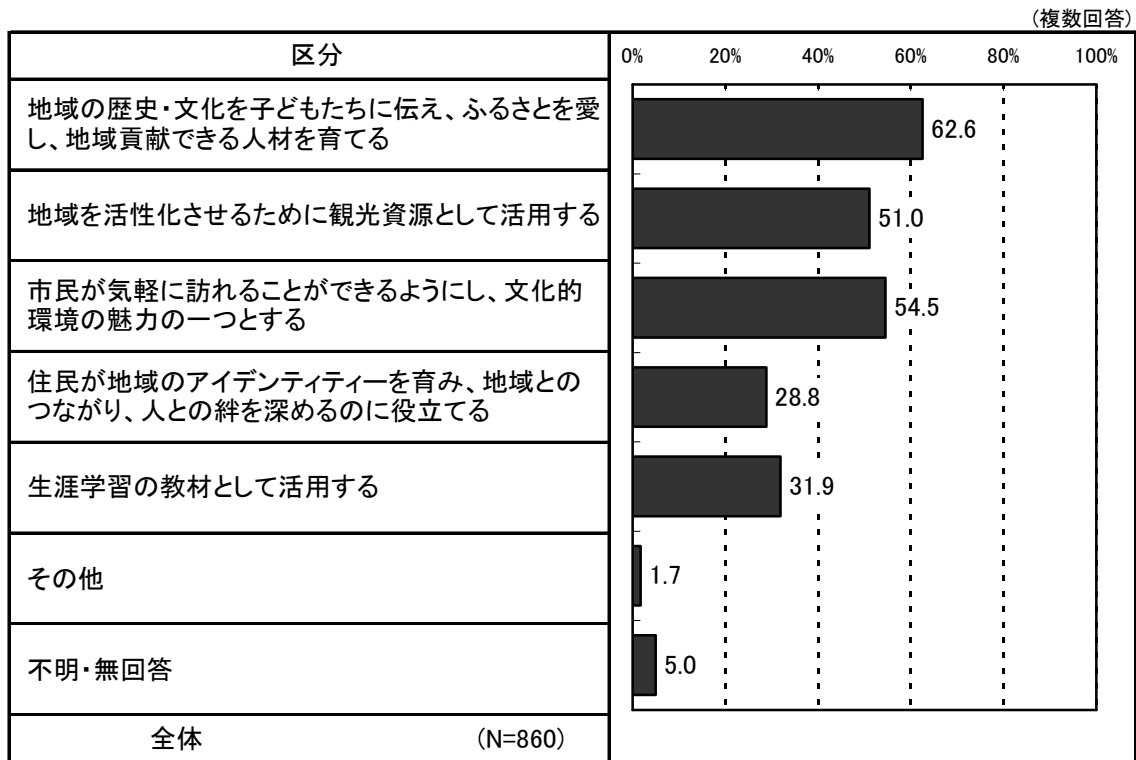
問 24 「文化財が多いとは思ってなかった」のはなぜですか。（あてはまるものすべてに○）



文化財が多いとは思ってなかった人に理由をたずねたところ、「なにが文化財に当たるのかわからないため」(51.9%)、「河内長野市内には文化財が少ないと思っていたため」(29.2%)、「関心がないため」(23.8%) などが多かった。

【全員の方におうかがいします】

問 25 文化財の活用について、期待することは何ですか。（あてはまるものすべてに○）



「地域の歴史・文化を子どもたちに伝え、ふるさとを愛し、地域貢献できる人材を育てる」が62.6%で最も多く、「市民が気軽に訪れることができるようにし、文化的環境の魅力の一つとする」(54.5%)、「地域を活性化させるために観光資源として活用する」(51.0%)がつづき、人材育成や文化的環境、観光面などへの活用が期待されている。

●身近にある文化財・伝統行事について

問 26 河内長野市内には、行政がまだ把握しきれていない文化財が多く伝わっています。そこで、身近な場所（小・中学校区、町内）にある文化財、伝統的に続いている行事があればご記入いただき、情報の提供をお願いします。

| 文化財の分類    | 件数 |
|-----------|----|
| 祭礼        | 26 |
| 石仏、地蔵、仏像等 | 6  |
| 神社仏閣      | 3  |
| 樹木        | 2  |
| 井戸        | 1  |
| 湯釜        | 1  |
| その他       | 2  |

【問 26 にご記入いただいた方におうかがいします】

問 27 問 26 にご記入いただいた文化財、伝統的に続いている行事について、その保存と活用をめぐる課題がありましたら、お書きください。

| 文化財、伝統的に続いている行事についての課題 | 件数 |
|------------------------|----|
| 祭礼等の継承にかかるもの           | 6  |
| 文化財の保存や管理にかかるもの        | 5  |
| 文化財の公開や活用にかかるもの        | 3  |

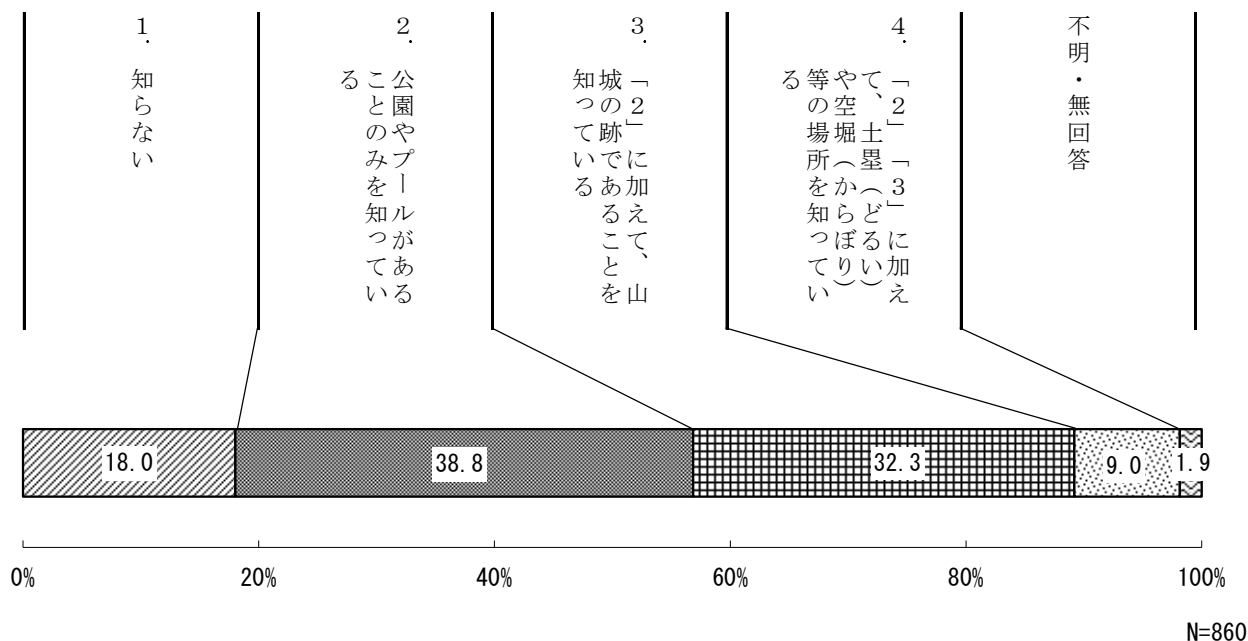
【問 27 にご記入いただいた方におうかがいします】

問 28 問 27 で回答した課題について解決に向けた取り組みを行っている場合は、内容をお知らせください。

| 課題について解決に向けた取り組み     | 件数 |
|----------------------|----|
| 文化財保存のための経費の工面に関するもの | 3  |
| 継承の方法に関するもの          | 1  |

●烏帽子形公園（国指定史跡 烏帽子形城跡）の整備について

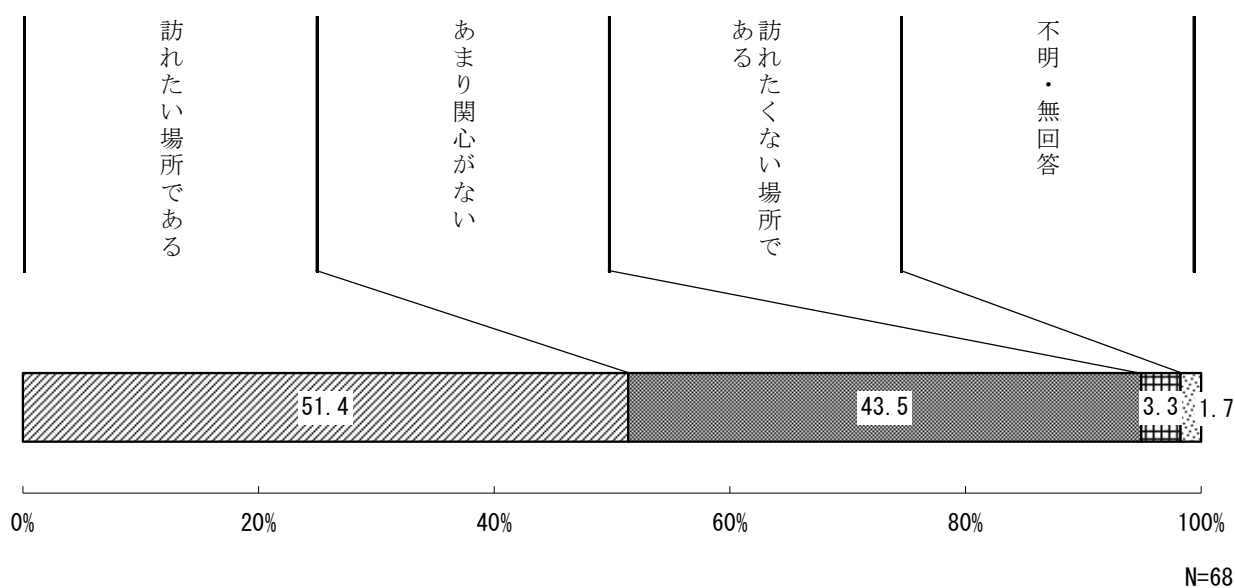
問 29 烏帽子形公園を知っていますか。（1つだけに○）



「公園やプールがあることのみを知っている」が38.8%で最も多く、「知らない」(18.0%)とあわせると、山城の跡であることを知らない人が半数以上になっている。

【問 29 で「2. 公園やプールがあることのみを知っている」「3. 「2」に加えて、山城の跡であることを知っている」「4. 「2」「3」に加えて、土塁（どるい）や空堀（からほり）等の場所を知っている」と答えた方におうかがいします】

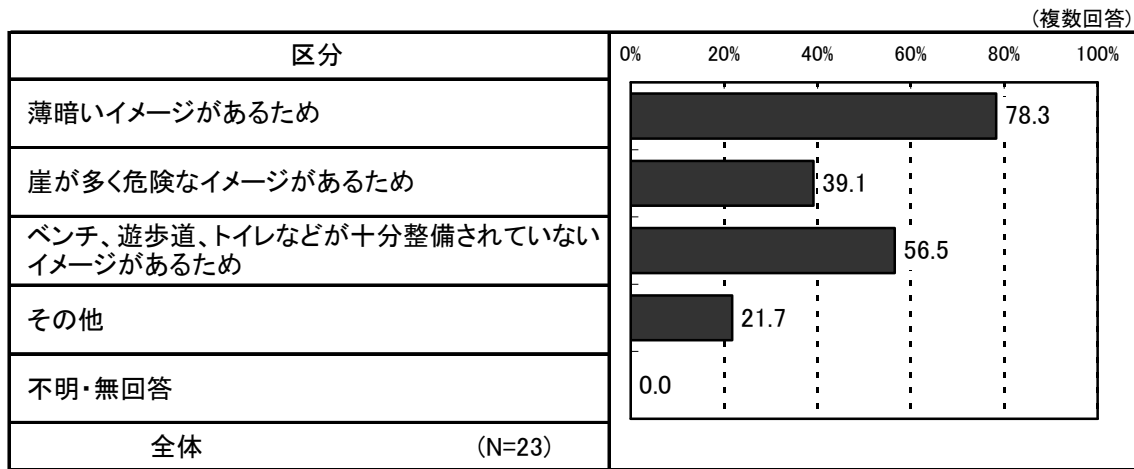
問 30 烏帽子形公園にどのような印象を持っていますか。（1つだけに○）



烏帽子形公園を知っている人が持つ印象は、「訪れたい場所である」が51.4%で最も多いものの、「あまり関心がない」(43.5%)、「訪れたくない場所である」(3.3%)をあわせると46.8%になっている。

【問 30 で「訪れたくない場所である」と答えた方におうかがいします。】

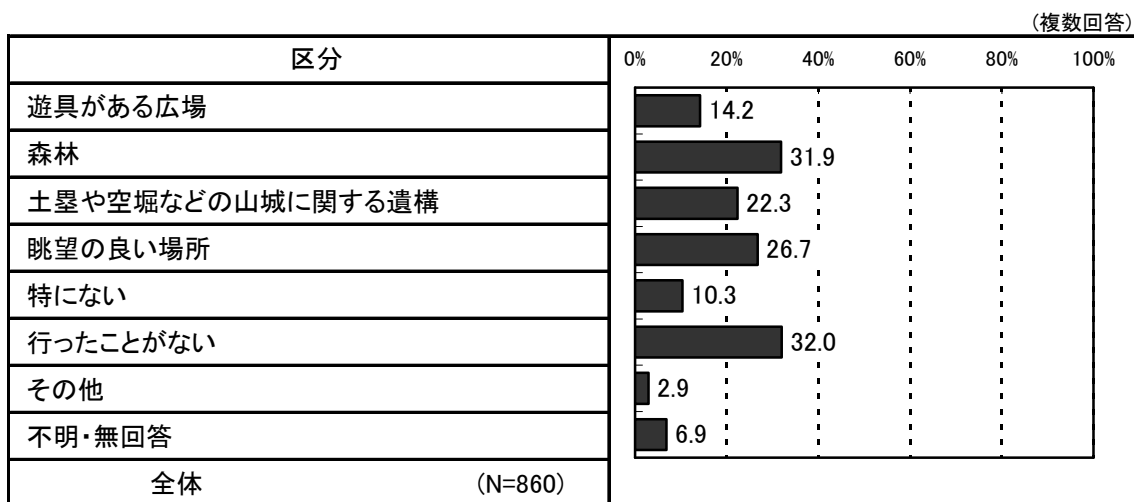
問 31 烏帽子形公園を訪れたくないのは、なぜですか。（あてはまるものすべてに○）



訪れたくない場所であると答えた人に理由をたずねたところ、「薄暗いイメージがあるため」(78.3%)が最も多く、「ベンチ、遊歩道、トイレなどが十分整備されていないイメージがあるため」(56.5%)、「崖が多く危険なイメージがあるため」(39.1%)がみつづいている。

【全員の方におうかがいします】

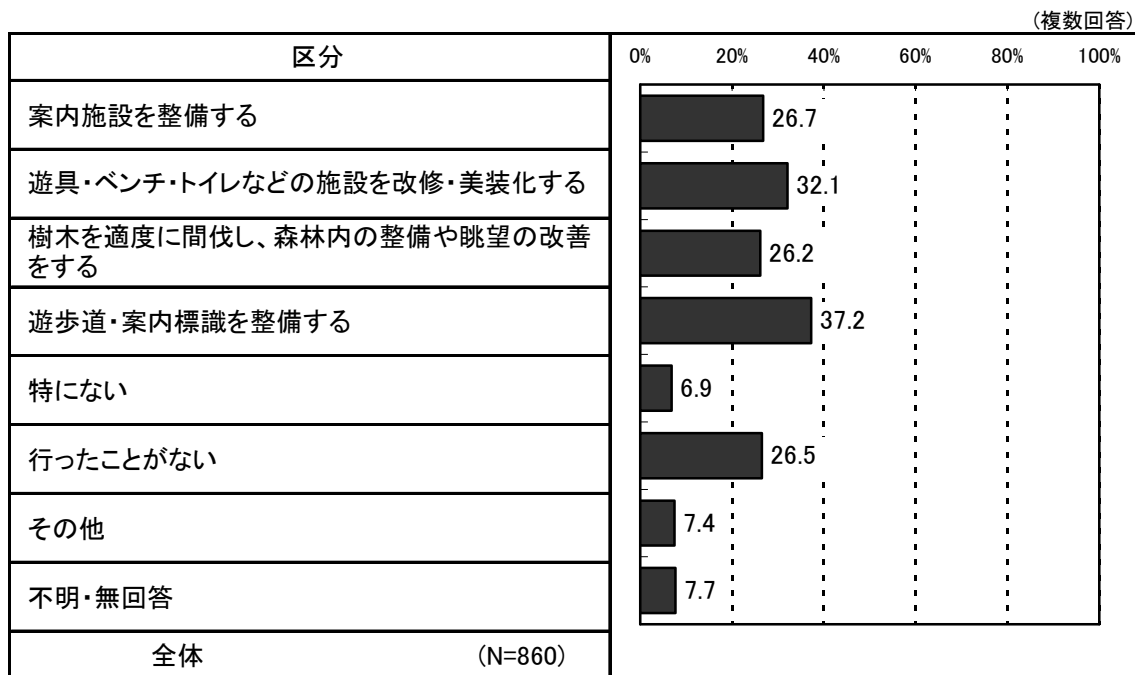
問 32 烏帽子形公園で気に入っている場所、大事にしたい場所はありますか。（あてはまるものすべてに○）



「行ったことがない」が 32.0%で最も多く、「森林」(31.9%)、「眺望の良い場所」(26.7%)がみつづいている。



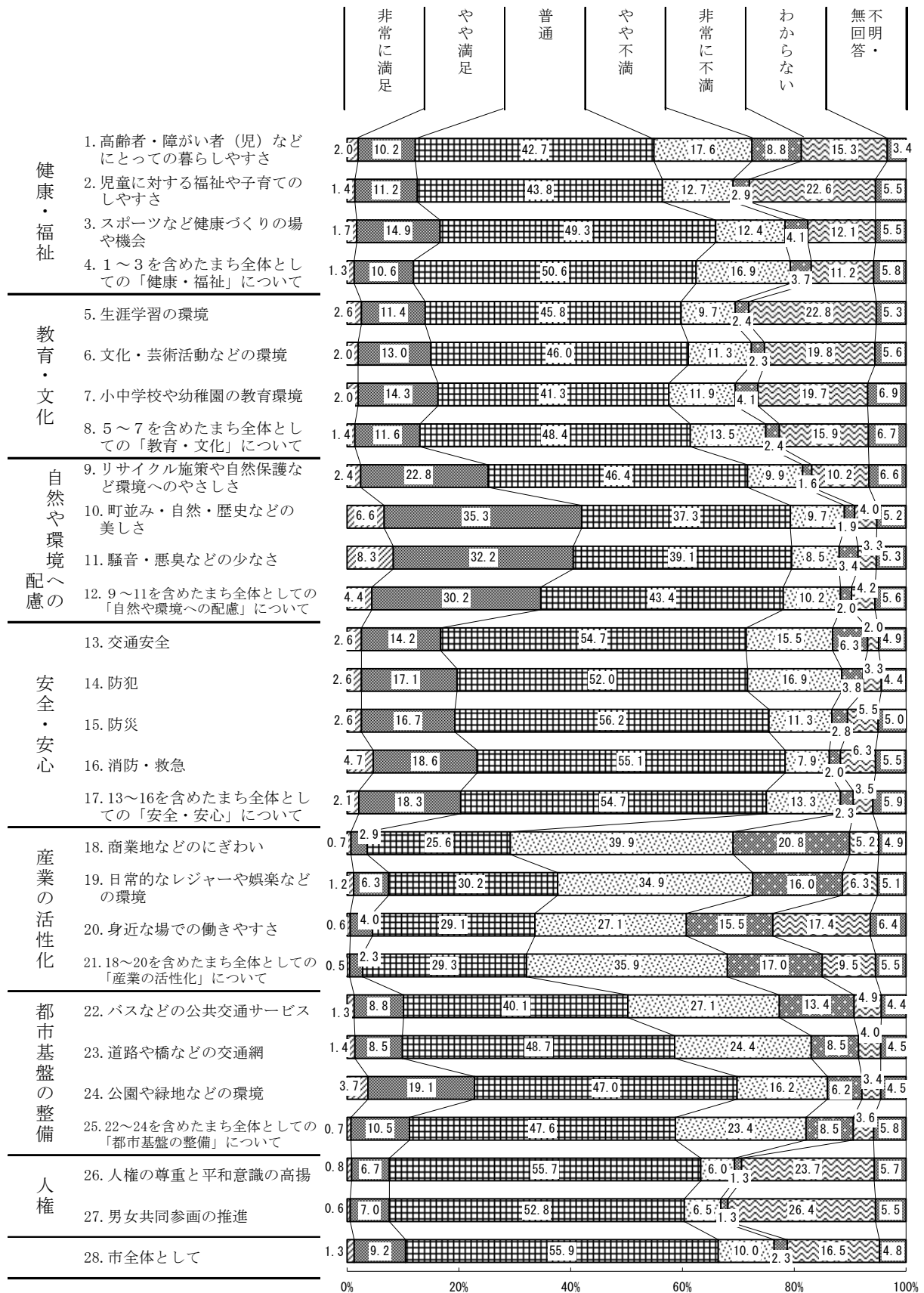
問 33 烏帽子形公園のどのような点を整備すれば訪れやすくなると思われますか。(あてはまるものすべてに○)



「遊歩道・案内標識を整備する」が 37.2%で最も多く、「遊具・ベンチ・トイレなどの施設を改修・美装化する」(32.1%)、「案内施設を整備する」(26.7%) がつづいている。

### 3. 市政全般に関連した内容について

問 34 あなたは、現在の河内長野市の生活環境についてどの程度満足されていますか。次の各項目についてあなたのお考えに近い番号に○をつけてください。（それぞれ1つずつに○）



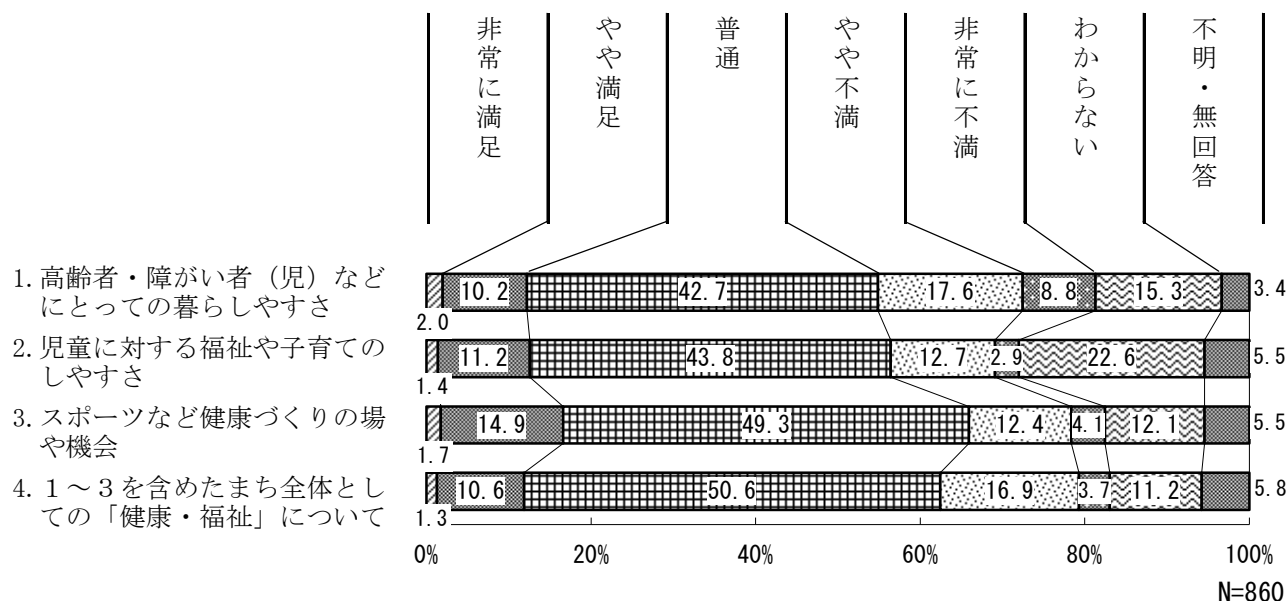
N=860

“満足”（「非常に満足」＋「やや満足」）の割合は、「10. 町並み・自然・歴史などの美しさ」（41.9%）、  
「11. 騒音・悪臭などの少なさ」（40.5%）で40%以上、[12. まち全体としての「自然や環境への配慮」について]で34.6%となっており、他の項目に比べて多くなっている。他の項目では、「9. リサイクル施策や自然保護など環境へのやさしさ」（25.2%）、「16. 消防・救急」（23.3%）、「24. 公園や緑地などの環境」（22.8%）、[17. まち全体としての「安全・安心」について]（20.4%）、「14. 防犯」（19.7%）、「15. 防災」（19.3%）、「13. 交通安全」（16.8%）、「3. スポーツなど健康づくりの場や機会」（16.6%）、「7. 小中学校や幼稚園の教育環境」（16.3%）がつづいており、自然や町の景観を含めた生活環境や身の回りの安全については、満足度がやや高い。

“不満”（「やや不満」＋「非常に不満」）の割合は、「18. 商業地などのにぎわい」（60.7%）、[21. まち全体としての「産業の活性化」について]（52.9%）、「19. 日常的なレジャーや娯楽などの環境」（50.9%）が過半数となっている。他の項目では、「20. 身近な場での働きやすさ」（42.6%）、「22. バスなどの公共交通サービス」（40.5%）、「23. 道路や橋などの交通網」（32.9%）、[25. まち全体としての「都市基盤の整備」について]（31.9%）、「1. 高齢者・障がい者（児）などにとっての暮らしやすさ」（26.4%）、「24. 公園や緑地などの環境」（22.4%）、「13. 交通安全」（21.8%）、「14. 防犯」（20.7%）、[4. まち全体としての「健康・福祉」について]（20.6%）、「3. スポーツなど健康づくりの場や機会」（16.5%）がつづいている。

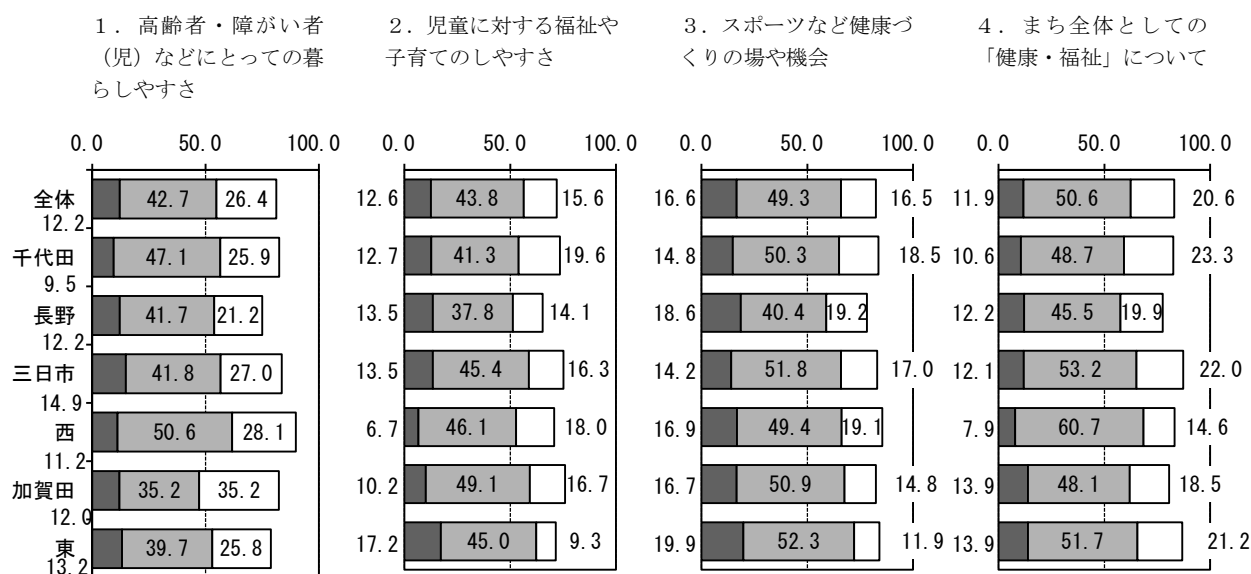
特に、産業の活性化に対しての不満度が高く、[21. まち全体としての「産業の活性化」について]は“満足”（2.8%）に対して“不満”（52.9%）と答えた人が50.1ポイント多くなっている。

## ■健康・福祉



[4. まち全体としての「健康・福祉」について]は、「普通」が50.6%と最も多く、“不満”（「やや不満」＋「非常に不満」）（20.6%）と“満足”（「非常に満足」＋「やや満足」）（11.9%）がつづいている。

### 【地域別】



#### 凡例

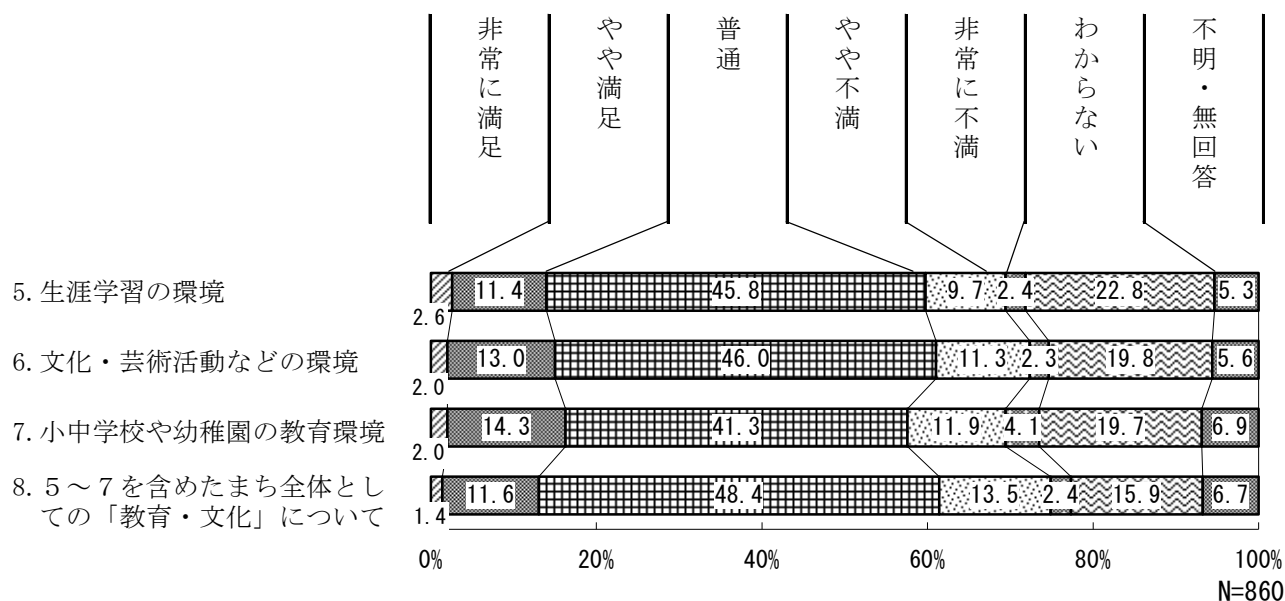
■ 満足（「非常に満足」＋「満足」） ■ 普通 □ 不満（「やや不満」＋「非常に不満」）

全体 N=860

千代田地域 N=189 長野地域 N=156 三田市地域 N=141 西地域 N=89 加賀田地域 N=108 東地域 N=151

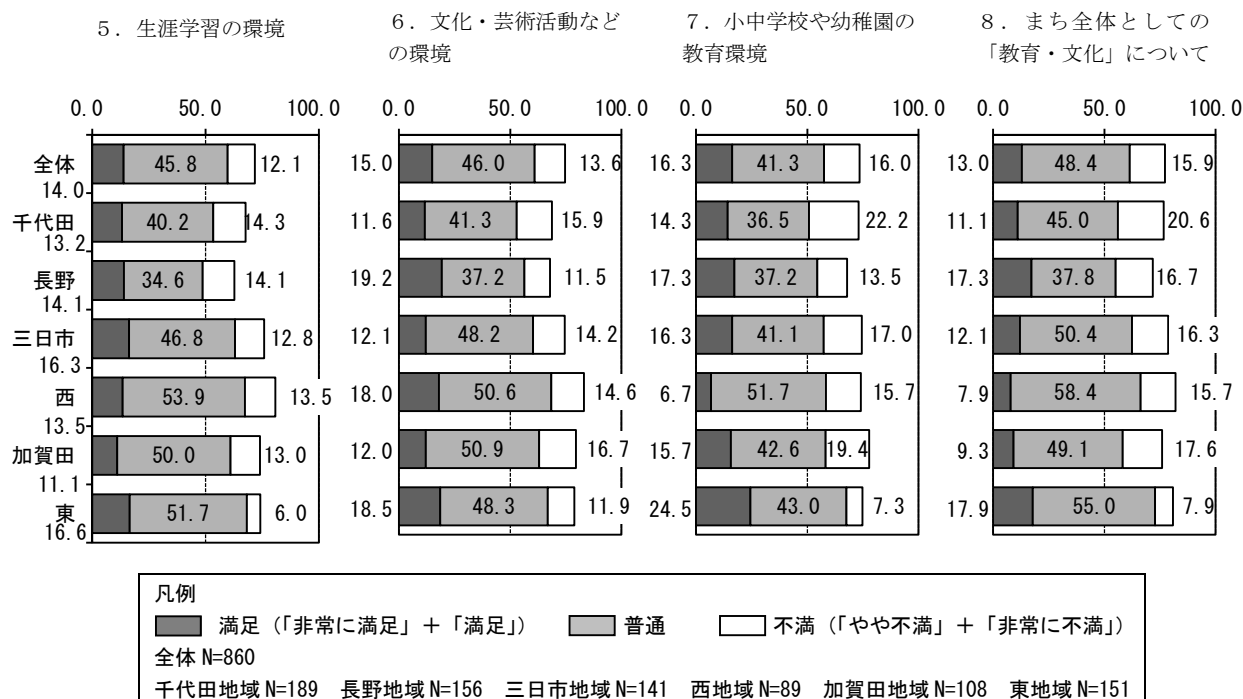
地域別にみると、「1. 高齢者・障がい者（児）などにとっての暮らしやすさ」について、加賀田地域で“不満”が35.2%となっており、他の地域に比べて多くなっている。「2. 児童に対する福祉や子育てのしやすさ」について、東地域で“満足”が17.2%となっており、他の地域に比べて多くなっている。

## ■教育・文化



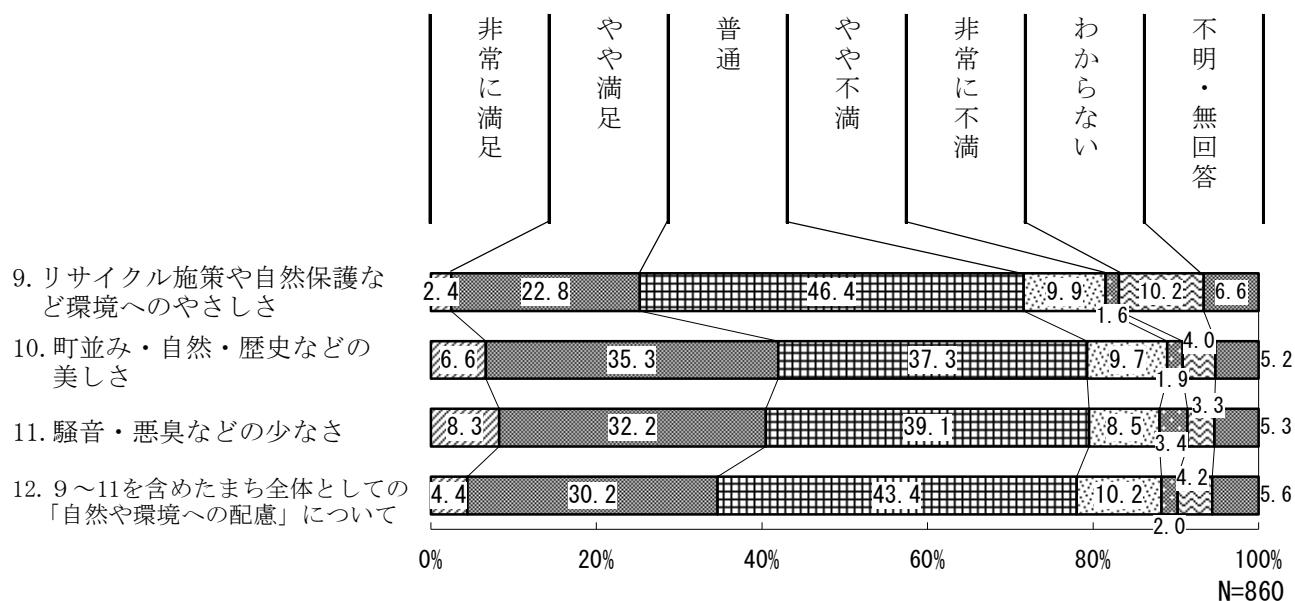
〔8. まち全体としての「教育・文化」について〕は、「普通」が48.4%と最も多く、「わからない」(15.9%)と“不満”(15.9%)がつづいている。“満足”は13.0%となっている。

## 【地域別】



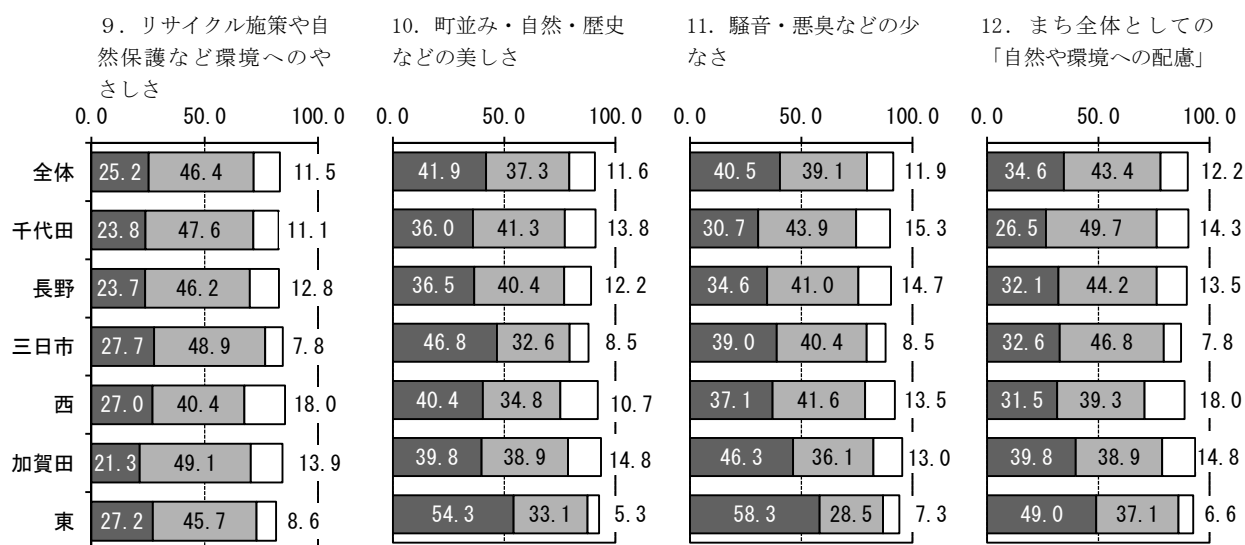
地域別にみると、「7. 小中学校や幼稚園の教育環境」について、東地域では“満足”が24.5%となっており、唯一20%台と多くなっている。一方、“不満”は千代田地域が22.2%、東地域が7.3%となっており、地域により差がみられる。

## ■自然や環境への配慮



「12. まち全体としての「自然や環境への配慮」について」は、「普通」が43.4%と最も多く、「満足」(34.6%)と「不満」(12.2%)がつづいている。

### 【地域別】



#### 凡例

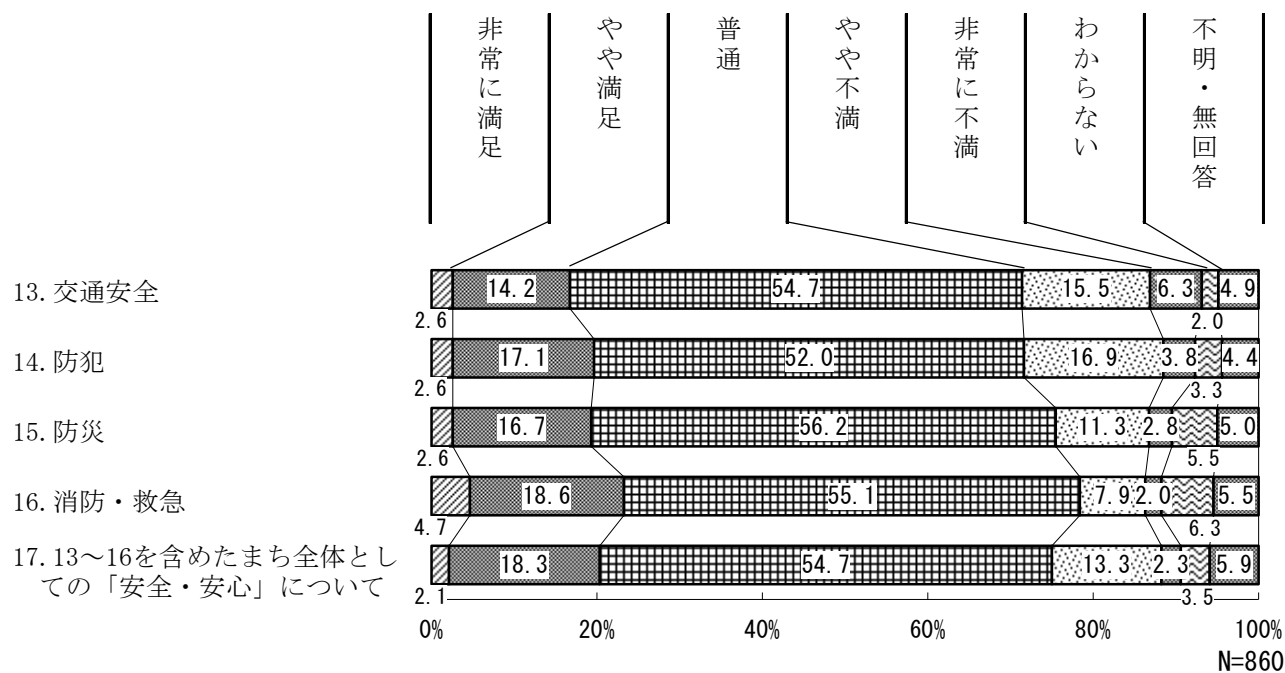
満足 (「非常に満足」 + 「満足」) 普通 不満 (「やや不満」 + 「非常に不満」)

全体 N=860

千代田地域 N=189 長野地域 N=156 三日市地域 N=141 西地域 N=89 加賀田地域 N=108 東地域 N=151

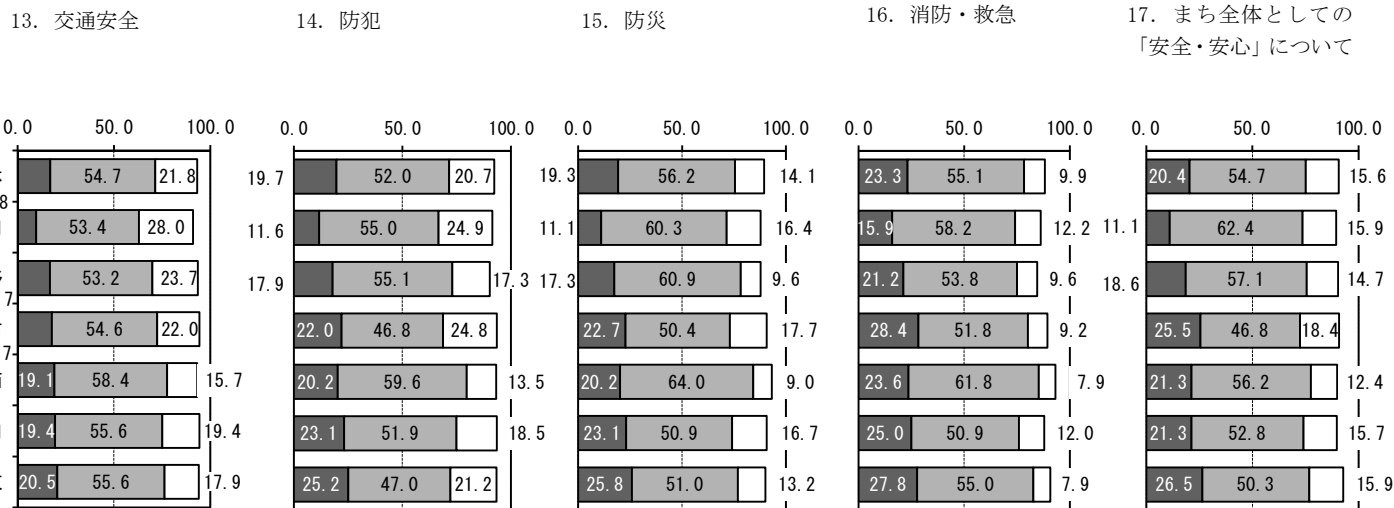
地域別にみると、「9. リサイクル施策や自然保護など環境へのやさしさ」以外で“満足”は東地域が一番多くなっている。特に「11. 騒音・悪臭などの少なさ」については、東地区 (58.3%) と千代田地区 (30.7%) では、27.6 ポイントの差がみられる。

## ■安全・安心



[17. まち全体としての「安全・安心」について]は、「普通」が 54.7%と最も多く、「満足」（20.4%）と「不満」（15.6%）がつづいている。

## 【地域別】



### 凡例

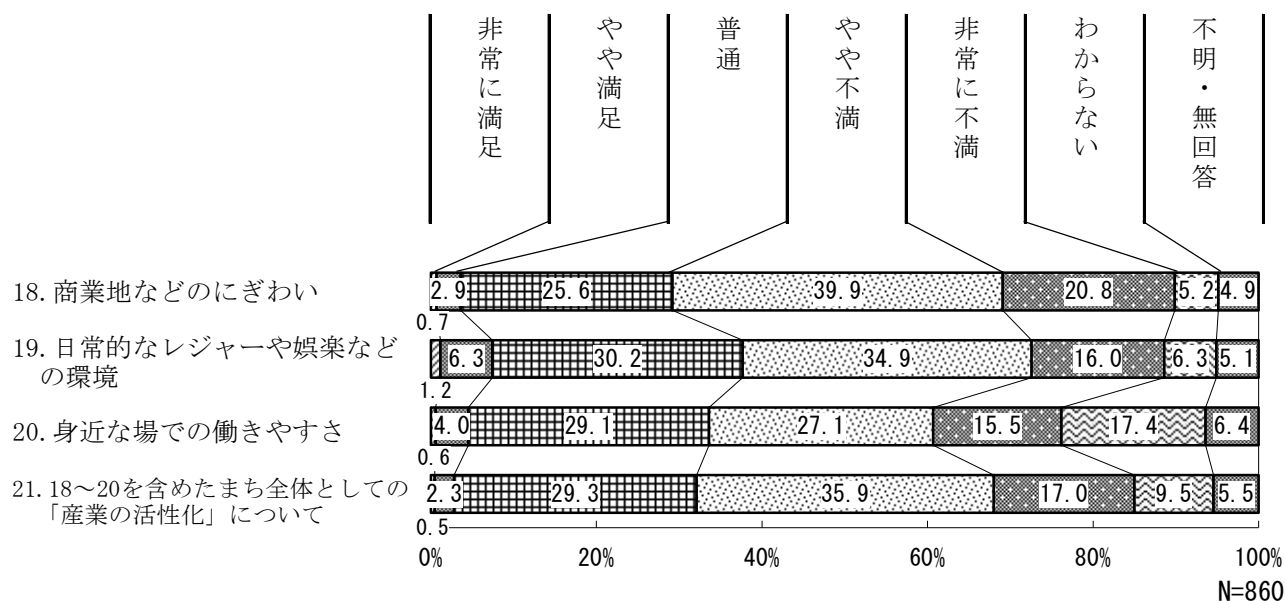
満足（「非常に満足」＋「満足」） 普通 不満（「やや不満」＋「非常に不満」）

全体 N=860

千代田地域 N=189 長野地域 N=156 三日月地域 N=141 西地域 N=89 加賀田地域 N=108 東地域 N=151

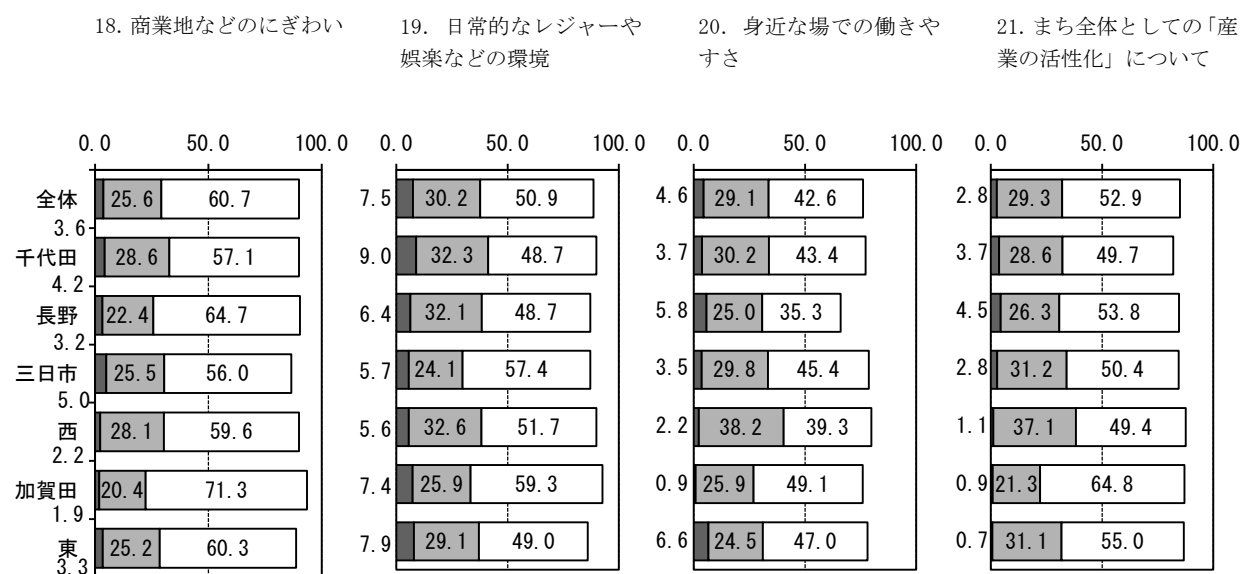
地域別にみると、すべての項目で“満足”が一番多い地域と少ない地域の差が 10 ポイント以上あいている。「13. 交通安全」、「14. 防犯」については“不満”の一番多い地域と少ない地域の差も 10 ポイント以上開いている。

## ■産業の活性化



[21. まち全体としての「産業の活性化」について]は、“不満”が52.9%と最も多く、「普通」(29.3%)と「わからない」(9.5%)がつづいている。“満足”は2.8%となっている。

## 【地域別】



### 凡例

■ 満足 (「非常に満足」 + 「満足」)    ■ 普通    □ 不満 (「やや不満」 + 「非常に不満」)

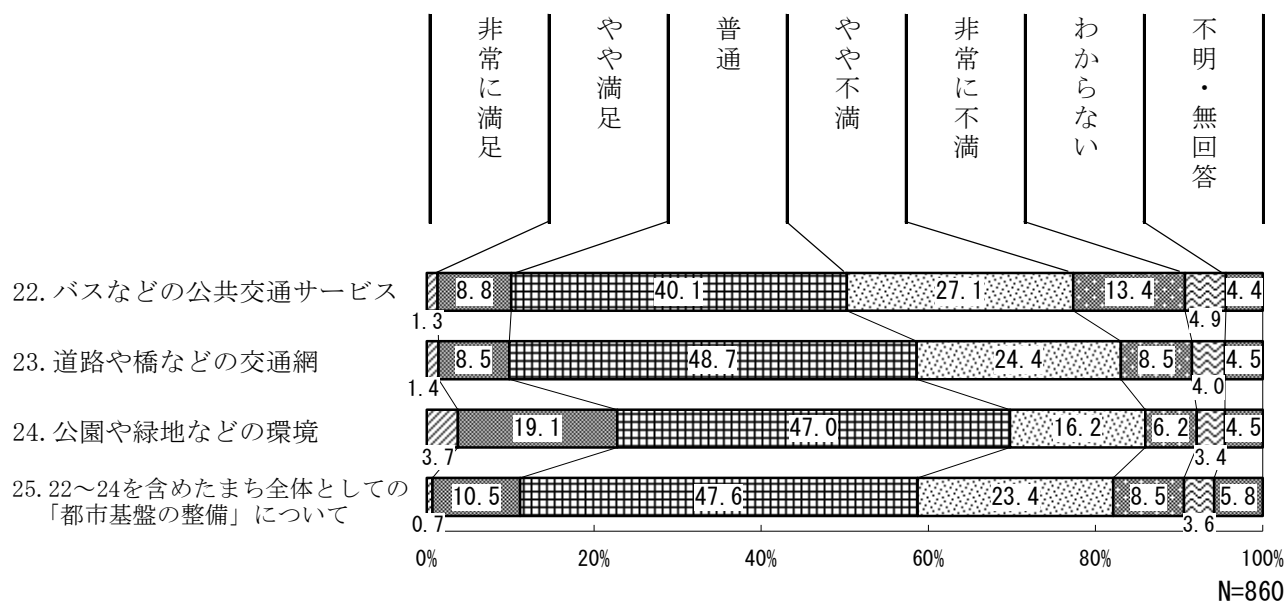
全体 N=860

千代田地域 N=189   長野地域 N=156   三日市地域 N=141   西地域 N=89   加賀田地域 N=108   東地域 N=151

地域別にみると、「18. 商業地などのにぎわい」について、すべての地域で“不満”が過半数となっており、特に加賀田地域は70%を超えている。「19. 日常的なレジャーや娯楽などの環境」についても、“不満”が三日市地域と西地域、加賀田地域で過半数となっている。[21. まち全体としての「産業の活性化」について]も千代田地域と西地域以外は“不満”が過半数となっており、加賀田地域と東地域では“満足”が1.0%以下となっている。

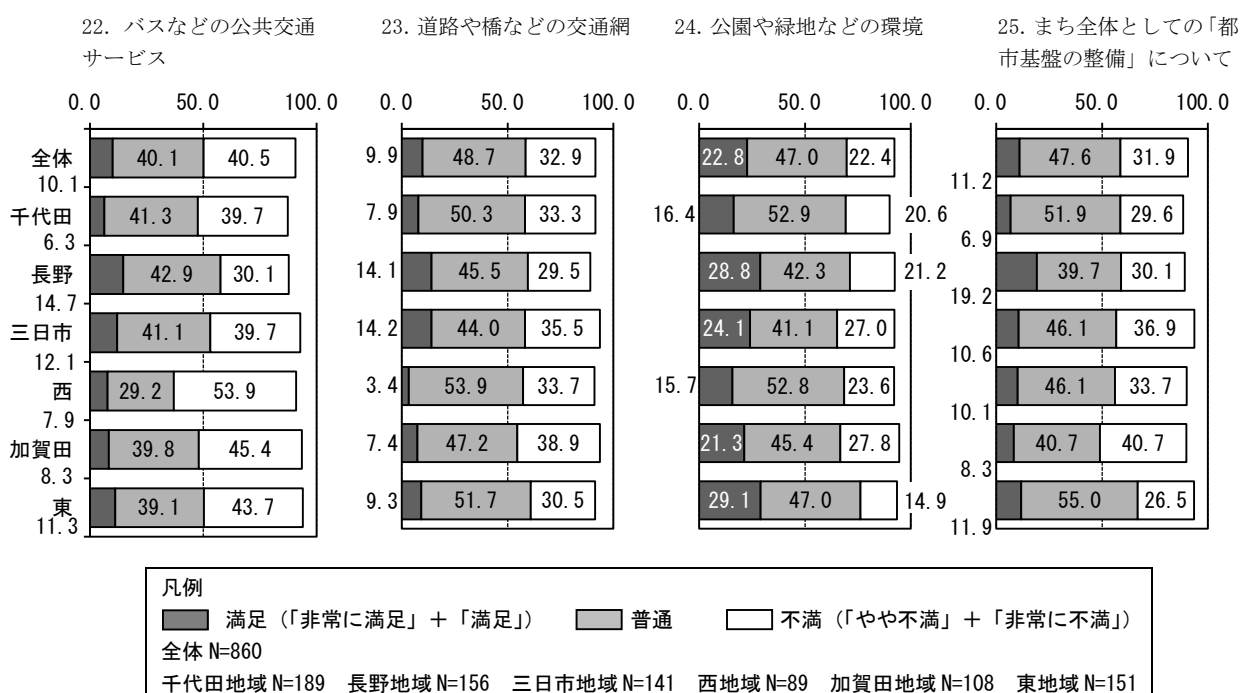


## ■都市基盤の整備



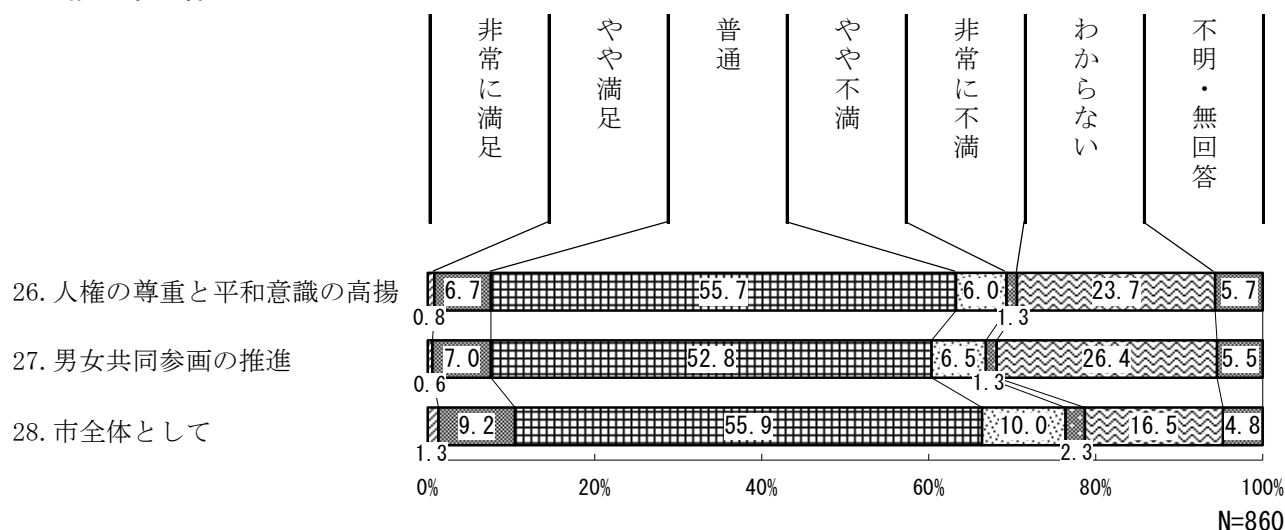
[25. まち全体としての「都市基盤の整備」について]は、「普通」が 47.6%と最も多く、「不満」(31.9%)と「満足」(11.2%)がつづいている。

## 【地域別】



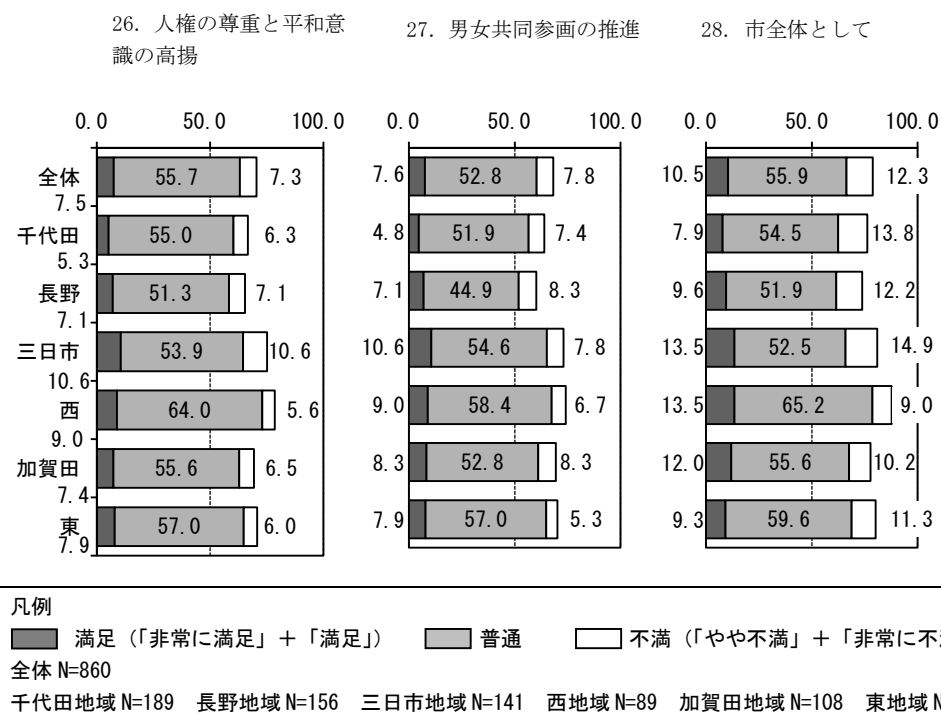
地域別にみると、「22. バスなどの公共交通サービス」について、西地域で“不満”が過半数となっている。「23. 道路や橋などの交通網」については、“満足”が西地域で 3.4%と少ない。

## ■人権・市全体



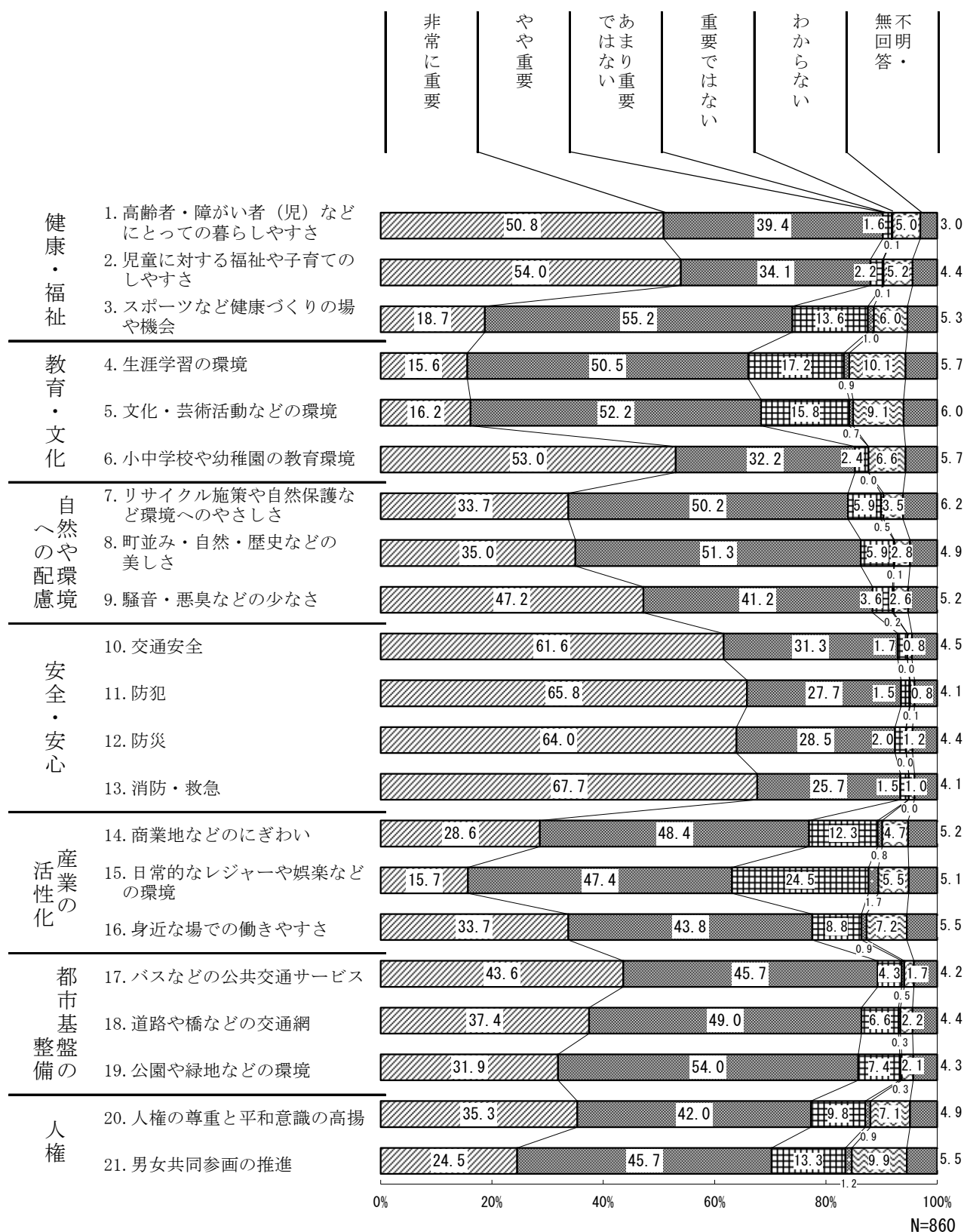
[28. 市全体として]は、「普通」が55.9%と最も多く、「わからない」(16.5%)がつづいている。  
 “満足”は10.5%、“不満”は12.3%となっている。

## 【地域別】



地域別にみると、「26. 人権の尊重と平和意識の高揚」と「27. 男女共同参画の推進」について、三日市地域のみ“満足”が10%を超えている。また、「28. 市全体として」では西地域と加賀田地域以外の地域で“満足”より“不満”が多くなっている。

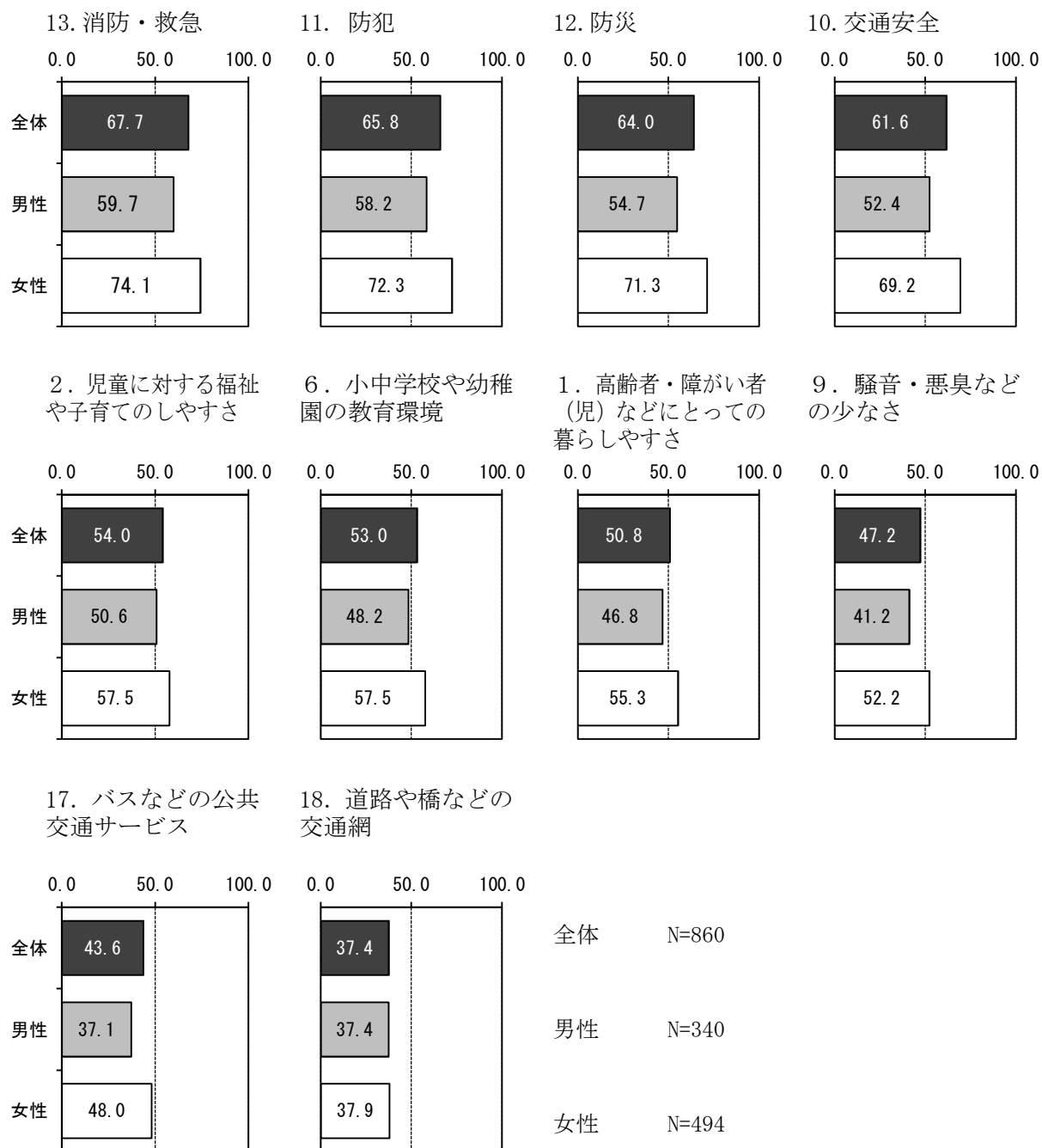
問 35 あなたは、次のそれぞれについて、どの程度重要だと思いますか。各項目についてあなたのお考えに近い番号に○をつけてください。（それぞれ1つずつに○）



「非常に重要」の割合をみると、「13. 消防・救急」(67.7%)が一番多く、[安全・安心]の4項目がすべて60%以上で、他の項目に比べて多くなっており、“重要”(「非常に重要」+「やや重要」)の割合もすべて90%を超え、高くなっている。

その他の項目で“重要”が80%以上となっている項目は、「1. 高齢者・障がい者(児)などにとっての暮らしやすさ」(90.2%)、「17. バスなどの公共交通サービス」(89.3%)、「9. 騒音・悪臭などの少なさ」(88.4%)、「2. 児童に対する福祉や子育てのしやすさ」(88.1%)、「18. 道路や橋などの交通網」(86.4%)、「8. 町並み・自然・歴史などの美しさ」(86.3%)、「19. 公園や緑地などの環境」(85.9%)、「6. 小中学校や幼稚園の教育環境」(85.2%)、「7. リサイクル施策や自然保護など環境へのやさしさ」(83.9%)で、[健康・福祉][自然や環境への配慮][都市基盤の整備]の項目において“重要”の割合が高い。

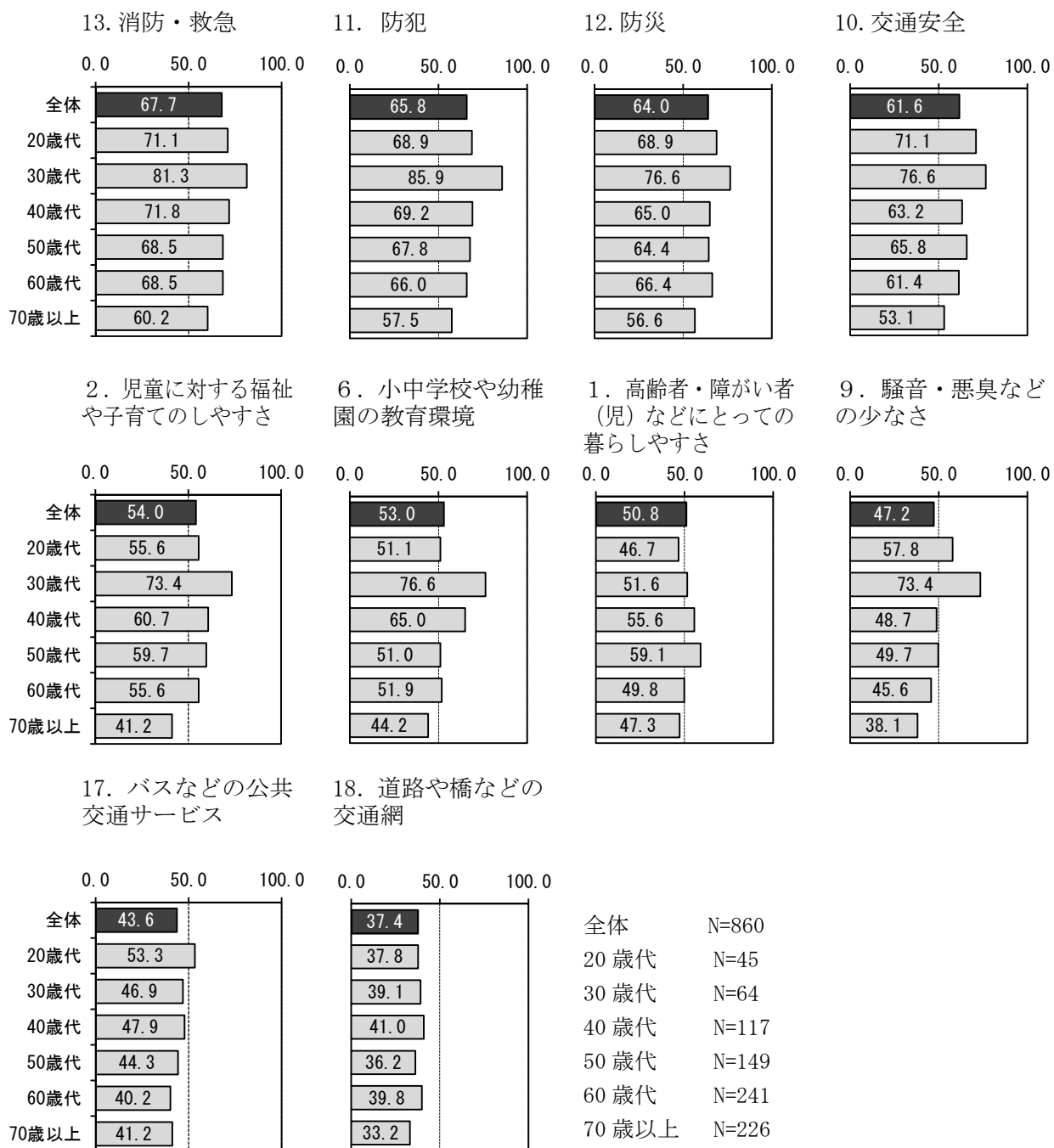
## 【性別】



市の施策の重要度について、5段階評価のうち「非常に重要」のみを抽出し、上位10項目を性別で集計した。

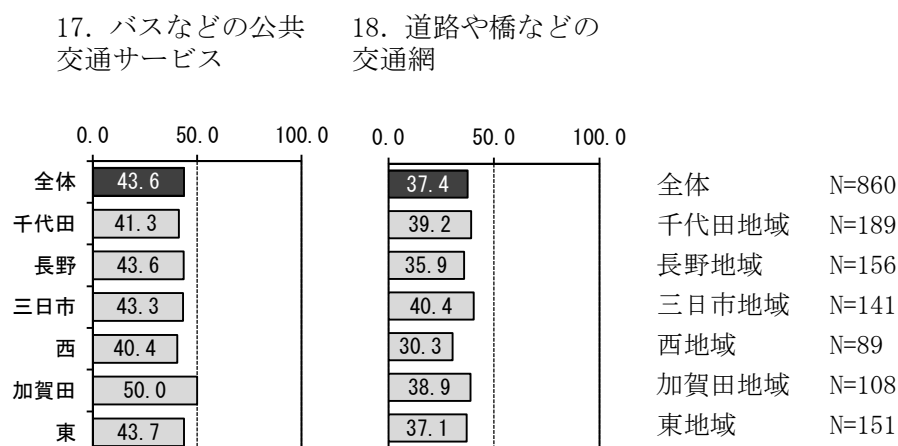
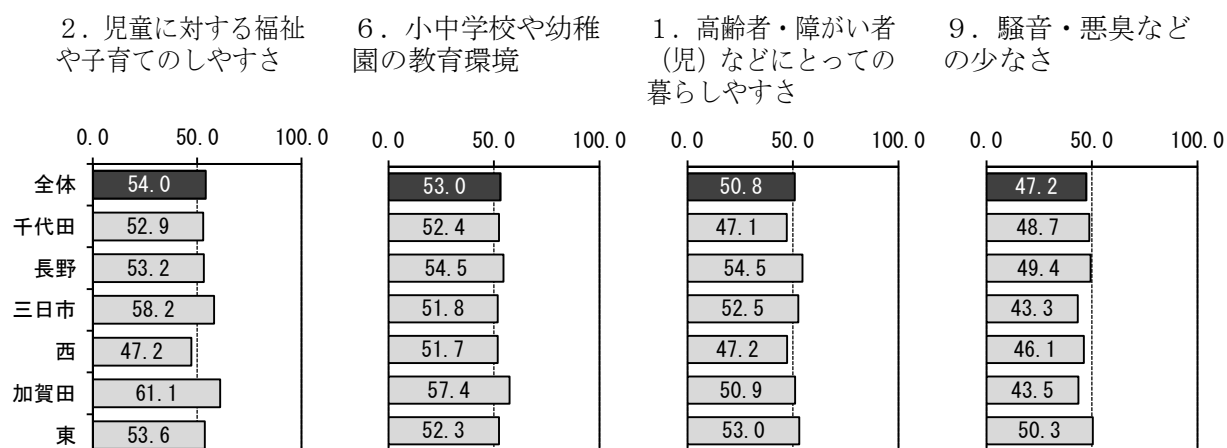
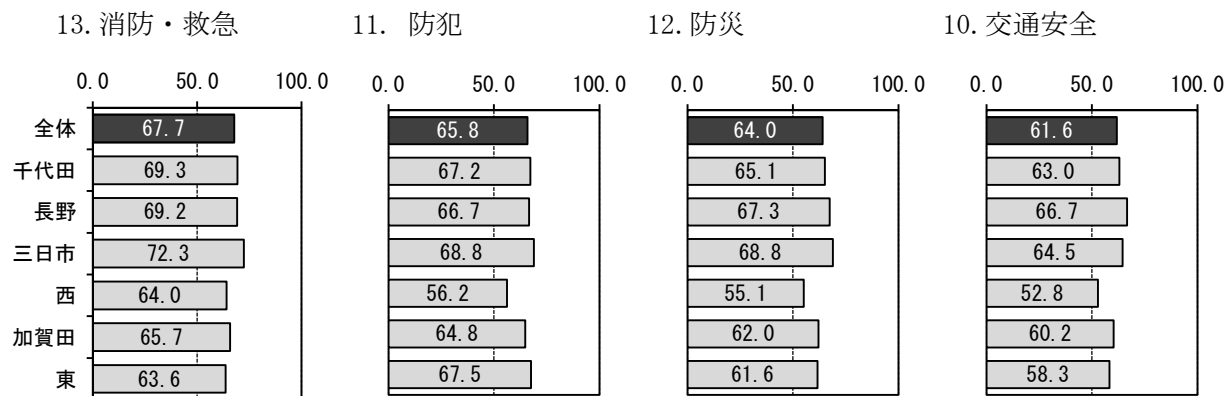
上位10項目ではすべての項目で、男性よりも女性のほうが「非常に重要」が多くなっており、「10. 交通安全」では16.8ポイント差、「12. 防災」では16.6ポイント差、「13. 消防・救急」では14.4ポイント差となっており、男女で意識の差がみられる。

## 【年代別】



「非常に重要」の上位10項目を年代別にみると、上位6項目と「9. 騒音・悪臭などの少なさ」で30歳代がそれぞれ1番多くなっており、すべて70%以上となっている。特に「11. 防犯」では85.9%となっており、他の年代に比べて15ポイント以上多くなっている。また、これらの項目は30歳代をピークに年齢が高くなるにつれて少なくなる傾向にある。

## 【地域別】

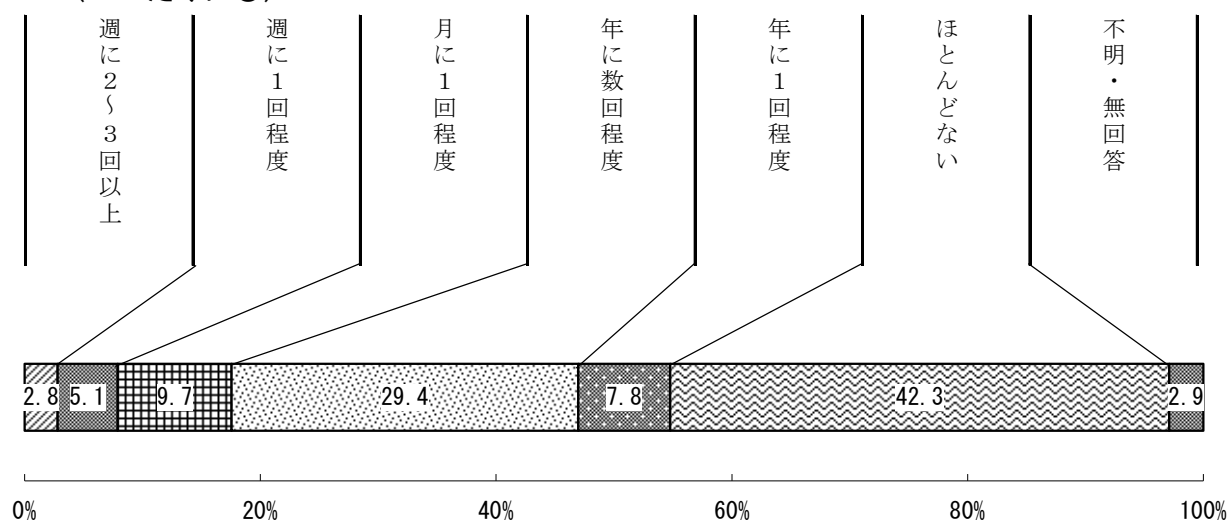


全体 N=860  
 千代田地域 N=189  
 長野地域 N=156  
 三日市地域 N=141  
 西地域 N=89  
 加賀田地域 N=108  
 東地域 N=151

「非常に重要」の上位10項目を地域別にみると、「2. 児童に対する福祉や子育てのしやすさ」について、加賀田地域のみ60%以上となっており、他の地域に比べて多くなっている。「18. 道路や橋などの交通網」では三日市地域で40.4%であるのに対して西地域が30.3%となっており、地域によって意識の差がみられる。

問 36 あなたはこの１年で、市内の※<sup>7</sup>地域やまちづくりの活動にどの程度参加されましたか。

(１つだけに○)



N=860

※<sup>7</sup>「地域やまちづくりの活動」とは、自治会・町内会、PTA、教育、青少年、環境、美化、福祉など、有償・無償を問わず、幅広く社会貢献活動のことをさしています。

地域やまちづくりの活動への参加状況については、「ほとんどない」が42.3%で最も多く、「年に数回程度」(29.4%)と「月に1回程度」(9.7%)がつづいている。

#### 【性別】

|    | 合計  | 週に2〜3回以上 | 週に1回程度 | 月に1回程度 | 年に数回程度 | 年に1回程度 | ほとんどない | 不明・無回答 |
|----|-----|----------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|
| 全体 | 860 | 2.8      | 5.1    | 9.7    | 29.4   | 7.8    | 42.3   | 2.9    |
| 男性 | 340 | 3.5      | 6.8    | 9.1    | 25.9   | 6.8    | 45.3   | 2.6    |
| 女性 | 494 | 2.0      | 3.8    | 10.3   | 32.0   | 8.7    | 40.5   | 2.6    |

性別にみると、男女ともに「ほとんどない」が最も多くなっている。



### 【年代別】

|        | 合計  | 週に2～3回以上 | 週に1回程度 | 月に1回程度 | 年に数回程度 | 年に1回程度 | ほとんどない | 不明・無回答 |
|--------|-----|----------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|
| 全体     | 860 | 2.8      | 5.1    | 9.7    | 29.4   | 7.8    | 42.3   | 2.9    |
| 20 歳代  | 45  | 2.2      | 0.0    | 8.9    | 8.9    | 11.1   | 66.7   | 2.2    |
| 30 歳代  | 64  | 1.6      | 1.6    | 7.8    | 23.4   | 9.4    | 56.3   | 0.0    |
| 40 歳代  | 117 | 0.9      | 1.7    | 8.5    | 34.2   | 6.0    | 48.7   | 0.0    |
| 50 歳代  | 149 | 0.7      | 4.0    | 8.7    | 34.9   | 10.7   | 38.9   | 2.0    |
| 60 歳代  | 241 | 2.5      | 5.8    | 9.1    | 31.5   | 8.3    | 41.1   | 1.7    |
| 70 歳代  | 166 | 5.4      | 11.4   | 13.9   | 26.5   | 6.0    | 31.3   | 5.4    |
| 80 歳以上 | 60  | 5.0      | 1.7    | 8.3    | 26.7   | 3.3    | 45.0   | 10.0   |

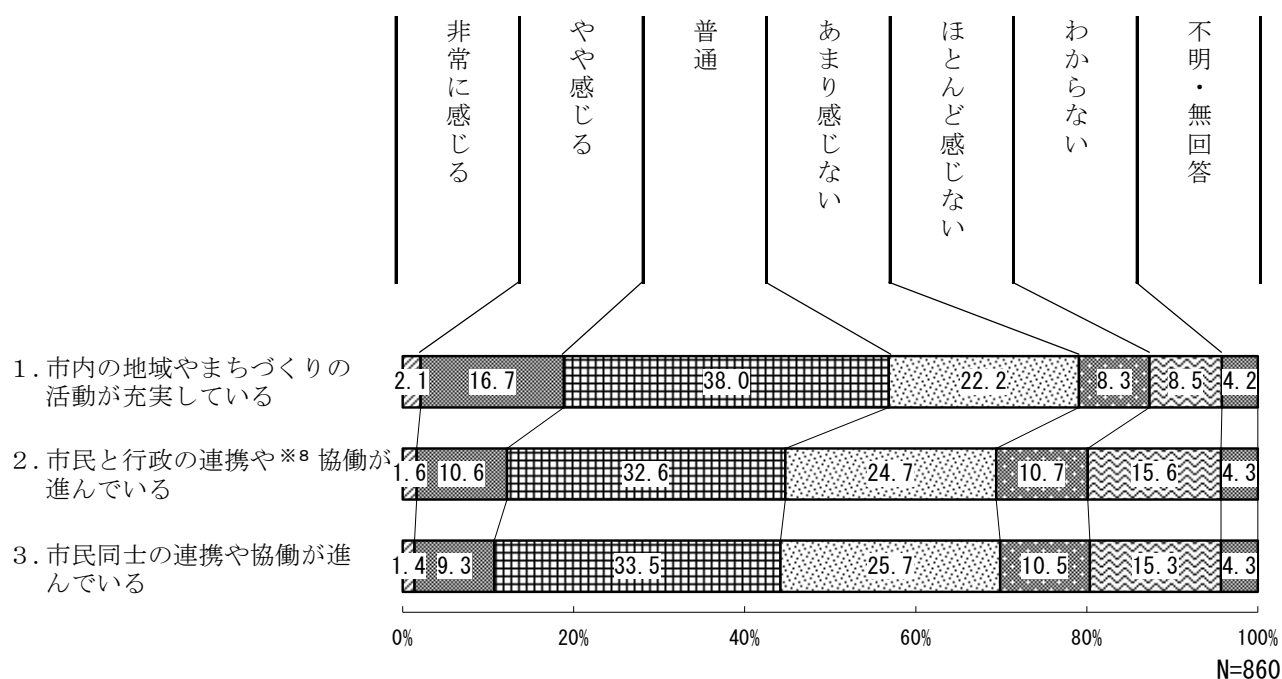
年代別にみると、すべての世代で「ほとんどない」が最も多く、20 歳代では 66.7% となっており、他の年代に比べて多くなっている。“年に 2 回以上”（「週に 2～3 回以上」＋「週に 1 回程度」＋「月に 1 回程度」＋「年に数回程度」）は 70 歳代でのみ過半数となっており、20 歳代は 20.0% と他の年代に比べて少なくなっている。

### 【地域別】

|       | 合計  | 週に2～3回以上 | 週に1回程度 | 月に1回程度 | 年に数回程度 | 年に1回程度 | ほとんどない | 不明・無回答 |
|-------|-----|----------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|
| 全体    | 860 | 2.8      | 5.1    | 9.7    | 29.4   | 7.8    | 42.3   | 2.9    |
| 千代田地域 | 189 | 3.7      | 3.2    | 10.6   | 19.6   | 8.5    | 51.3   | 3.2    |
| 長野地域  | 156 | 1.9      | 7.1    | 7.7    | 27.6   | 5.8    | 46.8   | 3.2    |
| 三日市地域 | 141 | 2.8      | 4.3    | 12.8   | 29.1   | 9.2    | 40.4   | 1.4    |
| 西地域   | 89  | 4.5      | 9.0    | 12.4   | 32.6   | 4.5    | 32.6   | 4.5    |
| 加賀田地域 | 108 | 2.8      | 6.5    | 8.3    | 35.2   | 6.5    | 38.9   | 1.9    |
| 東地域   | 151 | 2.0      | 4.0    | 7.9    | 39.7   | 9.9    | 33.8   | 2.6    |

地域別にみると、西地域と東地域が「年に数回程度」、それ以外の地域で「ほとんどない」が最も多くなっている。特に千代田地域では「ほとんどない」が過半数となっている。“月に 1 回以上”（「週に 2～3 回以上」＋「週に 1 回程度」＋「月に 1 回程度」）は多い地域で 25.9%（西地域）、少ない地域で 13.9%（東地域）となっている。また、“年に 2 回以上”では西地域が 58.5%、千代田地域で 37.1% となっており、地域により差がみられる。

問 37 あなたは、次のそれぞれについて、どのように感じていますか。各項目についてあなたのお考えに近い番号に○をつけてください。（それぞれ1つずつに○）



※8 「協働」とは、市民・行政・事業者などが、お互いの立場を理解し、尊重し合いながら、対等な関係で、共通の目的を持って、まちづくりを進めることを言います。

「1. 市内の地域やまちづくりの活動が充実している」については、「普通」が 38.0%と最も多く、「感じない」（「あまり感じない」＋「ほとんど感じない」）（30.5%）と“感じる”（「非常に感じる」＋「やや感じる」）（18.8%）がつづいている。

「2. 市民と行政の連携や協働が進んでいる」については、“感じない”が 35.4%と最も多く、「普通」（32.6%）、「わからない」（15.6%）、「感じる」（12.2%）がつづいている。

「3. 市民同士の連携や協働が進んでいる」については、“感じない”が 36.2%で最も多く、「普通」（33.5%）、「わからない」（15.3%），“感じる”（10.7%）がつづいている。

### 【地域やまちづくりの活動の参加状況別】

|          | 合計  | 1. 市内の地域やまちづくりの活動が充実している |      |      | 2. 市民と行政の連携や協働が進んでいる |      |      | 3. 市民同士の連携や協働が進んでいる |      |      |
|----------|-----|--------------------------|------|------|----------------------|------|------|---------------------|------|------|
|          |     | 感じる                      | 普通   | 感じない | 感じる                  | 普通   | 感じない | 感じる                 | 普通   | 感じない |
| 全体       | 860 | 18.8                     | 38.0 | 30.5 | 12.2                 | 32.6 | 35.3 | 10.7                | 33.5 | 36.2 |
| 週に2～3回以上 | 24  | 37.5                     | 33.3 | 20.8 | 20.8                 | 37.5 | 25.0 | 16.7                | 33.3 | 33.3 |
| 週に1回程度   | 44  | 34.1                     | 27.3 | 27.3 | 25.0                 | 38.6 | 22.7 | 15.9                | 38.6 | 29.5 |
| 月に1回程度   | 83  | 26.5                     | 37.3 | 30.1 | 18.1                 | 26.5 | 44.6 | 19.3                | 27.7 | 42.2 |
| 年に数回程度   | 253 | 22.1                     | 44.3 | 27.3 | 14.6                 | 39.5 | 33.2 | 13.0                | 39.1 | 34.8 |
| 年に1回程度   | 67  | 16.4                     | 44.8 | 31.3 | 9.0                  | 35.8 | 32.8 | 10.4                | 38.8 | 28.4 |
| ほとんどない   | 364 | 12.9                     | 35.2 | 34.3 | 8.5                  | 27.2 | 38.5 | 6.9                 | 29.4 | 39.0 |

感じる＝「非常に感じる」＋「やや感じる」    感じない＝「あまり感じない」＋「ほとんど感じない」  
「わからない」と「不明・無回答」は省略

地域やまちづくりの活動の参加状況別にみると、1～3のすべての項目で、参加回数が少なくなるとつれて“感じる”割合が少なくなる傾向にある。「2. 市民と行政の連携や協働が進んでいる」については、“週に1回以上”参加している人以外で“感じない”とした人が30%を超えている。また、「3. 市民同士の連携や協働が進んでいる」について、「週に1回程度」と「年に1回程度」参加している人以外で“感じない”とした人が30%を超えている。

### 【地域別】

|       | 合計  | 1. 市内の地域やまちづくりの活動が充実している |      |      | 2. 市民と行政の連携や協働が進んでいる |      |      | 3. 市民同士の連携や協働が進んでいる |      |      |
|-------|-----|--------------------------|------|------|----------------------|------|------|---------------------|------|------|
|       |     | 感じる                      | 普通   | 感じない | 感じる                  | 普通   | 感じない | 感じる                 | 普通   | 感じない |
| 全体    | 860 | 18.8                     | 38.0 | 30.5 | 12.2                 | 32.6 | 35.3 | 10.7                | 33.5 | 36.2 |
| 千代田地域 | 189 | 17.5                     | 31.7 | 37.0 | 11.6                 | 30.2 | 38.1 | 9.0                 | 30.2 | 40.2 |
| 長野地域  | 156 | 20.5                     | 30.8 | 34.6 | 14.1                 | 25.6 | 35.3 | 10.9                | 32.7 | 31.4 |
| 三日市地域 | 141 | 18.4                     | 37.6 | 32.6 | 8.5                  | 36.2 | 37.6 | 10.6                | 27.0 | 43.3 |
| 西地域   | 89  | 21.3                     | 48.3 | 18.0 | 12.4                 | 38.2 | 30.3 | 10.1                | 44.9 | 28.1 |
| 加賀田地域 | 108 | 17.6                     | 37.0 | 30.6 | 14.8                 | 25.0 | 38.9 | 12.0                | 28.7 | 39.8 |
| 東地域   | 151 | 21.2                     | 45.0 | 25.2 | 13.9                 | 36.4 | 33.1 | 12.6                | 37.7 | 33.8 |

感じる＝「非常に感じる」＋「やや感じる」    感じない＝「あまり感じない」＋「ほとんど感じない」  
「わからない」と「不明・無回答」は省略

地域別にみると、「2. 市民と行政の連携や協働が進んでいる」の三日市地域と「3. 市民同士の連携や協働が進んでいる」の千代田地域の“感じる”割合が10%未満となっている。

## Ⅳ. まとめ

### 1. 男女共同参画について

#### ●社会における男女の地位の平等感について

＜学校教育の場＞＜自治会・NPOなどの地域活動の場＞＜法律や制度＞以外の分野で、男女とも“男性が優遇されている”（「男性のほうが非常に優遇されている」＋「どちらかといえば男性のほうが優遇されている」）の割合が高く、中でも＜社会通念・慣習・しきたりなど＞では、男女とも7割前後にのぼる。また、いずれの分野も女性のほうが男性よりも男性優遇感が強い。＜学校教育の場＞は男女平等感が最も強く、男女とも5割を超える。前回調査との比較からは、いずれの分野も大差は見られず、男女の地位の平等感が大きく向上しているとは言えない。世論調査と比較すると、男性の＜自治会・NPOなどの地域活動の場＞＜社会全体でみたとき＞＜政治の場＞において、本市今回調査の方が世論調査より男性優遇感が弱くなっており、男性の意識に変化が出始めている。

#### ●男女平等に関する意識について

男女ともに＜妻子を養うのは男の責任である＞＜子どもが3歳くらいまでは母親の元で育てるべき＞という考えについて、“賛成”（「そう思う」＋「どちらかといえばそう思う」）の割合が7～8割となっており、性別による役割分担に対する肯定感は未だ根強い。＜結婚しても必ずしも子どもをもつ必要はない＞という考え方について、女性は“賛成”が多いのに対し、男性は“反対”（「どちらかといえばそう思わない」＋「そう思わない」）が多く、出産・子育てに対する男女の意識の差がみられた。年代別にみると、男性では年齢が高くなるほど、“反対”の割合が高くなる傾向にある。

#### ●男女共同参画の認知度について

男女共同参画に関連する言葉の認知度は、男女とも「ドメスティック・バイオレンス」「男女雇用機会均等法」「男女共同参画社会」は概ね広まっているが、市の施策に関連する「河内長野市男女共同参画推進条例」（女性15.2%、男性18.2%）「team あgora」（女性11.3%、男性6.2%）の認知度は低い。

#### ●女性が職業をもつことについて

男女とも「子どもができたなら職業をやめ、大きくなったら再び職業をもつほうがよい」（再就職型）が4割近くで最も高く、次に、「子どもができて、ずっと職業をもち続けるほうがよい」（継続型）が女性34.6%、男性34.1%でつづいている。年代別にみると、男性の40歳代から60歳代で継続型が4割を占める。前回調査と比べると、今回調査の方が男性で継続型の割合が高くなっており、以前よりも男性の意識に変化が出てきたといえる。しかしながら、世論調査と比較すると、本市今回調査の方が男女とも再就職型が高くなっている。

#### ●家庭生活の実態について

家庭における家事分担は、全ての項目で女性の方が男性よりも「する」の割合が高く、特に＜食事の支度＞＜食事の後片付け＞＜掃除＞＜洗濯＞では8割を超える。婚姻状況別にみると、＜食事の支度＞＜食事の後片付け＞＜掃除＞＜洗濯＞を「する」は、結婚している女性で9割前後、男性は1～3割となっており、妻の家事負担が大きい状況がうかがえる。

## ●ワーク・ライフ・バランス（仕事と生活の調和）について

【現実の生活】と【理想の生活】それぞれの家庭と仕事の優先度について、【現実の生活】では、男性は『仕事』を優先が3割、女性は『家庭生活』を優先が3割で最も高く、【理想の生活】では男女とも全てのバランスがとれた『仕事』と『家庭生活』と『地域・個人の生活』をともに優先が4割で最も高い。年代別にみると、【現実の生活】では、男性の20歳代から50歳代は『仕事』を優先が4割前後～5割、女性も20歳代から30歳代は『家庭生活』を優先よりも『仕事』を優先の割合のほうが高く、性別に限らず若い世代は『仕事』を優先する傾向がある。

男性が女性とともに家事、子育て、介護、地域活動に参加するために必要なこととして、「夫婦や家族間でのコミュニケーションをよくはかること」が男女ともに7割で最も高い。また、概ね全ての項目で女性の方が男性より回答割合が高く、意識の高さがあらわれている。

## ●恋人・配偶者に対する暴力、セクシュアル・ハラスメント等の実態について

暴力だと思われる項目について、男女とも「足でける」が9割で認識されている。実害的な身体的暴力に関する項目は、暴力だという認識が強いが、性的暴力（7～8割）や精神的暴力（6～7割）、経済的暴力（7割）では認識がやや薄くなっており、「子どもがDVの行為を見聞きする」ことについては、男性で5割となっている。DVの被害経験をたずねたところ、男女ともに精神的暴力が最も高く、女性では2割にのぼる。また、いずれの暴力も男性よりも女性の方が被害経験の割合が高い。しかし、男性のDV被害経験割合も0ではない。DV被害の相談状況は、「どこ（だれ）にも相談しなかった」が最も高く、男性で66.7%、女性が49.1%で、男性の相談割合が低い。相談先は主に「家族・親戚」「友人・知人」といった身近な人で、警察や相談機関の利用は極めて低い。相談しなかった人に理由をたずねたところ、「相談するほどのことではないと思ったから」が男性で66.7%、女性で48.8%で最も高く、次に「自分にも悪いところがあると思ったから」が男性で36.1%、女性で25.0%という結果になった。しかしながら、1～3割の人は「相談してもむだだと思ったから」「自分さえがまんすれば、なんとかこのままやっていけるといった理由を挙げている。「配偶者暴力相談支援センター」や「男女共同参画センターなどの市の相談窓口」などの公共機関への相談がほぼ0%という状況やDVと認識されている行為の理解度などを踏まえ、今後も引き続きDVに関する啓発や相談機関の広報をする必要がある。

セクハラ被害経験は、男女とも「いずれも経験がない」が女性で57.3%、男性が77.4%で最も高い。被害の状況をみると、全ての項目で女性の方が被害に遭う割合が高く、「年齢や身体、結婚などのことについて不愉快な意見や冗談を言われる」が15.6%となっている。

暴力の防止のために必要だと考えることは、女性が「家庭で子どもに対し、暴力を防止するための教育を行う」が65.2%、男性が「学校で生徒に対し、暴力を防止するための教育を行う」が61.2%で最も高い。教育に関する項目の次に「被害者が早期に相談できるよう、相談窓口を増やす」「加害者への罰則を強化する」が5割前後～6割近くとなっている。暴力は男女間だけでなくあらゆる人間関係にかかわる社会問題であるとともに、性別による固定的役割分担、経済力の格差など男女が置かれている状況を把握し、対処していくべき課題となっている。

## ●男女共同参画社会の実現に必要なことについて

女性は「子育てや介護等でいったん仕事を辞めた人の再就職を支援する」が68.6%、男性は「子どものときから、学校などで、男女平等意識を育成する指導を行う」が62.1%で最も高い。男女ともに行政に求めるものは同じような傾向だが、ほとんどの項目で女性のほうが男性よりも意向が高い。

## 2. 文化財について

### ●市内にある文化財の保護・活用について

河内長野らしいと思う文化財は「神社や仏閣」が7割で、適切な保存と継承が必要と考えている人（「とても必要」＋「どちらかと言えば必要」）が9割以上と多い。また、4割以上の人が文化財を誇りとして大切にしたいと考えており、良い印象をもっている人（「ふるさとの誇りとして大切にしたい」＋「個人的に関心があり、もっと良く知りたい」＋「関心は特にないが、地域の活性化のために活用されるのは良いことだと思う」）は8割以上である。文化財の適切な保存と継承をする主体について、「行政」が63.0%となっているが、「地域住民」が56.0%、「国民全体」が37.1%と、自分達も文化財を守らなければいけないという考えの人も多い。文化財の活用について、「人材育成」に役立てることを期待する人が6割を超えており、文化財を継承することに対する意識は高いと言える。

### ●身近にある文化財・伝統行事について

身近な場所にある文化財、伝統行事の情報については、「祭礼」について多く寄せられ、形あるものよりも市民が参加できる行事のほうが印象に残りやすいことがうかがえる。「石仏、地蔵、仏像等」「神社仏閣」については勿論だが、「樹木」「井戸」「湯釜」など、市民が大事にしたいと思う文化財は多岐にわたるといえる。

保存と活用に関する課題としては、「祭礼等の継承にかかるもの」をはじめ、「文化財の保存や管理」「文化財の公開や活用」にかかるものがあわせて14件挙げられている。これらの課題に対する取り組みについては4件しか意見がなく、市民のみで文化財や伝統行事の保存・活用を行うことは難しいと考えていることがわかる。

### ●烏帽子形公園（国指定史跡 烏帽子形城跡）の整備について

烏帽子形公園の認知度は8割と高いが、この内実際に訪れたいと思っている人は5割程度にとどまっている。公園内で気にいっている、大事にしたい場所は「森林」「眺望の良い場所」などの自然に関する意見がそれぞれ3割前後を占める一方、「遊具がある広場」は14.2%にとどまり、遊びや活動の場としての要素が低く、烏帽子形公園を訪れる目的の多くを「自然散策」としていることがうかがえる。

公園を訪れやすくするために整備すべき点は、「遊歩道・案内標識を整備する」が37.2%、「遊具・ベンチ・トイレなどの施設を改修・美装化する」が32.1%、「案内施設を整備する」が26.7%となっており、設備の改善が求められている。

### 3. 市政全般に関連した内容について

本市の生活環境の中で、“満足”（「非常に満足」＋「やや満足」）と答えた割合をみると、まち全体としての項目では、[自然や環境への配慮]が34.6%と最も高く、次いで[安全・安心]が20.4%、[教育・文化]が13.0%となっており、自然や町の景観を含めた生活環境や身の回りの安全については、満足度がやや高い。特に[自然や環境への配慮]の項目の「町並み・自然・歴史などの美しさ」は41.9%、「騒音・悪臭などの少なさ」は40.5%と、4割以上が“満足”と答えている。

“不満”（「やや不満」＋「非常に不満」）と答えた割合は、[産業の活性化]が52.9%と過半数となっており、次いで[都市基盤の整備]が31.9%、[健康・福祉]が20.6%とつづいている。特に[産業の活性化]の3項目である「商業地などのにぎわい」「日常的なレジャーや娯楽などの環境」「身近な場での働きやすさ」では“満足”より“不満”のほうが30ポイント以上多くなっている。

市の施策の中で“重要”（「非常に重要」＋「やや重要」）と答えた割合は、[安全・安心]の4項目である「交通安全」「防犯」「防災」「消防・救急」と「高齢者・障がい者（児）などにとっての暮らしやすさ」が9割以上と高くなっている。

「非常に重要」と答えた割合は、上位10項目では女性のほうが多くなっており、男女で意識の差が見られる。年代別にみると、30歳代で「防犯」が85.9%、「消防・救急」が81.3%となっており、他の年代に比べて多くなっている。「消防・救急」「防犯」「防災」「交通安全」「児童に対する福祉や子育てのしやすさ」「小中学校や幼稚園の教育環境」「騒音・悪臭などの少なさ」は、30歳代をピークに年齢が高くなるにつれて少なくなる傾向にある。地域別にみると、「児童に対する福祉や子育てのしやすさ」について、加賀田地域のみ6割以上となっており、他の地域に比べて多くなっている。「道路や橋などの交通網」では三日市地域で40.4%であるのに対して西地域が30.3%となっており、地域によって意識の差がみられる。

「市内の地域やまちづくりの活動」への参加状況については、「ほとんどない」が42.3%で最も多くなっており、年代別でみると20歳代で参加率が低くなっている。

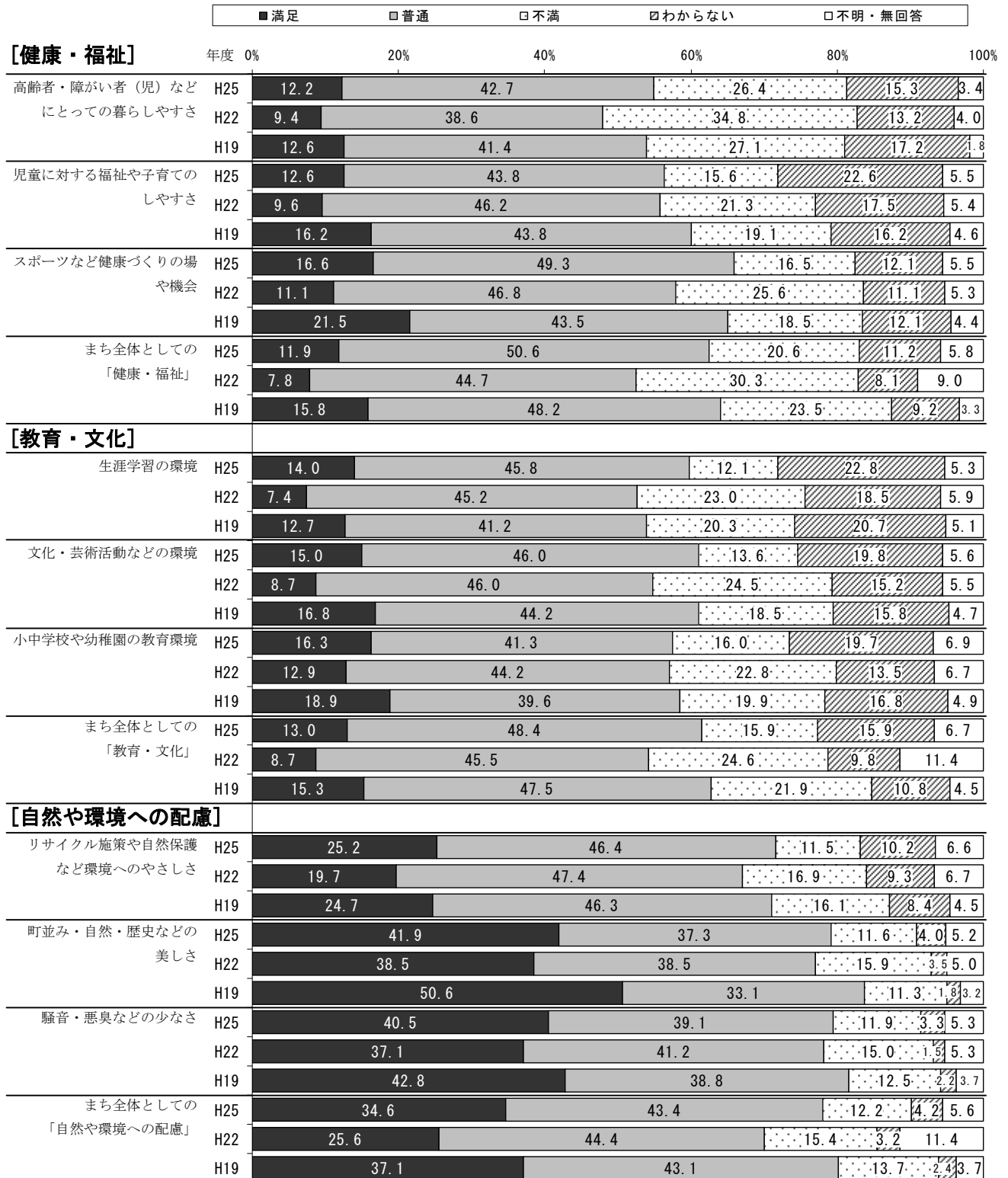
「市内の地域やまちづくりの活動が充実している」については、“感じる”（「非常に感じる」＋「やや感じる」）と答えた割合は18.8%であり、「市民と行政の連携や協働が進んでいる」については、12.2%、「市民同士の連携や協働が進んでいる」については10.7%となっている。3項目すべてにおいて“感じる”と答えた割合よりも“感じない”（「あまり感じない」＋「ほとんど感じない」）と答えた割合のほうが多く、3割以上となっている。

地域やまちづくりの活動の参加状況別にみると、すべての項目で、参加回数が少なくなるにつれて“感じる”割合が少なくなる傾向にある。

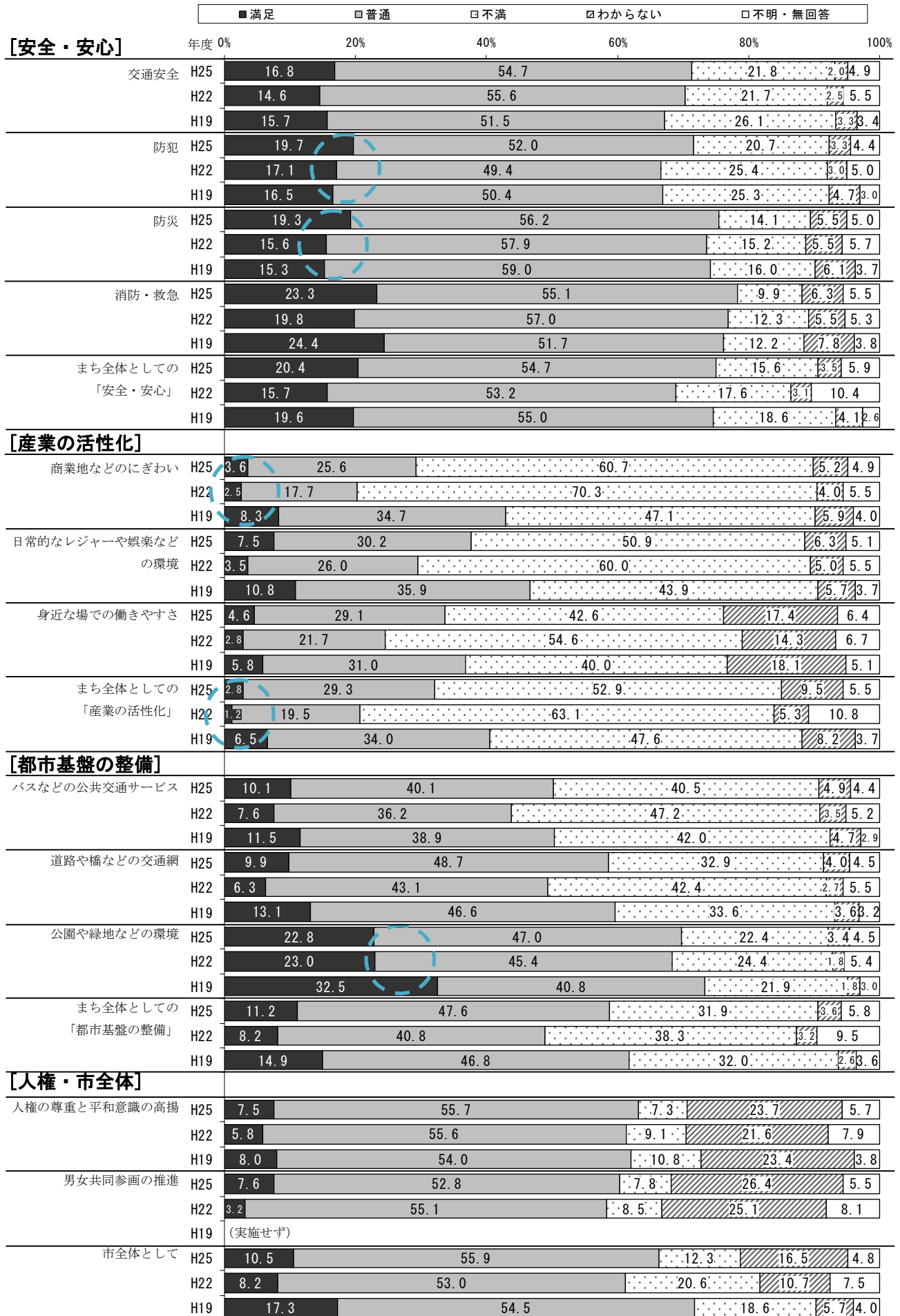
## 4. 経年比較

### ■満足度

現在の河内長野市の生活環境の満足度について経年比較でみると、「防犯」「防災」が上昇傾向にあるものの、ほとんどの項目で平成 22 年度に満足度が一旦減少している。平成 19 年度と今回調査を比較すると、「商業地などのにぎわい」「まち全体としての「産業の活性化」」「公園や緑地などの環境」などで満足度が減少している。

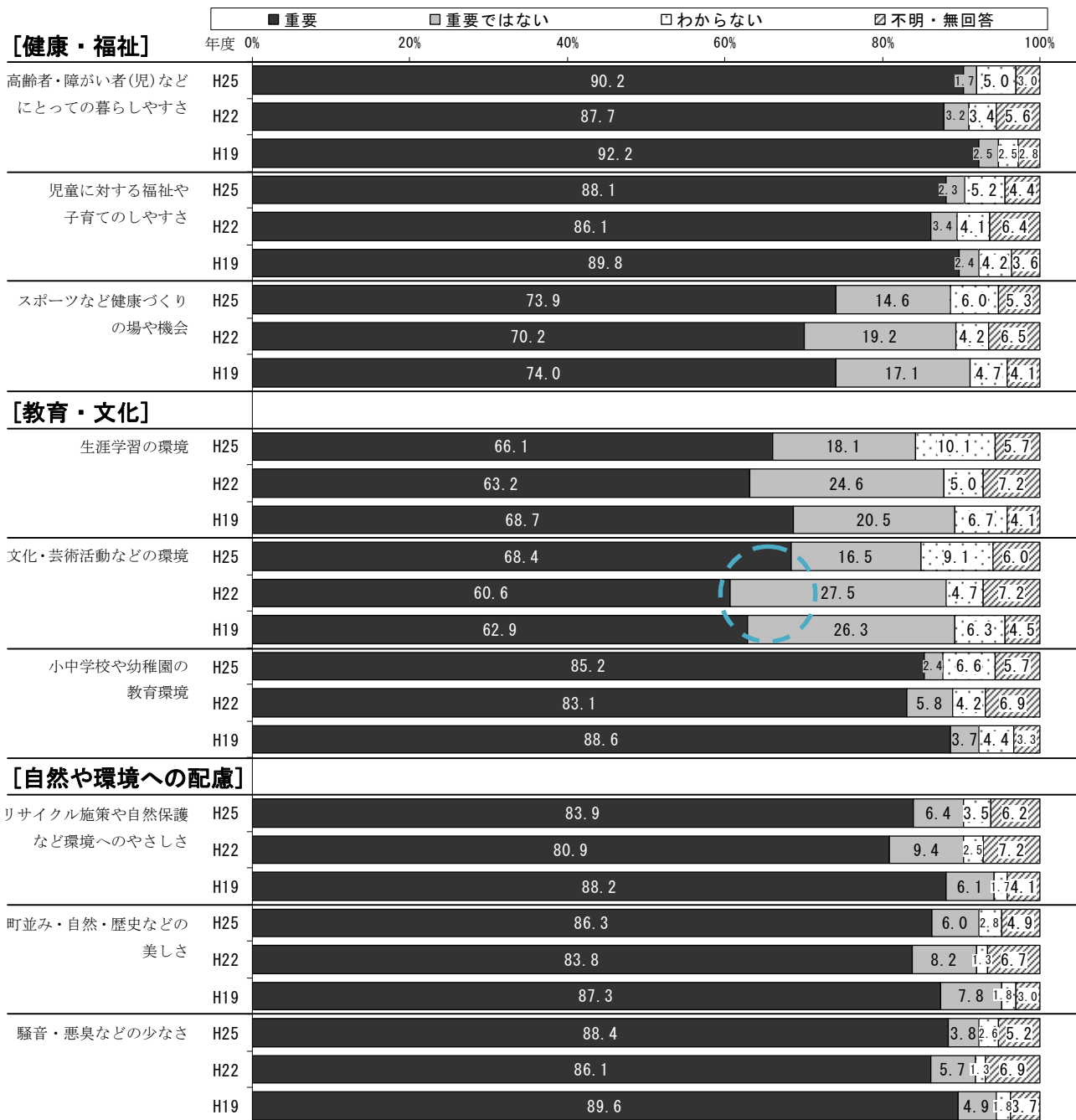


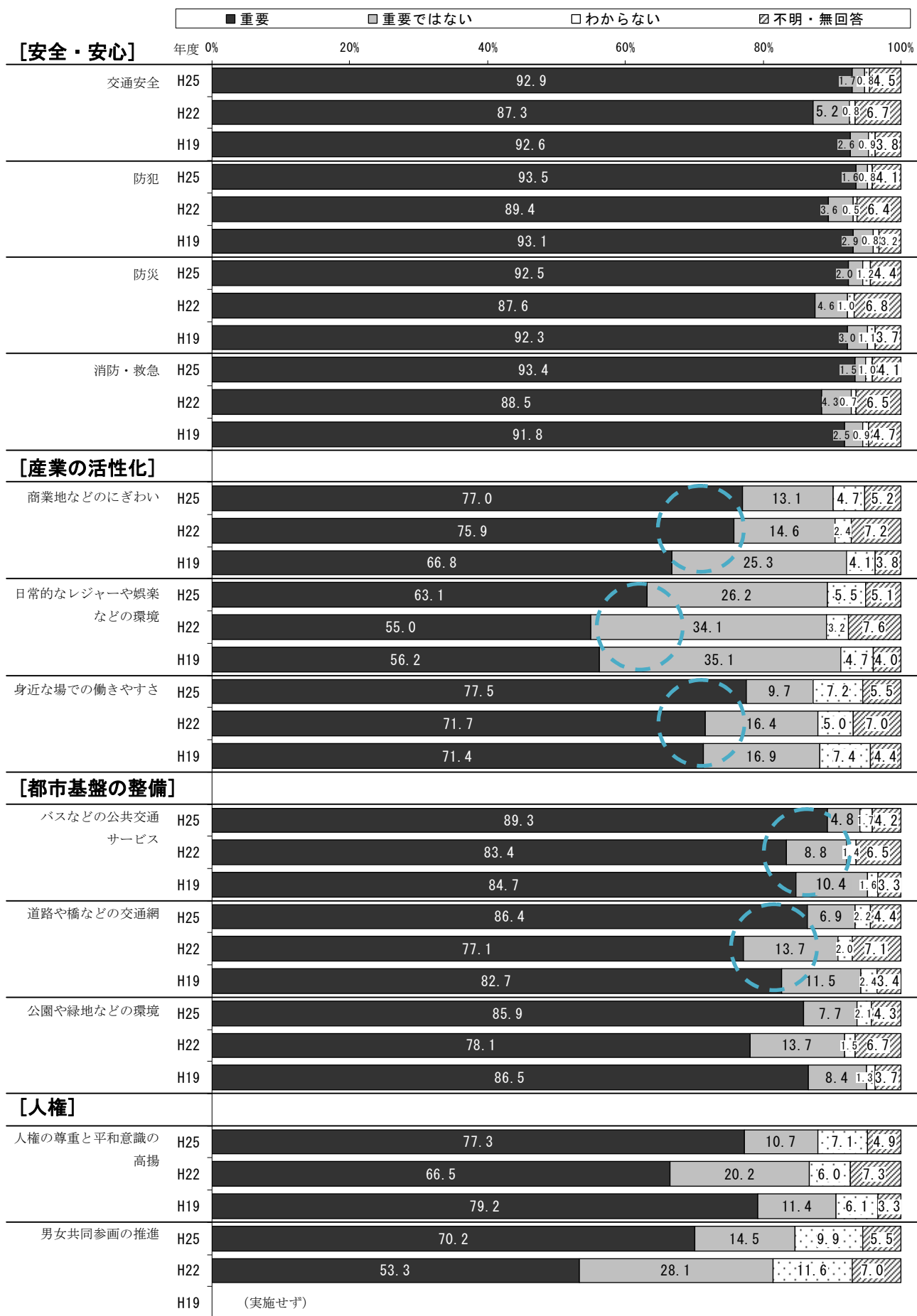




## ■重要度

河内長野市の生活環境の重要度について経年比較でみると、「商業地などのにぎわい」「身近な場での働きやすさ」が上昇傾向にある。ほとんどの項目で平成 22 年度に一旦減少しているが、平成 19 年度と今回調査を比較すると、「バスなどの公共交通サービス」「道路や橋などの交通網」「文化・芸術活動などの環境」「日常的なレジャーや娯楽などの環境」などの重要度が増加している。また、[安全・安心]の 4 項目においては常に 90%前後を推移している。





## V. 資料（調査票）

あなたの声を市政に

第40回河内長野市民意識調査

### 市政アンケート調査のお願い

市民のみなさんには、日頃から市政に対し、何かとご理解とご協力をたまわりありがとうございます。

さて、今年も「市民の声」を市政に反映するため、20歳以上の市民のみなさんの中から2,000人の方々を無作為に選ばせていただき、アンケート調査を実施させていただくことになりました。

今年は、2つのテーマ＜男女共同参画＞と＜文化財＞について、市民のみなさんの率直なご意見をお聴きすることで、今後の各施策をすすめるうえでの参考資料にしたいと考えております。

アンケートの結果については、すべて統計的に処理し、報告書として市のホームページ、情報センターや図書館で閲覧していただくことができます。（報告書の公開は来年4月頃の予定です。）また、この調査の目的以外には使用いたしません。

ご多忙の折とは存じますが、**9月17日（火）まで**にご回答くださいますよう、ご協力のほどお願い申し上げます。

平成25年9月

河内長野市長



#### ご記入にあたってのお願い

- このアンケート調査は個人を対象にしていますので、本人による記入が困難な場合を除き、封筒のあて名の方がご自身でご記入ください。
- 回答は問1から順に、質問ごとに用意してある答えの中から、あなたのお考えにあてはまる番号または項目に○をつけてください。また「その他」に○をつけられた場合は、（ ）内に具体的にご記入ください。
- 記入後は同封の返信用封筒に入れて封をし、**名前を書かずに郵便ポストへご投函**ください。切手は不要です。
- このアンケート調査についてのお問い合わせなどがありましたら、下記までご連絡ください。

＜お問い合わせ先＞ 設問 1～17 市民生活部 人権推進室  
TEL：53－1111（内線252）

設問 18～33 生涯学習部 ふるさと文化課  
TEL：53－1111（内線748）

設問 34～46 市長公室 広報広聴課  
TEL：53－1111（内線232）

男女共同参画についておうかがいします

●社会における男女の地位の平等感について

問 1 あなたは、次にあげる分野において、男女の地位は平等になっていると思われるか。各項目についてあなたのお考えに近い番号に○をつけてください。（それぞれ1つずつに○）

| 質問項目                | 男性のほうに<br>優遇されている | どちらかといえば<br>男性の<br>ほうに優遇されている | 平等 | どちらかといえば<br>女性の<br>ほうに優遇されている | 女性のほうに<br>非常に優遇<br>されている | わからない |
|---------------------|-------------------|-------------------------------|----|-------------------------------|--------------------------|-------|
| 1. 家庭生活             | 1                 | 2                             | 3  | 4                             | 5                        | 6     |
| 2. 職場               | 1                 | 2                             | 3  | 4                             | 5                        | 6     |
| 3. 学校教育の場           | 1                 | 2                             | 3  | 4                             | 5                        | 6     |
| 4. 自治会・NPOなどの地域活動の場 | 1                 | 2                             | 3  | 4                             | 5                        | 6     |
| 5. 政治の場             | 1                 | 2                             | 3  | 4                             | 5                        | 6     |
| 6. 法律や制度            | 1                 | 2                             | 3  | 4                             | 5                        | 6     |
| 7. 社会通念・慣習・しきたりなど   | 1                 | 2                             | 3  | 4                             | 5                        | 6     |
| 8. 社会全体でみるとき        | 1                 | 2                             | 3  | 4                             | 5                        | 6     |

●男女平等に関する意識について

問 2 あなたは、次のような考えに対してどのように思われますか。各項目についてあなたのお考えに近い番号に○をつけてください。（それぞれ1つずつに○）

| 質問項目                                | そう思う | そう思う | どちらかといえば<br>そう思う | どちらかといえば<br>そう思わない | そう思わない |
|-------------------------------------|------|------|------------------|--------------------|--------|
| 1. 夫は外で働き、妻は家庭を守るべきである              | 1    | 2    | 3                | 4                  |        |
| 2. 妻子を養うのは男の責任である                   | 1    | 2    | 3                | 4                  |        |
| 3. 結婚は、個人の自由であるから、結婚してもしなくてもどちらでもよい | 1    | 2    | 3                | 4                  |        |
| 4. 結婚しても必ずしも子どもをもつ必要はない             | 1    | 2    | 3                | 4                  |        |
| 5. 男の子は男らしく、女の子は女らしく育てるほうがよい        | 1    | 2    | 3                | 4                  |        |
| 6. 子どもが3歳くらいまでは母親の元で育てるべき           | 1    | 2    | 3                | 4                  |        |
| 7. 夫の親を妻が介護・看護するのは当然である             | 1    | 2    | 3                | 4                  |        |

●男女共同参画の認知度について

問 3 これらの言葉のうち、あなたが見たり聞いたりしたことがあるものを全てあげてください。（あてはまる番号すべてに○）

|                           |
|---------------------------|
| 1. 男女共同参画社会               |
| 2. 河内長野市男女共同参画推進条例        |
| 3. ホジティブ・アクション（積極的改善措置）   |
| 4. ジェンダー（社会的性別）           |
| 5. 男女雇用機会均等法              |
| 6. ワーク・ライフ・バランス（仕事と生活の調和） |
| 7. ドメスティック・バイオレンス（DV）     |
| 8. team あごら               |
| 9. 見たり聞いたりしたものはない         |

●女性が職業をもつことについて

問 4 一般的に、女性が職業をもつことについて、あなたのお考えに最も近いものはどれですか。（1つだけに○）

|                                       |
|---------------------------------------|
| 1. 女性は職業をもたないほうがよい                    |
| 2. 結婚するまでは、職業をもつほうがよい                 |
| 3. 子どもができるまでは、職業をもつほうがよい              |
| 4. 子どもができて、ずっと職業をもち続けるほうがよい           |
| 5. 子どもができたから職業をやめ、大きくなったら再び職業をもつほうがよい |
| 6. わからない                              |

●家庭生活の実態について

問 5 あなたは、普段ご家庭で次のことをされていますか。（それぞれ1つずつに○）

| 質問項目               | する | たまにする | ほとんどしない | 該当しない |
|--------------------|----|-------|---------|-------|
| 1. 食事の支度           | 1  | 2     | 3       |       |
| 2. 食事の後片付け         | 1  | 2     | 3       |       |
| 3. 掃除              | 1  | 2     | 3       |       |
| 4. 洗濯              | 1  | 2     | 3       |       |
| 5. ごみ出し            | 1  | 2     | 3       |       |
| 6. 町内会や自治会活動などへの参加 | 1  | 2     | 3       | 4     |
| 7. 子どもの世話やしつけ（教育）  | 1  | 2     | 3       | 4     |
| 8. 子どもの学校行事への参加    | 1  | 2     | 3       | 4     |

●ワーク・ライフ・バランス（仕事と生活の調和）について

問6 生活の中における「※1仕事」「※2家庭生活」「※3地域・個人の生活」の優先度について、あなたの現実の生活、理想の生活に最も近いものをお答えください。

（「1. 現実の生活」と「2. 理想の生活」でそれぞれ1つずつに○）

| 質問項目     | 「仕事」を優先 | 「家庭生活」を優先 | 「地域・個人の生活」を優先 | 「仕事」と「家庭生活」をともに優先 | 「仕事」と「地域・個人の生活」をともに優先 | 「家庭生活」と「地域・個人の生活」をともに優先 | 「仕事」と「地域・個人の生活」と「家庭生活」と「地域・個人の生活」をともに優先 |
|----------|---------|-----------|---------------|-------------------|-----------------------|-------------------------|-----------------------------------------|
| 1. 現実の生活 | 1       | 2         | 3             | 4                 | 5                     | 6                       | 7                                       |
| 2. 理想の生活 | 1       | 2         | 3             | 4                 | 5                     | 6                       | 7                                       |

※1 「仕事」とは、自営業主、家族従業者、雇用者として、週1時間以上働いていることを言います。就業形態は問いません。

※2 「家庭生活」とは、家族と過ごすこと、家事、育児、介護・看護などを言います。

※3 「地域・個人の生活」とは、地域・社会活動（ボランティア活動、社会参加活動、交際・つき合いなど）、学習・研究（学業も含む）、趣味・娯楽、スポーツなどを言います。

問7 今後、男性が女性とともに家事、子育て、介護、地域活動に積極的に参加していくためには、どのようなことが必要だと思われますか。（あてはまる番号すべてに○）

|                                               |
|-----------------------------------------------|
| 1. 男性が家事などに参加することに対する男性自身の抵抗感をなくすること          |
| 2. 男性が家事などに参加することに対する女性の抵抗感をなくすること            |
| 3. 夫婦や家族間でのコミュニケーションをよくはかること                  |
| 4. 年配者やまわりの人が、夫婦の役割分担等についての当事者の考え方を尊重すること     |
| 5. 社会の中で、男性による家事、子育て、介護、地域活動についても、その評価を高めること  |
| 6. 労働時間短縮や休暇制度を普及することで、仕事以外の時間をより多くもてるようにすること |
| 7. 男性が家事、子育て、介護、地域活動に関心を高めるよう啓発や情報提供を行うこと     |
| 8. 国や地方自治体などの研修等により、男性の家事や子育て、介護等の技能を高めること    |
| 9. 男性が子育てや介護、地域活動を行うための、仲間（ネットワーク）作りをすすめること   |
| 10. 家庭や地域活動と仕事の両立などの問題について、男性が相談しやすい窓口を設けること  |
| 11. その他（具体的に）                                 |
| 12. 特に必要なことはない                                |

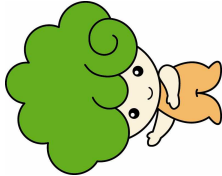
●恋人・配偶者に対する暴力、セクシュアル・ハラスメント等の実態について

問8 あなたは、夫婦や恋人同士で起こる次のような行為は、「暴力」だと思われますか。（あてはまる番号すべてに○）

|                                         |
|-----------------------------------------|
| 1. 平手で打つ                                |
| 2. 足でける                                 |
| 3. なぐるふりをして、おどす                         |
| 4. いやがっているのに性的な行為を強要する                  |
| 5. 見たくないのに、ポルノ映像やポルノ雑誌を見せる              |
| 6. 何を言っても無視し続ける                         |
| 7. 交友関係や電話を細かく監視する                      |
| 8. 「だれのおかげで生活できるんだ」とか、「かいしようなし」とか、などと言う |
| 9. 生活費を渡さない                             |
| 10. 大声でどなる                              |
| 11. 子どもが上記1～10のような行為を見聞させる              |

問9 あなたはこれまでに、あなたの配偶者や親しい異性（恋人等）から次のようなことをされたことがありますか。（それぞれ1つずつに○）

| 質問項目                                                       | 何度もあった | 1、2度あった | まったくない |
|------------------------------------------------------------|--------|---------|--------|
| 1. なぐる、ける、刃物を突きつけられおどされる。なぐるふりをしておどされるなど（身体的暴力）            | 1      | 2       | 3      |
| 2. 「だれのおかげで生活できるんだ」「かいしようなし」などと言われる。無視される。大声でとられるなど（精神的暴力） | 1      | 2       | 3      |
| 3. 生活費を渡さない（経済的暴力）                                         | 1      | 2       | 3      |
| 4. 友人に会うことや実家に行くことを制限されたり、監視されるなど（社会的暴力）                   | 1      | 2       | 3      |
| 5. 性行為の強要。避妊に協力しない。ポルノ映像や雑誌を見せられるなど（性的暴力）                  | 1      | 2       | 3      |
| 6. 1～5の行為を子どもに見せる（児童虐待）                                    | 1      | 2       | 3      |



【問9で1～6のうち、ひとつでも「1」か「2」と答えた方におうかがいします】

問 10 あなたは、これまでに問9であげたような行為を受けたことについて、だれかに相談されましたか。（あてはまる番号すべてに○）

|                                      |
|--------------------------------------|
| 1. 警察                                |
| 2. 人権擁護委員、民生児童委員                     |
| 3. 配偶者暴力相談支援センター                     |
| 4. 男女共同参画センターなどの市の相談窓口               |
| 5. その他の公的機関                          |
| 6. 民間の機関（弁護士会やカウンセリング機関、※4民間シェルターなど） |
| 7. 医療関係者                             |
| 8. 家族・親戚                             |
| 9. 友人・知人                             |
| 10. その他（具体的に）                        |
| 11. どこ（だれ）にも相談しなかった                  |

※4 「民間シェルター」とは、民間団体によって運営されていて、暴力を受けた被害者が緊急一時的に避難できる施設です。居住場所や食事等を提供し、様々な相談に応じるなど、被害者に対する援助を行っています。

【問 10 で「11」と答えた方におうかがいします】

問 11 どこ（だれ）にも相談しなかったのは、なぜですか。（あてはまる番号すべてに○）

|                                                     |
|-----------------------------------------------------|
| 1. どこ（だれ）に相談してよいのかわからなかったから                         |
| 2. 恥ずかしくてだれにも言えなかったから                               |
| 3. 相談してもむだだと思ったから                                   |
| 4. 相談したことがわかると、仕返しを受けたり、もっとひどい暴力を受けれると思ったから         |
| 5. 加害者に「だれにも言うな」とおどされたから                            |
| 6. 相談相手の言動によって不快な思いをさせられると思ったから                     |
| 7. 自分さえがまんすれば、なんとかこのままやっていけると思ったから                  |
| 8. 世間体が悪いから                                         |
| 9. 他人を巻き込みたくなかったから                                  |
| 10. 他人に知られると、これまで通りのつき合い（仕事や学校などの人間関係）ができなくなると思ったから |
| 11. そのことについて思い出しにくかったから                             |
| 12. 自分にも悪いところがあると思ったから                              |
| 13. 相手の行為は愛情の表現だと思ったから                              |
| 14. 相談するほどのことではないと思ったから                             |
| 15. その他（具体的に）                                       |

【全員の方におうかがいします】

問 12 あなたは、職場や学校、地域などにおいて次のようなセクシュアル・ハラスメントの行為をされたことがありますか。（あてはまる番号すべてに○）

|                                   |
|-----------------------------------|
| 1. 年齢や身体、結婚などのことについて不快な意見や冗談を言われる |
| 2. 卑わいな言葉をかけられたり、会話を聞かされる         |
| 3. わざと身体に触れられる                    |
| 4. 宴会などでお酌やデュエット、ダンスなどを強要される      |
| 5. 性的なうわさを流される                    |
| 6. 嫌がっているのにしつこく交際を求められる           |
| 7. 性的な行為を強要される                    |
| 8. お茶くみ、後片付け、私用等を強要される            |
| 9. いずれも経験がない                      |

問 13 男女間における暴力を防止するためには、どのようなことが必要だと思いますか。（あてはまる番号すべてに○）

|                                          |
|------------------------------------------|
| 1. 家庭で子どもに対し、暴力を防止するための教育を行う             |
| 2. 学校で生徒に対し、暴力を防止するための教育を行う              |
| 3. 地域で、暴力を防止するためのイベントなどを行う               |
| 4. メディアを活用して、広報・啓発活動を積極的に行う              |
| 5. 被害者が早期に相談できるよう、相談窓口を増やす               |
| 6. 加害者に対し、教育を行う                          |
| 7. 加害者への罰則を強化する                          |
| 8. 暴力を助長するおそれのある情報（雑誌、コンピュータソフトなど）を取り締まる |
| 9. その他（具体的に）                             |
| 10. 特にない                                 |

問 14 テレビ・新聞・雑誌・インターネット・コンピュータゲームなどのメディアにおける性・暴力表現について、あなたはどのように思われますか。（それぞれ1つずつに○）

| 質問項目                                 | そう思う | どちらかといえば思う | どちらかといえば思わない | そう思わない | わからない |
|--------------------------------------|------|------------|--------------|--------|-------|
| 1. 女性のイメージや男性のイメージについて偏った表現をしている     | 1    | 2          | 3            | 4      | 5     |
| 2. 性的価値を過度に強調するなど、行き過ぎた表現が目立つ        | 1    | 2          | 3            | 4      | 5     |
| 3. 社会全体の性に関する道徳観・倫理観を損なうおそれがある       | 1    | 2          | 3            | 4      | 5     |
| 4. 女性に対する犯罪を助長するおそれがある               | 1    | 2          | 3            | 4      | 5     |
| 5. 性・暴力表現を望まない人や子どもの目に触れないような配慮が足りない | 1    | 2          | 3            | 4      | 5     |

問 15 男女間における暴力の防止や男女共同参画を推進するため、河内長野市では広報・啓発活動、また、男女共同参画センター（キックス）において、様々な講座や相談対応を実施しています。あなたはこのことを知っていますか。（どちらかに○）

1. 知っている                      2. 知らない

女性のための相談のお知らせ

男女共同参画センター（キックス）では、女性のための相談窓口をはじめ、セミナー、講演など、気軽に参加できる事業を展開しています。相談できる人がいない、誰にも理解してもらえない、周囲の人に知られたくない・・・そんなとき、専門の女性カウンセラーがお話をうかがいサポートします。

市民生活部人権推進室 男女共同参画センター

〒586-0025  
河内長野市昭栄町 7-1 市民交流センター（キックス）内  
電話：0721-54-0003 （相談には事前予約が必要です）

●男女共同参画社会の実現に必要なことについて

問 16 「男女共同参画社会」を実現するために、今後、行政はどのようなことに力を入れていくべきだと思いますか。（あてはまる番号すべてに○）

- |                                            |
|--------------------------------------------|
| 1. 子どものときから、学校などで、男女平等意識を育成する指導を行う         |
| 2. 法律や制度の面で見直しを行う                          |
| 3. 国・地方公共団体の審議会委員や管理職など、政策決定の場に女性を積極的に登用する |
| 4. 民間企業・団体等の管理職に女性の登用が進むよう支援する             |
| 5. 女性や男性の生き方や悩みに関する相談の場を充実させる、または提供する      |
| 6. 従来、女性が少なかった分野（研究者等）への女性の進出を支援する         |
| 7. 保育の施設・サービスや、高齢者や病人の施設や介護サービスを充実させる      |
| 8. 男女の平等と相互の理解や協力について学習機会を充実させる            |
| 9. 労働時間の短縮や在宅勤務の普及など男女共に働き方の見直しを進める        |
| 10. 子育てや介護中であっても仕事が続けられるよう支援する             |
| 11. 子育てや介護等でいったん仕事を辞めた人の再就職を支援する           |
| 12. 男女の平等と相互の理解や協力について広報・PRする              |
| 13. 各メディアの性・暴力表現の規制                        |
| 14. その他（具体的に                      ）        |
| 15. 特になし                                   |
| 16. わからず                                   |

問 17 男女共同参画社会の実現にあたってご意見・ご感想がありましたら、ご自由にお書きください。

|       |
|-------|
| ..... |
| ..... |
| ..... |
| ..... |

文化財についておうかがいします

●市内にある文化財の保護・活用について

問 18 あなたが思う河内長野らしい文化財とは何ですか。（あてはまる番号すべてに○）

- |                                 |
|---------------------------------|
| 1. 神社や仏閣                        |
| 2. 「だんじり」「地蔵講」など、宗教行事や地域の祭り     |
| 3. 仏像や彫刻                        |
| 4. 古道                           |
| 5. 古い町並み                        |
| 6. 遺跡                           |
| 7. 古木や稀少生物                      |
| 8. 古文書や古絵図                      |
| 9. 城跡                           |
| 10. 石造物                         |
| 11. その他（                      ） |

問 19 文化財を適切に保存し、次世代へ伝えることは必要だと思いますか。（1 つだけに○）

- |              |               |
|--------------|---------------|
| 1. とても必要     | 2. どちらかといえば必要 |
| 3. どちらとも言えない | 4. どちらかといえば不要 |
| 5. 不要        |               |

【問 19 で「4、5」と答えた方におうかがいします】

問 20 「どちらかといえば不要」あるいは「不要」と考えるのは、なぜですか。（あてはまる番号すべてに○）

- |                                |
|--------------------------------|
| 1. 保存・継承を行うために多くの費用がかかるから      |
| 2. 社会に役立つとは思えないから              |
| 3. 人々の関心が低いと思うから               |
| 4. その他（                      ） |

【全員の方におうかがいします】

問 21 文化財について、どのような印象を持っていますか。（1 つだけに○）

- |                                       |
|---------------------------------------|
| 1. ふるさとの誇りとして大切にしたい                   |
| 2. 個人的に関心があり、もっと良く知りたい                |
| 3. 関心は特にないが、地域の活性化のために活用されるのは良いことだと思う |
| 4. あまり関心が無く、あまり考えたことがない               |
| 5. あまり良い印象を持っていない                     |
| 6. その他（                      ）        |



問 22 文化財を適切に保存し、次世代へ伝えるのは、主に誰だと思われますか。（あてはまる番号すべてに○）

|            |         |
|------------|---------|
| 1. 文化財の所有者 | 2. 地域住民 |
| 3. 国民全体    | 4. 行政   |
| 5. その他（ ）  |         |

問 23 河内長野市内には※<sup>5</sup>豊富な文化財があることを知っていますか。（1つだけに○）

|                        |
|------------------------|
| 1. 国宝や重要文化財が多いことを知っている |
| 2. 漠然と文化財が多いことを知っている   |
| 3. 文化財が多いとは思っていないかった   |
| 4. その他（ ）              |

※5 市内には6件の国宝と、78件の重要文化財があります。

【問 23 で「3」と答えた方におうかがいします】

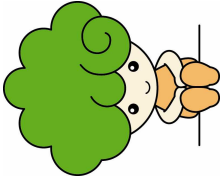
問 24 「文化財が多いとは思っていないかった」のはなぜですか。（あてはまる番号すべてに○）

|                            |
|----------------------------|
| 1. 関心がないため                 |
| 2. 最近移り住んできたため             |
| 3. なにが文化財に当たるのかわからないため     |
| 4. 河内長野市内には文化財が少ないと思っていたため |
| 5. 行政のPR不足のため              |
| 6. その他（ ）                  |

【全員の方におうかがいします】

問 25 文化財の活用について、期待することは何ですか。（あてはまる番号すべてに○）

|                                               |
|-----------------------------------------------|
| 1. 地域の歴史・文化を子どもたちに伝え、ふるさとを愛し、地域貢献できる人材を育てる    |
| 2. 地域を活性化させるために観光資源として活用する                    |
| 3. 市民が気軽に訪れることができるようにし、文化的環境の魅力の一つとする         |
| 4. 住民が地域のアイデンティティーを育み、地域とのつながり、人との絆を深めるのに役立てる |
| 5. 生涯学習の教材として活用する                             |
| 6. その他（ ）                                     |



●身近にある文化財・伝統行事について

問 26 河内長野市内には、行政がまだ把握しきれていない文化財が多く伝わっています。そこで、身近な場所（小・中学校区、町内）にある文化財、伝統的に続いている行事があれば下記の表にご記入いただき、情報の提供をお願いします。

〔記入例〕

| 名称       | 種類  | 場所・開催時期               | 保存や管理の状況               |
|----------|-----|-----------------------|------------------------|
| 〇〇仏      | 石造仏 | 原町<br>高野街道沿い〇〇氏宅前     | 新しいお堂の中でおまつり<br>されている  |
| 〇〇神社の秋祭り | 祭り  | 〇〇神社<br>毎年10月に行われる秋祭り | 〇〇神社の氏子によって継<br>承されている |

| 名称 | 種類 | 場所・開催時期 | 保存や管理の状況 |
|----|----|---------|----------|
|    |    |         |          |
|    |    |         |          |
|    |    |         |          |

【問 26 にご記入いただいた方におうかがいします】

問 27 問 26 にご記入いただいた文化財、伝統的に続いている行事について、その保存と活用をめぐる課題がありましたら、お書きください。

|                                                                  |
|------------------------------------------------------------------|
| (例) 破損しているが、修復されないまま放置されている。<br>.....<br>.....<br>.....<br>..... |
|------------------------------------------------------------------|

【問 27 にご記入いただいた方におうかがいします】

問 28 問 27 で回答した課題について解決に向けた取り組みを行っている場合は、内容をお知らせください。

|                                                             |
|-------------------------------------------------------------|
| (例) 地域で修理のための基金をつくっている。<br>.....<br>.....<br>.....<br>..... |
|-------------------------------------------------------------|

## ●烏帽子形公園（国指定史跡 烏帽子形城跡）の整備について

問29 烏帽子形公園を知っていますか。(1つだけに○)

1. 知らない
2. 公園やプールがあることを知っている
3. 「2」に加えて、山城の跡であることを知っている
4. 「2」「3」に加えて、土塁（どるい）や空堀（からぼり）等の場所を知っている

【問29で「2、3、4」と答えた方におうかがいします】

問30 烏帽子形公園にどのような印象を持っていますか。(1つだけに○)

1. 訪れたい場所である
2. あまり関心がない
3. 訪れたくない場所である

【問30で「3」と答えた方におうかがいします。】

問31 烏帽子形公園を訪れたいくないのは、なぜですか。(あてはまる番号すべてに○)

1. 薄暗いイメージがあるため
2. 崖が多く危険なイメージがあるため
3. ベンチ、遊歩道、トイレなどが十分整備されていないイメージがあるため
4. その他（ ）

【全員の方向にお願いします】

問32 烏帽子形公園で気に入っている場所、大事にしたい場所はありませんか。

[illegible]

1. 遊具がある広場  
2. 森林  
3. 土塁や空堀などの山城に関する遺構  
4. 眺望の良い場所  
5. 特にな  
6. 行ったことがない  
7. その他（ ）

問 33 烏帽子形公園のどのような点を整備すれば訪れやすくなると思いますか。（あてはまる番号すべてに○）

1. 案内施設を整備する
2. 遊具・ベンチ・トイレなどの施設を改修・美装化する
3. 樹木を適度に間伐し、森林内の整備や眺望の改善をする
4. 遊歩道・案内標識を整備する
5. 特にない
6. 行ったことがない
7. その他（ ）

市政全般に関連した内容についておうかがいします

問 34 あなたは、現在の河内長野市の生活環境についての程度満足されていますか。

次の各項目についてあなたのお考えに近い番号に○をつけてください。(それぞれ1つずつに○)

| 質問項目                                | 非常に満足 | やや満足 | 普通 | やや不満 | 非常に不満 | わからない |
|-------------------------------------|-------|------|----|------|-------|-------|
| 1. 高齢者・障がい者（児）などにととの暮らしやすさ          | 1     | 2    | 3  | 4    | 5     | 6     |
| 2. 児童に対する福祉や子育てのしやすさ                | 1     | 2    | 3  | 4    | 5     | 6     |
| 3. スポーツなど健康づくりの場や機会                 | 1     | 2    | 3  | 4    | 5     | 6     |
| 4. 1～3を含めたまち全体としての「健康・福祉」について       | 1     | 2    | 3  | 4    | 5     | 6     |
| 5. 生涯学習の環境                          | 1     | 2    | 3  | 4    | 5     | 6     |
| 6. 文化・芸術活動などの環境                     | 1     | 2    | 3  | 4    | 5     | 6     |
| 7. 小中学校や幼稚園の教育環境                    | 1     | 2    | 3  | 4    | 5     | 6     |
| 8. 5～7を含めたまち全体としての「教育・文化」について       | 1     | 2    | 3  | 4    | 5     | 6     |
| 9. リサイクル施策や自然保護など環境へのやさしさ           | 1     | 2    | 3  | 4    | 5     | 6     |
| 10. 町並み・自然・歴史などの美しさ                 | 1     | 2    | 3  | 4    | 5     | 6     |
| 11. 騒音・悪臭などの少なさ                     | 1     | 2    | 3  | 4    | 5     | 6     |
| 12. 9～11を含めたまち全体としての「自然や環境への配慮」について | 1     | 2    | 3  | 4    | 5     | 6     |
| 13. 交通安全                            | 1     | 2    | 3  | 4    | 5     | 6     |
| 14. 防犯                              | 1     | 2    | 3  | 4    | 5     | 6     |
| 15. 防災                              | 1     | 2    | 3  | 4    | 5     | 6     |
| 16. 消防・救急                           | 1     | 2    | 3  | 4    | 5     | 6     |
| 17. 13～16を含めたまち全体としての「安全・安心」について    | 1     | 2    | 3  | 4    | 5     | 6     |
| 18. 商業地などのにぎわい                      | 1     | 2    | 3  | 4    | 5     | 6     |
| 19. 日常的なレジャーや娯楽などの環境                | 1     | 2    | 3  | 4    | 5     | 6     |
| 20. 身近な場での働きやすさ                     | 1     | 2    | 3  | 4    | 5     | 6     |
| 21. 18～20を含めたまち全体としての「産業の活性化」について   | 1     | 2    | 3  | 4    | 5     | 6     |
| 22. バスなどの公共交通サービス                   | 1     | 2    | 3  | 4    | 5     | 6     |
| 23. 道路や橋などの交通網                      | 1     | 2    | 3  | 4    | 5     | 6     |
| 24. 公園や緑地などの環境                      | 1     | 2    | 3  | 4    | 5     | 6     |
| 25. 22～24を含めたまち全体としての「都市基盤の整備」について  | 1     | 2    | 3  | 4    | 5     | 6     |
| 26. 人権の尊重と平和意識の高揚                   | 1     | 2    | 3  | 4    | 5     | 6     |
| 27. 男女共同参画の推進                       | 1     | 2    | 3  | 4    | 5     | 6     |
| 28. 市全体として                          | 1     | 2    | 3  | 4    | 5     | 6     |

問 35 あなたは、次のそれぞれについて、どの程度重要だと思われるか。各項目についてあなたのお考えに近い番号に○をつけてください。（それぞれ1つずつに○）

| 質問項目                        | 非常に重要 | やや重要 | あまり重要ではない | 重要ではない | わからない |
|-----------------------------|-------|------|-----------|--------|-------|
| 1. 高齢者・障がい者（児）などにとつての暮らしやすさ | 1     | 2    | 3         | 4      | 5     |
| 2. 児童に対する福祉や子育てのしやすさ        | 1     | 2    | 3         | 4      | 5     |
| 3. スポーツなど健康づくりの場や機会         | 1     | 2    | 3         | 4      | 5     |
| 4. 生涯学習の環境                  | 1     | 2    | 3         | 4      | 5     |
| 5. 文化・芸術活動などの環境             | 1     | 2    | 3         | 4      | 5     |
| 6. 小中学校や幼稚園の教育環境            | 1     | 2    | 3         | 4      | 5     |
| 7. リサイクル施策や自然保護など環境へのやさしさ   | 1     | 2    | 3         | 4      | 5     |
| 8. 町並み・自然・歴史などの美しさ          | 1     | 2    | 3         | 4      | 5     |
| 9. 騒音・悪臭などの少なさ              | 1     | 2    | 3         | 4      | 5     |
| 10. 交通安全                    | 1     | 2    | 3         | 4      | 5     |
| 11. 防犯                      | 1     | 2    | 3         | 4      | 5     |
| 12. 防災                      | 1     | 2    | 3         | 4      | 5     |
| 13. 消防・救急                   | 1     | 2    | 3         | 4      | 5     |
| 14. 商業地などのにぎわい              | 1     | 2    | 3         | 4      | 5     |
| 15. 日常的なレジャーや娯楽などの環境        | 1     | 2    | 3         | 4      | 5     |
| 16. 身近な場での働きやすさ             | 1     | 2    | 3         | 4      | 5     |
| 17. バスなどの公共交通サービス           | 1     | 2    | 3         | 4      | 5     |
| 18. 道路や橋などの交通網              | 1     | 2    | 3         | 4      | 5     |
| 19. 公園や緑地などの環境              | 1     | 2    | 3         | 4      | 5     |
| 20. 人権の尊重と平和意識の高揚           | 1     | 2    | 3         | 4      | 5     |
| 21. 男女共同参画の推進               | 1     | 2    | 3         | 4      | 5     |

問 36 あなたはこの1年で、市内の※6地域やまちづくりの活動にどの程度参加されましたか。（1つだけに○）

|             |           |
|-------------|-----------|
| 1. 週に2～3回以上 | 2. 週に1回程度 |
| 3. 月に1回程度   | 4. 年に数回程度 |
| 5. 年に1回程度   | 6. ほとんどない |

※6 「地域やまちづくりの活動」とは、自治会・町内会、PTA、教育、青少年、環境、美化、福祉など、有償・無償を問わず、幅広く社会貢献活動のことをさしています。

問 37 あなたは、次のそれぞれについて、どのように感じていますか。各項目についてあなたのお考えに近い番号に○をつけてください。（それぞれ1つずつに○）

| 質問項目                     | 非常に感じる | やや感じる | 普通 | あまり感じない | ほとんど感じない | わからない |
|--------------------------|--------|-------|----|---------|----------|-------|
| 1. 市内の地域やまちづくりの活動が充実している | 1      | 2     | 3  | 4       | 5        | 6     |
| 2. 市民と行政の連携や※7協働が進んでいる   | 1      | 2     | 3  | 4       | 5        | 6     |
| 3. 市民同士の連携や※7協働が進んでいる    | 1      | 2     | 3  | 4       | 5        | 6     |

※7 「協働」とは、市民・行政・事業者などが、お互いの立場を理解し、尊重し合いながら、対等な関係で、共通の目的を持って、まちづくりを進めることを言います。

あなたご自身についておうかがいします

問 38 あなたの性別についてお答えください。（どちらかに○）

|       |       |
|-------|-------|
| 1. 男性 | 2. 女性 |
|-------|-------|

問 39 あなたの年齢についてお答えください。（1つだけに○）

|             |             |             |
|-------------|-------------|-------------|
| 1. 20～24 歳  | 2. 25～29 歳  | 3. 30～34 歳  |
| 4. 35～39 歳  | 5. 40～44 歳  | 6. 45～49 歳  |
| 7. 50～54 歳  | 8. 55～59 歳  | 9. 60～64 歳  |
| 10. 65～69 歳 | 11. 70～74 歳 | 12. 75～79 歳 |
| 13. 80～84 歳 | 14. 85 歳以上  |             |

問 40 あなたのご職業についてお答えください。（1つだけに○）

|                            |
|----------------------------|
| 1. 勤め人（常勤）                 |
| 2. 勤め人（非常勤・パートタイム・アルバイトなど） |
| 3. 商工・サービス業などの自営業・自由業      |
| 4. 農林漁業                    |
| 5. 家事専従                    |
| 6. 学生                      |
| 7. その他（具体的に                |
| 8. 無職                      |

問 41 あなたは、現在、結婚されていますか。（どちらかに○）

1. はい（婚姻の届出をしていないが、事実上婚姻関係にある場合も含む）

2. いいえ

問 42 あなたの家族構成についてお答えください。（1つだけに○）

1. 単身（ひとり暮らし）

2. 夫婦のみ世帯

3. 親子2世代世帯

4. 親子孫3世代世帯

5. その他（具体的に）

問 43 あなたが一番年少のお子さんは、次のうちどれにあたりますか。（1つだけに○）

1. 3歳未満

2. 3歳～小学校入学前

3. 小学生

4. 中学生

5. 高校生

6. 短大・各種学校・大学・大学院生

7. 社会人

8. その他（具体的に）

9. 子どもはいない

問 44 あなたが河内長野市にお住まいになって通算で何年になりますか。（1つだけに○）

1. 5年未満

2. 5～10年未満

3. 10～20年未満

4. 20～30年未満

5. 30～50年未満

6. 50年以上

問 45 現在地にお住まいになられる前は、どちらにお住まいでしたか。（1つだけに○）

1. 生まれてからずっと現在地に住んでいる

2. 現在地以外の河内長野市

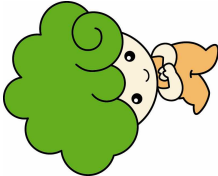
3. 河内長野市以外の南河内地域（富田林市・大阪狭山市・羽曳野市・藤井寺市・松原市・河内町・太子町・千早赤阪村）

4. 堺市

5. 大阪市

6. その他の大阪府（具体的に）

7. 大阪府以外の都道府県または海外（具体的な都道府県名、国名）



問 46 住んでおられる地区は、次のどれに該当しますか。記入例を参考に地区名を1つ選び、右側の囲み内のあてはまる町名に○をつけてください。

〔記入例〕

| 地区名     | 町名                                 |
|---------|------------------------------------|
| ⑨ 千代田地区 | 市町、木戸町、木戸東町、木戸1～3丁目、汐の宮町、千代田南町、向野町 |

| 地区名       | 町名                                                                   |
|-----------|----------------------------------------------------------------------|
| 1 天野地区    | 天野町、下里町、緑ヶ丘北・中・南町                                                    |
| 2 天見地区    | 天見、岩瀬、清水、流谷                                                          |
| 3 小山田地区   | 小山田町、荘園町、千代田台町                                                       |
| 4 加賀田地区   | 大矢船北・中・南・西町、加賀田、唐久谷、南ヶ丘                                              |
| 5 石仏地区    | 石仏、北・南青葉台                                                            |
| 6 川上地区    | 石見川、太井、神力丘、河合寺、清見台1～5丁目、小深、寺元、鳩原、大師町、日東町                             |
| 7 楠地区     | あかしあ台1・2丁目、北・南貴望ヶ丘、桐ヶ丘、楠町東・西、自由ヶ丘、松ヶ丘東・中・西町、木戸西町1～3丁目                |
| 8 高向地区    | 旭ヶ丘、滝畑、高向、日野                                                         |
| 9 千代田地区   | 市町、木戸町、木戸東町、木戸1～3丁目、汐の宮町、千代田南町、向野町                                   |
| 10 長野地区   | 上原町、上原西町、菊水町、寿町、栄町、昭栄町、末広町、長野町、錦町、西代町、西之山町、野作町、原町、原町1～6丁目、古野町、本多町、本町 |
| 11 南花台地区  | 南花台1～8丁目                                                             |
| 12 美加の台地区 | 美加の台1～7丁目                                                            |
| 13 三日市地区  | 上田町、小塩町、中・西・東片添町、喜多町、楠ヶ丘、三日市町                                        |

◆お忙しい中ご協力いただき、誠にありがとうございました◆

平成 25 年度  
第 40 回 河内長野市民意識調査  
＜男女共同参画＞と＜文化財＞について

発行 河内長野市  
発行年月日 平成 26 年（2014 年）3 月